

地区研修・協議会

日時：2023年4月15日(土)10:00～

場所：山形ビッグウィング(山形市)



世界に希望を生み出そう

2023-2024年度RIテーマ
RI会長 ゴードン R. マッキナリー

国際ロータリー第2800地区
2022-2023年度

ガバナー 佐藤孝子
ガバナーエレクト 伊藤三之

Rotary
District 2800



事務局 〒994-0027 天童市桜町2-20
tel 023-687-0208 / fax 023-687-0209
e-mail office@rid2800.org



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

ロータリーのビジョン声明

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

四つのテスト

言動はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

目 次

ロータリーの目的・ロータリーのビジョン声明・四つのテスト	
目 次	1
次 第	2
地区研修・協議会について（直前ガバナー・地区研修リーダー 矢口 信哉）	3
2023-2024 年度 RI テーマ・RI 会長プロフィール	5
2023-2024 年度 RI 会長テーマ講演	7
2023-2024 年度 R I 会長テーマ講演の解説（ガバナーエレクト 伊藤三之）	13
ロータリー賞（ロータリークラブ・ローターアクトクラブ・インターアクトクラブ）	16
第 2800 地区ビジョン	26
ガバナーエレクトプロフィール	27
ガバナーノミニープロフィール	28
★2023-2024 年度 第 2800 地区方針	
地区基本方針・地区重点事項・ロータリー奉仕デー「それぞれの最上川物語」	29
ロータリーの基礎知識	36
ガバナー公式訪問に関する基本方針・公式訪問日程表（案）	50
数値目標・ガバナー賞	54
決議事項（案）・申し合わせ事項（案）・地区資金予算（案）・地区大会予算（案）	55
2023-2024 年度 送金カレンダー・送金連絡先一覧表	59
ガバナー月信について	61
ロータリーの友投稿規定	62
事務局からのお願い	63
★会長エレクトへのメッセージ / クラブ幹事・事務局の重要な仕事 / 各委員会活動計画	
クラブ会長エレクトの皆さまへ	67
クラブ幹事・事務局の重要な仕事（定期報告関連）	70
クラブ奉仕委員会・ロータリー情報委員会	73
会員増強委員会・公共イメージ委員会	78
職業奉仕委員会	82
青少年奉仕委員会・インターアクト委員会・ローターアクト委員会・RYLA 委員会・青少年交換委員会	85
米山奨学・米山学友委員会	97
社会奉仕委員会 / 地域奉仕委員会 / 国際奉仕・ロータリー学友委員会	102
ロータリー財団委員会	107
★各種提出用紙	
会員増強報告書・例会出席報告書	113
地区資金関係 送金明細書	115
ロータリー財団 送金明細書	116
米山奨学会 普通寄付金・特別寄付金 送金明細書	118
会員情報書式	121
クラブ役員に代わりクラブ・会員情報を編集する権限を与える件（事務局員登録）	122
年間スケジュール（案）	123
地区組織図（案）	127
国際ロータリー関連 連絡先一覧	

地区研修・協議会

日時：2023年4月15日（土）10：00 開会
場所：山形ビッグウィング



司会：次期地区統括副幹事（事務局長） 須藤 雅人

9:30	登録		
10:00	開会点鐘	ガバナーエレクト	伊藤 三之
	開会の挨拶	地区研修・協議会実行委員長	柴田 津與志
	国歌斉唱	ソングリーダー	菱沼 充好
	ロータリーソング「奉仕の理想」		
	ガバナー挨拶	ガバナー	佐藤 孝子
	ガバナーエレクト挨拶 及び 地区チーム紹介	ガバナーエレクト	伊藤 三之
10:20	地区研修・協議会について	次期地区研修リーダー	矢口 信哉
	2023-2024 年度 R I テーマ 及び 次期地区基本方針	ガバナーエレクト	伊藤 三之
	講師紹介		
11:30	基調講演 「ロータリーを語ろう そして ロータリーを楽しもう」 RI 第 2840 地区パストガバナー・（公財）ロータリー米山記念奨学会常務理事		田中 久夫
12:30	諸事連絡	次期地区統括副幹事（事務局長）	須藤 雅人
	～ 昼食・分科会会場への移動・休憩 ～		
13:30	分科会（各分科会 会場にて）		
	◎ガバナー補佐 / 会長エレクト	ガバナーエレクト	伊藤 三之
	◎次期幹事 / クラブ事務局	次期地区幹事	小野 和行
	◎クラブ奉仕委員会	次期アドバイザー P G	齋藤 榮助
	◎会員増強委員会	次期アドバイザー G	佐藤 孝子
	◎職業奉仕委員会	次期アドバイザー P G	鈴木 一作
	◎青少年奉仕委員会	次期アドバイザー P G	矢口 信哉
	◎米山奨学・米山学友委員会	次期アドバイザー P G	長谷川 憲治
	◎社会奉仕委員会	次期社会奉仕委員長 P G	大久保 章宏
	◎ロータリー財団委員会	次期 R 財団委員長 P G	上林 直樹
15:00	～ 分科会終了・本会議場への移動・休憩 ～		
15:20	会長エレクト会議での決議事項（案）、 申し合わせ事項（案）、予算（案）承認の報告	次期地区資金委員長	伊藤 明彦
15:25	分科会報告		
16:40	バッジ交換	ガバナー 佐藤 孝子 / ガバナーエレクト	伊藤 三之
16:45	総括	次期地区研修リーダー	矢口 信哉
16:55	諸事連絡	次期地区統括副幹事（事務局長）	須藤 雅人
17:00	閉会点鐘	ガバナーエレクト	伊藤 三之

地区研修・協議会について

国際ロータリー第 2800 地区
2023-2024 年度
地区研修リーダー・直前 G 矢口 信哉

1. 地区研修・協議会とは

地区研修・協議会とは、クラブ会長エレクトを始めとする次期クラブ指導者に対して、クラブ活性化のために大切な「ロータリー情報」を提供しながら、次期クラブ指導者の役割と責務を周知し、意欲を喚起して、次期クラブ指導者チームとして大いに奮起してもらうための研修と協議の場です。

2. 地区研修・協議会の目的

地区研修・協議会の目的は次のとおりです（ロータリー章典 20.060.1.）。

- ・就任に先立ち、次期クラブ指導者がクラブの指導者チームを築けるようにすること。
- ・ガバナーエレクト、次期ガバナー補佐、次期地区委員会が、次期クラブ指導者チームの意欲を喚起し、地区と協力関係を築く機会を提供すること。

3. 地区研修・協議会の指導者

地区研修・協議会の指導者は次のとおりです（ロータリー章典 20.060.5.）。

- ・ガバナーエレクトは、地区研修・協議会のプログラム全般の責任者です。
- ・次期地区研修リーダーは、地区研修・協議会の計画と実施の責任者です。
- ・次期地区委員長は、それぞれの関連分科会を指導する責任者です。

4. 地区研修・協議会の参加者

地区研修・協議会の参加者は、クラブ会長エレクト及び次年度に指導的役割を果たすよう会長エレクトから指定されたクラブ会員です（ロータリー章典 20.060.2.）。

なお、地区内全クラブの会長エレクトは、P E T S及び地区研修・協議会に参加することが会長の資格要件として義務づけられています（標準クラブ定款第 11 条第 5 節）。

5. 地区研修・協議会の内容

<本会議の内容>

地区研修・協議会の目的、次年度 R I テーマ、次年度地区方針と地区重点事項、クラブ指導者の研修などに関して、協議を行います。

<分科会の内容>

- ①地区のクラブ奉仕委員会、ロータリー情報委員会、会員増強委員会、公共イメージ委員会、職業奉仕委員会、青少年奉仕委員会、地域奉仕委員会、国際奉仕委員会

- ・これらの地区委員会の役割は、クラブの効果的な運営や活動を援助することです。
- ・分科会参加者は、クラブ内の各委員会における活動の意義や目標を理解し、クラブでの具体的な活動内容や、そのための効果的な計画や手法を学ぶことが求められます。

- ・地域奉仕委員会及び国際奉仕委員会は、補助金／奉仕プロジェクト委員会と連携して、クラブに地区補助金及びグローバル補助金の有効活用を推奨し、援助してください。

②地区のインターアクト委員会、ローターアクト委員会、RYLA委員会、米山奨学／米山学友委員会、ロータリー財団委員会

- ・これらの地区委員会の役割は、RI、地区などの独自のプログラムに各クラブが参加することを推奨し、援助することです。
- ・分科会参加者は、各々のプログラムの意義や目標を理解し、それらの活動の計画や内容を学び、できる限りプログラムに参加することが求められます。
- ・米山奨学／米山学友委員会及びロータリー財団委員会には、寄付増進という任務も付随します。

本日の地区研修・協議会は、午前中は研修、午後からは協議を中心としたプログラムになっております。

最後までのご出席をお願いいたします。

2023-2024年度RIテーマ

Create Hope in the World 『世界に希望を生み出そう』



ゴードン R. マッキナリー

2023-2024 年度会長

South Queensferry ロータリークラブ

スコットランド、ウェストロージアン



世界に希望を生み出そう

エディンバラの王立高校とダンディー大学で学び、口腔外科の大学院学位を取得。2016年までエディンバラで自身の歯科医院を経営。英国小児歯科学協会のスコットランド東部支部会長を務めたほか、さまざまな教育的役職を歴任。また、長老会のリーダー、クイーンズフェリー教区会衆派教会理事会の会長、スコットランド国教会総会のコミッショナーも務めた。

1984年、26歳でロータリーに入会。South Queensferry（サウス・クイーンズフェリー）ロータリークラブに所属し、グレートブリテンおよびアイルランドの国際ロータリー（RIBI）の会長と副会長、RIの理事と委員会メンバー（2022年ヒューストン国際大会委員会アドバイザー、運営審査委員長など）を務めた。

新しいロータリークラブやグループを築くために会員と協力できるのを楽しみにしており、「私のビジョンは、ロータリーの仲間になりたいと思うすべての人、世界でよいことをしたいと願うすべての人が、それぞれに合った方法でどこでも参加できるロータリーとなること」と話す。

英国を拠点とする非営利団体「ホープ・アンド・ホーム・フォー・チルドレン」の後援者であり、同団体とRIBIとのパートナーシップを先導して、ルワンダ大虐殺によって孤児となった子どもたちを支援。開発途上国の人びとや家族、ビジネスに持続可能な人道支援を提供するGrantham Kestevenロータリークラブ（英国リンカンシャー）のイニシアチブ「Trade-Aid」も後援しているほか、国立の精神保健機関であるBipolar UKのアンバサダーを務めている。

趣味はラグビー、グルメとワイン、スコットランドの伝統的な杖づくり。

ロータリー財団は「ロータリーの奉仕を動かす燃料」であるとし、妻ヘザーさん（ロータリアン）とともにポール・ハリス・フェロー、メジャードナー、ロータリー財団のベネファクター、遺贈友の会会員となっている。

孫娘たち（アイビーさん、フロレンスさん）が幸せに暮らせるより良い世界をつくるために、会長として全力を捧げたいと考えている。

2023-2024 年度会長イニシアチブ メンタルヘルスの優先

精神疾患や心の健康は話しづらいトピックだと感じるかもしれませんが、国際社会で人が幸福に生きるには大切なことです。このような問題に取り組むための安全な環境を作ること、私たちと関わるすべての人を歓迎し、公平で、インクルーシブな環境につながります。

ゴードン氏は、2023-24 年度に以下のような活動を行うことをクラブと地区に奨励しています。

心の健康の話題に伴うスティグマの解消

メンタルヘルスのニーズに関する認識の向上

メンタルヘルスの支援や治療へのアクセス改善

バーチャル交流を通じた平和構築

ロータリーは、人と人とのつながりを生かして平和のために活動してきた長い歴史がありますが、新型コロナウイルスの流行により、直接顔を合わせて活動することが困難になっています。コロナ禍を通じて学んだことをヒントに、ゴードン氏は、より多くのプログラム、行事、活動にバーチャルの要素を取り入れることを地区に奨励しています。テクノロジーを活用してつながりを作ることで、より多くの人にロータリーを体験する機会を提供できます。

2023-24 年度、ロータリー青少年交換、新世代交換、ロータリー友情交換、その他のプログラムにおいて、これらの要素を追加または維持することには、次のような利点があります。

- 会員や参加者が異文化を体験し、新しい友人を作り、国際的な認識を深めるための新しい方法を提供する。
- 時間、健康、または経済的な理由で入会が困難な人に、参加への道を開く。
- 異文化間のコミュニケーションと理解を深め、より安定した平和な地域社会を実現する。

女児のエンパワメント

シェカール・メータ 2021-22 年度会長が立ち上げ、ジェニファー・ジョーンズ 2022-23 年度会長が継続した、世界中の女児と女性のエンパワメントに焦点を当てた取り組みを、ゴードン氏も継続します。女児の健康、福祉、教育、経済的安定を向上させる活動を続けることが会員に奨励されています。



2023-24 年度テーマ講演

ゴードン R. マッキナリー

国際ロータリー会長エレクト

2023 年 1 月 9 日

ロータリー会員として今ほど素晴らしいときではないでしょう。私たちはロータリーで素晴らしく歴史的な年度の真ただ中にいます。正直なところ、この年度を早く終わらせたいと思う人はいないでしょう。

ですから、終わらせるのではなく、新しいはじまりを作りだそうではありませんか。年度の扉を閉めるのではなく、次年度への橋を築こうではありませんか。なぜなら、川が流れているなら、それを渡る方法があればありがたいからです。

私はかつて毎日、エディンバラにある私の歯科医院に車で通勤し、フォース川にかかるいくつかの有名な橋を通りすぎるときに、その例を目にしていました。これらの橋をご存知の方もおられると思いますが、これらは見事なエンジニアリングの象徴です。

フォース鉄道橋は、1890 年に開通しました。

フォース道路橋は 1964 年、最近ではクイーンズフェリークロッシング橋が 2017 年に開通しました。フォース橋の鉄道橋と道路橋を見ていつも感動するのは、これらがビジョンをもつ人たちによって建てられたということです。それは、けっして会うことのない人たちのためのビジョン、けっして知り合うことのない人たちのためのビジョン、それによって生活が改善される人たちのためのビジョンです。そのビジョンは、フォース橋の場合のように、建設から 133 年経った後も、利用者たちからありがたがられています。ロータリーの私たちのビジョンが、奉仕を受ける人たちからありがたがられているように。

今、ご自分の頭の中で橋のロゴを思い浮かべ、それがテーマと関連しているだろうと思っている方がいたら、そこでその考えをやめてください。たとえ話がすべてテーマであ

るわけではありません。同じように、次年度に皆さんが行うすべてのことが、これから発表するテーマの推進と支援にかかわるわけではありません。

私たちは、絶妙なタイミングでリーダーシップの手綱を渡されました。今は歴史的なときであり、ロータリーが世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超えた可能性への道を示す機会が訪れています。しかし、私たちの最も優れた仕事のいくつかは、ほかの人たちの継続的な取り組みをサポートすることであるかもしれません。ジョーンズ会長とほかのロータリーリーダーたちが始めたことを土台として、今後さらに大きな成果が成し遂げられるようにしていきましょう。これからの私の仕事、そしてすべてのロータリーリーダーの仕事の多くにおいては、継続が重要となります。

継続とは、以前のリーダーたちのよいアイデアを前進させることを意味します。

私たちは詩人マヤ・アンジェロウの次の言葉からインスピレーションを得るべきです。「続けましょう／自分らしくあるために／思いやりある行いで／不親切な世界をあとと言わせるために」

過去数年間、ローターアクトに力を与えると約束し、それを実行してきたロータリー会長たちの継続へのコミットメントを、私たちは目にしてきました。その結果は驚くべきものです。ローターアクトたちは引き続き、ロータリーで全面的なパートナーとなるだけでなく、リーダーとなることへの熱意を示すことで、私たちを勇気づけています。ロータリークラブとローターアクトクラブが互いに協力し、支えあう新しい方法を見つけ続けられるかどうかは、私たちにかかっています。

継続のもう一つの優れた例に、女兒のエンパワメントがあります。ジョーンズ会長は、メータ会長のプログラムを継続することでこの素晴らしい模範を示しました。この取り組みは、多くの点でロータリーが長年積み重ねてきたものであり、メータ会長がそれに名をつけて拡大させたのです。私の孫娘アイビーとフローレンスのように、世界中の少女が強く、十分な能力を身につけた女性へと成長できるよう支援するために、私はこれらの会長の仕事を引き継いでいくことを明確にしました。

私はまた、すべての行いにおいて多様性、公平さ、インクルージョンを促進するためにロータリーが遂げてきたすべての進歩を全面的にサポートしたいと考えています。会員数は非常に重要ですが、DEIを全面的にサポートすることは、単に会員数を増やすことを意味するわけではありません。DEIの最も重要な側面は、ロータリーを、どこからであれ最高の人材、最高のアイデア、最高のパートナーシップを受け入れるオープンでインクルーシブな組織にすることです。人びとがロータリーを見たとき、そこに自分

自身を見ることができるよう必要があります。そうなることができるかどうかは、私たち次第です。

継続にはほかにも二つの側面があり、それらは皆さんの活動にとって極めて重要となります。一つ目は、ポリオです。ポリオの根絶が依然としてロータリーの最優先事項であることはご存知だと思います。「ポリオのない世界」という夢を追い続け、多くのことを成し遂げてきたこの35年間を、私たちは誇りとすることができます。

根絶の実現にどれだけ近づいているか、ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの上乗せを全額得るために最低5,000万ドルを集めることがいかに重要であるかを毎年繰り返し言わたら、疲れるのも無理もないと承知しています。今、私たちに必要なのは、さらなる挑戦かもしれません。現在、ポリオ根絶キャンペーンに寄付しているロータリー会員は約12人に1人に過ぎず、毎年寄付しているクラブも5分の1を下回っています。

最近、世界の主要都市でポリオが発生したことで、この恐ろしい病の根絶に再び注目が集まっています。根絶が実現した暁には、ロータリーは大きな歴史的称賛を受けるに値します。

ですから、各年度に何をすべきかではなく、それを超えて考え、できるだけ早く実現するために必要なあらゆるリソースを私たちが提供すべき時が来ています。新たな緊急感を生み出し、世界の子どもの脅かす流行がさらに発生する前にポリオを根絶できるという希望を生み出すために、皆さんの力が必要です。ロータリーの夢を現実のものとするために、皆さんの力が必要です。

ポリオワクチンの開発者であるジョナス・ソーク博士の次の賢明な言葉に、耳を傾ける必要があります：「希望は、夢を現実にしたいと強く願う人たちの夢、創造力、そして勇気の中にあります」。この言葉は、私たちのすべての活動にとって意味があり、ロータリー行動計画のあらゆる側面に当てはまります。この行動計画は、希望を生み出し、変化に必要な知識と勇気をロータリー会員に与えるものです。これを成し遂げるには、

- 既知の成果と実証された証拠に基づいて奉仕プロジェクトを立案する方法について会員に話す必要があります。
- 互いに、そして私たちが奉仕するすべての人とオープンで、インクルーシブで、思いやりのある心をもって接しましょう。
- 世代や国境を超えて活動し、関係を築くためのあらゆる機会を探し求めてください。

- 世界に持続可能な変化を生む新しいアイデアや視点を、進んで受け入れてください。

そのために、ロータリー行動計画の目標においてほかのロータリアンと協力していただけることを願っています。なぜなら、そうするのがリーダーシップにおける継続の最良の手本であり、ロータリーのこれまでの最良の部分を土台としてさらに素晴らしいものを生み出すことだからです。

行動計画のうち、皆さん全員に既に暗記してほしいと思う部分があります。それはこのビジョン声明です：「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」。行動計画を受け入れ、実行するための現実的な方法をクラブに提供することこそが、地域社会で持続可能な変化を生む最善の方法です。

ここで話の焦点を、世界と自分自身の中に持続可能な変化を生むという、ビジョン声明の二つの要素に当てたいと思います。そのために、これらのビジョンを実現させる二つの具体的で有望な方法に重点を置きたいと考えています。

一つは、平和にさらなる主眼を置くことです。ロータリーを創始し、築いてきた先人たちは、ロシアが始めた残忍な戦争に直面するウクライナの人びとのために過去1年間に私たちが行ってきた懸命な支援活動を、きっと誇りに思うでしょう。

過去に何度もそうしてきたように、ロータリーは歴史の呼びかけに応え、人道支援を最優先してきました。惜しみなく寄付し、仲間を一心にサポートし、ウクライナの人びとから尊敬を集めてきました。ウクライナで大勢が入会し続けていることは、入会と会員の参加促進について大切なことを示唆しています。しかし、ウクライナ人にとってもロシア人にとっても、平和が実現するまでは本当の安らぎは訪れないことは明らかです。同じことが、イエメン、アフガニスタン、シリア、そして世界のほかの数十の紛争地域にも当てはまります。

平和とは、希望が根づくための土壌です。

人びとの間に新しいつながりを築き、共通点を求めて新しい機会を見つけるたびに、この土壌が耕されます。これからの1年間、私たちはバーチャルな国際交流を導入します。これについては、今週後半にお知らせします。

ロータリーでは、平和は受動的な夢ではなく、懸命な活動、築かれた信頼、そしてしばしば難しい対話の結果として生まれるものです。平和は粘り強く、勇敢に実践しなければ

ばなりません。人類が立てることのできる最も勇敢な目標は、平和の追求です。ロータリーでは、すべての重点分野にわたる全活動が、希望を築く一助となり、それによって平和と償いが可能となります。

2006年、私はタイのバーン・タリングチャン村を訪れました。そこでは、2004年末の津波の後で、ロータリー会員が新しい家や集会場、保育所、医療施設の建設にあたっていました。そこで、ある女性が私に近寄ってきました。悲劇に直面した彼女は、やつれた様子でした。その女性は、私に美しい貝殻をくれました。

この貝殻は彼女が30年以上持ち続けていたものだと言います。数少ない所持品の一つだったこの貝殻を受け取ることを、最初はためらいました。しかし彼女は、ロータリーがしてくれたことへの感謝のしるしとして受け取ってほしいと言いました。後日、私は再びその女性に会い、彼女が津波で夫、娘、息子を失ったことを知りました。津波がすべてを奪ったのです。家族、家、生計を失い、そして何よりも、生き続ける希望と理由を失いました。しかし彼女は、地域社会を建て直すロータリーの活動のおかげで前向きな気持ちを取り戻し、希望が与えられたと言いました。

これは美しい貝殻です。私が次年度のテーマとその意味を検討していたとき、この貝殻だけでなく、存命するスコットランドの最も偉大なアーティストの一人で、Jolomoとしても知られるジョン・ロウリー・モリソンさんがよく使用する色にも引き付けられました。私は長年、彼の作品を愛し、収集してきました。ネクタイとスカーフの色を選んでいたとき、後ろのスクリーンでご覧いただけるように、そこに世界の色を反映させ、さらに重要なこととして、次年度にロータリーが注力すべきことを反映させたいと思いました。

タイの女性との思い出とこれらの色から、私は、今私たちが何をなすべきか、どんな行動を呼びかけるべきか、テーマは何であるべきかに気づきました。そこで、2023-24年度テーマは「世界に希望を生み出そう」であることをここにお知らせします。

世界に希望を生み出そう。これが、ロータリーが世界に変化をもたらす方法です。私たちは、一つずつ新たな希望を生み出しています。このテーマはまた、自分自身の中で同様の変化を生むのを促す方法を説明するものでもあります。なぜなら、地球上の多くの人にとって、希望を失う理由は物質的な貧困だけではないからです。私たちは皆、自分たちの幸せを脅かす課題に直面しています。平和の実践に大きな勇気が必要であるのと同じように、誰かに助けを求めたり、助けを必要としていることを認めたりすることも勇気ある行動です。

新型コロナウイルス流行の結果として、これまで以上に多くの人々が傷ついています。多くの方が身近な人を失ったり、社会的つながりを断たれたりしています。分裂が広がり、つながる機会が失われています。最も傷ついている世代の一つが、教育や対人スキルを身につける機会が妨げられた子どもや若者です。さらに悪いことに、世界の多くの地域では、助けを求めること、特にメンタルヘルスの助けを求めることは弱さであると考えられています。しかし、真実から目をそむけることはできません。自分の弱さを認め、すべての答えを知っているわけではないと認めるのは、勇気が要ることです。

助けを求めることは勇気ある行動であり、幸せへの道を求めることは、さらに勇気が要ることです。

今週の後半、私がメンタルヘルスのトピックを重視する理由をご説明します。次年度、そして願わくばそれ以降も、ロータリーの会員だけでなく地域社会の人びとのためにメンタルヘルスのシステムを改善するいくつかのステップについて話をお聞きいただきます。私は、ロータリーが会員と奉仕を受ける人の両方を支える組織として知られるようになってほしいと思います。メンタルヘルスの専門家なら誰もが口をそろえてこう言うでしょう。ほかの人を助けることで、本質的に自分自身が助けられるのだ、と。

ほかの人を助けることで、ストレスが軽減され、気分がよくなり、私たち自身のメンタルヘルスと幸せのためにもなることが、圧倒的な証拠で示されています。その中で培われる友情は、素晴らしい連帯意識と仲間意識を育み、それ自体がメンタルヘルスと幸せに欠かせない要素となります。

ですから、次年度の私たちの計画は、世界に平和にもたらし、紛争の影響を受けた人びとを癒すこと、そして、私たち自身の内面的な闘いと向き合うためにお互いと地域社会を支え、助けを求めることに対する社会的な偏見をなくすことです。

これらの活動すべてにおける目標は、破壊的な紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私たち自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となります。ロータリーは、平和、機会、生きる価値ある未来の土台を築いています。私たちが得意とすることを継続すると同時に、変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができます。あらゆる地域からのロータリーのリーダーである皆さんに、世界に希望を生み出すよう、心からお願い申し上げます。

ゴードン・マッキナリー 国際ロータリー会長エレクト 2023-2024年度テーマ講演（2023年1月9日）の解説

ガバナーエレクト 伊藤三之

CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう

- 1 マッキナリー氏は、まず、ご自分の出身地であるスコットランドエディンバラ郊外のフォース川河口付近にかかる「フォース鉄道橋」の話をしていきます。

フォース鉄道橋は1890年に開通され、以来130年以上の長きに渡り乗客や貨物を運び続けていますが、その優れた造形美から「鋼の恐竜」とも呼ばれ、2015年には世界文化遺産に登録されています。

マッキナリー氏がここで伝えたいことは、この鉄道橋が、「決して会うこともない、知り合うこともないであろう将来の人たちの生活を改善しようとの明確なビジョン」を持った人びとによって造られ、そして、実際に世代を超えて人びとの生活に便益をもたらしているということです。それは、私たちロータリーのビジョンに基づく行動が、将来、奉仕を受ける人たちからありがたがられるのと同じだということです。

この「ビジョンに基づく行動とそのインパクト（永続的に続く良い影響）」という点で、フォース鉄道橋の話は、以下のストーリー展開の布石になっているのです。

- 2 そして、マッキナリー氏は、私たちロータリーのビジョンに基づく行動が、これまでも大きなインパクトをもたらしてきたことについて、次のような実績を紹介するとともに、さらに大きなインパクトをもたらすためには、「継続」が重要であると指摘します。

マッキナリー氏は、「継続とは、以前のリーダーたちのよいアイデアを前進させることを意味する」と述べています。

- ① ロータリーが、ここ数年、「ローターアクト」に力を与えると約束し、それを実行してきたこと、これからもロータリークラブとローターアクトクラブが互いに協力し、支え合う新しい方法を見つけ続けることが重要だと述べています。
- ② シュカール・メータ会長及びジェニファー・ジョーンズ会長が、ロータリーが長年積み重ねてきた「女兒のエンパワメント」のプログラムを継続させてきたこと、世界中の少女が強く、十分な能力を身につけた女性へと成長できるよう支援するために、マッキナリー氏もこのプログラムを継続させると述べています。
- ③ DEI（多様性、公平さ、包摂性）の取り組みも継続させること、DEIの最も重要な点は、ロータリーを、どこからであれ最高の人材、最高のアイデア、最高のパートナーシップを受け入れるオープンでインクルーシブな組織にすることにあると述べています。
- ④ ロータリーが、「ポリオのない世界」という夢（ビジョン）を追い続け、最優先事項として位置付けて、継続して多くのことを成し遂げてきたこの35年間は、私たちの誇りであること、最近、再びポリオが発生したことで、世界の子どもたちを脅かすポリオという恐ろしい病の根絶に再び注目が集まっていること、「ポリオの根絶」というロータリーの夢（ビジョン）を実現するために、ロータリーは新たな緊張感を持って必要なあらゆるリソ

ースを提供すべき時が来ているのであり、根絶が実現した暁には、ロータリーは大きな歴史的賞賛を受けるに値すると述べています。

3 次に、マッキナリー氏は、「今は歴史的なとき」であると指摘します。

言うまでもなく、

- ① ロシアのウクライナ侵攻によって、世界の平和が脅かされ、多くの人びとが壊滅的被害を受けていること（同じことが、イエメン、アフガニスタン、シリア、そして世界のほかの数十の紛争地域にも当てはまること）
- ② コロナ禍の影響によって身近な人を失ったり、あるいは、社会的なつながりが絶たれたり、社会の分裂が広がることで多くの人びとが傷つき、メンタルヘルスの問題に直面する人が増えていること

が念頭に置かれています。

マッキナリー氏は、「今は歴史的なときであり、ロータリーが世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超えた可能性への道を示す機会が訪れている」と「今」を位置付けています。

2で述べたようなロータリーが得意とすることを継続すると同時に、このような歴史的変化に対して、ロータリーは、オープンで前向きに、粘り強く、果敢に、新たな取り組みを行う必要があるとして、「継続と革新の理想的なバランス」について触れています。

そして、マッキナリー氏は、「これまでもロータリーは歴史の呼びかけに応えてきた」と自負します。

「ロータリーがしかるべき運命を切り開くには、私たちは常に進化し、時には革新的にならなければならない」とのポール・ハリスの言葉が思い出されるところです。

4 ここでマッキナリー氏は、「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」というロータリーのビジョン声明に着目します。

「世界と自分自身の中に持続可能な変化を生む」というビジョン声明の要素に焦点を当てて、「歴史の呼びかけ」に応える方法を見出そうとしています。

マッキナリー氏は、破壊的紛争によって世界の平和が失われ多くの人びとが壊滅的被害を受け、あるいは、地球上の多くの人びとがコロナ禍によって自分たちの幸せ（自分の中の平和）を脅かす課題に直面しているのであれば、ロータリーは、「世界と自分自身の中に平和を築く」ことに力を注ぐべきであると述べます。

そこから、マッキナリー氏は、「次年度の私たちの計画は、世界に平和をもたらす、紛争の影響を受けた人びとを癒やすこと、そして、私たち自身の内面的な闘いと向き合うためにお互いと地域社会を支え、助けを求めることに対する社会的な偏見をなくすことです」と述べ、「平和の推進」と「メンタルヘルスへの取り組み」を取り上げ、ロータリーがこれらの課題に積極的に取り組むことによって、「世界と自分自身の中に持続可能な変化を生む」ことを提唱しているのです。

5 そして、マッキナリー氏は、キーワードとなる「希望」について言及します。

まず、マッキナリー氏は、タイで出会った一人の女性の話を紹介します。2004年末に南アジアを襲った津波で夫、娘、息子を亡くし、家や生計手段も失った女性が、家や集会場、保育所、医療施設の建設をとおして地域社会を立て直すロータリーの活動を目の当たりにして、

「生き続ける希望」を取り戻すことができたと言って、大切にしていた美しい貝殻をマッキナリー氏にプレゼントしたというエピソードです。

マッキナリー氏は、「世界と自分自身の中に平和を築く」ための全てのロータリー活動の目標は、「希望を取り戻す、希望を生み出す」ことにあると述べます。そして、「平和とは、希望が根づくための土壌である」と述べます。

「希望」こそが、ロータリーが、世界に、地域社会に、そして自分自身の中に持続可能な良い変化をもたらす方法だと結論づけます。

「ロータリーのビジョン」、「ロータリーの夢」、そして「希望」。マッキナリー氏のテーマ講演は見事にリンクし、完結しています。

「CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう」

ロータリー賞の目標と

達成方法に関する説明



ロータリー賞は、各年度に優れた取り組みを行ったクラブを表彰するものです。ロータリー賞の目標に向けた取り組みは、クラブで会員の参加を促し、地域社会におけるクラブの存在意義を保ち、効率的に運営するための一助となります。人びとを温かく迎え、その参加を促すクラブは、ロータリーの価値観を反映したクラブであると言えます。クラブがロータリー賞の目標に取り組むことで、ロータリーの力強さを保ち、次世代にとってふさわしい文化を育むことができます。

ロータリー賞の受賞資格を満たすには、クラブが正規に RI に加盟していることが条件となります。ロータリー賞の受賞資格である「正規に RI に加盟している」とは、RI からのクラブ請求書の金額を遅延なく全額支払ったクラブを意味します。クラブが RI 請求額を遅延なく支払っているかどうかは、My ROTARY の「クラブの運営」>「クラブの財務」の下にあるクラブの未納金残高（毎日更新）レポートでご確認ください。（このレポートで未納金残高が 0 ドルとなっている必要があります）。1 月中旬または 7 月中旬に請求書が閲覧可能となり次第、速やかにお支払いください。

ロータリークラブのリーダーは、ロータリー賞の達成を目指して、ロータリークラブ・セントラルにあるのの目標のうち少なくとも半分の目標を選ぶことができますこのような柔軟性により、クラブにとって最も重要で達成可能と思われる目標を選ぶことができます。さらに、目標の多くはロータリークラブ・セントラル内で「達成」に印をつける自己報告方式となります

ロータリー賞を達成するには以下を行う必要があります：

- ロータリークラブ・セントラルを開く
- 目標の内容を確認する
- その中から少なくとも半分の目標を選択する
- 選んだ目標を達成する
- 6 月 30 日までにロータリークラブ・セントラルで達成を報告する

2023 年 2 月

ロータリー賞の目標と 達成方法に関する説明



ロータリークラブ・セントラルを開いたら、「目標設定・確認センター」をクリックし、年度を選び、「すべて」をクリックしてください。

目標	目標の詳細
会員増強	ロータリー年度末までに達成したいクラブ会員総数
会員と参加促進	会員とその他の参加者のニーズがクラブ細則に反映されている ¹
奉仕活動への参加	本ロータリー年度にクラブの奉仕活動に参加する会員の数
新会員の推薦	本ロータリー年度に新会員を推薦する現会員の数
ロータリー行動グループへの参加	本ロータリー年度に少なくとも1つのロータリー行動グループのメンバーとなっている会員の数
リーダーシップ育成への参加	本ロータリー年度にリーダーシップ養成プログラム／活動に参加する会員の数
地区大会への参加	地区大会に出席する会員の数
ロータリー親睦活動グループへの参加	本ロータリー年度にロータリー親睦活動グループのメンバーとなっている会員の数
地区研修への参加	地区で行われる研修／セミナー／協議会などに出席するクラブ委員会委員長の数
年次基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団年次基金への寄付総額
ポリオプラス基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団ポリオプラス基金への寄付総額
大口寄付	本ロータリー年度に寄せられる一括 10,000 ドル以上の寄付の件数

¹2023-24 ロータリー年度からの新たな目標

2023年2月

ロータリー賞の目標と

達成方法に関する説明



目標	目標の詳細
遺贈友の会会員	遺産計画を通じてロータリー財団に 10,000 ドル以上の寄付を誓約することを、初めて本ロータリー年度にロータリー財団に通知する個人・夫婦の数
ベネファクター	遺言またはそのほかの遺産計画に財団恒久基金を指定して寄付することをロータリー財団に通知または恒久基金に 1,000 ドル以上を寄付して、新たにベネファクターとなる個人・夫婦の数
奉仕プロジェクト	本ロータリー年度にクラブが実施する奉仕プロジェクトの数
ローターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブがスポンサーする新ローターアクトクラブと既存ローターアクトクラブの数
インターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブがスポンサーする新インターアクトクラブと既存インターアクトクラブの数
来訪する青少年交換学生	本ロータリー年度にバーチャルまたは対面形式でクラブが受け入れる青少年交換学生の数
派遣する青少年交換学生	本ロータリー年度にバーチャルまたは対面形式でクラブが派遣する青少年交換学生の数
RYLA 参加者	本ロータリー年度に直接対面式またはバーチャル形式でクラブが支援する RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）参加者の数
クラブ戦略計画	クラブにはクラブ独自の戦略計画（長期計画）があるか
インターネット上の存在感	インターネット上にあるクラブの情報は現在の活動を正確に反映しているか
親睦のための活動	本ロータリー年度、例会以外に親睦を目的としてクラブが実施した活動の回数

2023 年 2 月

ロータリー賞の目標と 達成方法に関する説明



目標	目標の詳細
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度中、クラブのウェブサイトとソーシャルメディアアカウントを月に何回更新するか
クラブのプロジェクトのメディア掲載	本ロータリー年度にクラブのプロジェクトを取り上げるメディア記事の数
ロータリー作成の公式推進用資料の使用	本ロータリー年度に地域社会でロータリーを紹介するために、国際ロータリーから提供される広告と公共奉仕資料（ブランドリソースセンターから入手可能な放送用ビデオ、印刷広告、その他の公式資料）を使用した回数

2023年2月

年度ロータリー賞の目標と達成の ワークシート(ロータリーアクト)



ロータリー賞(ロータリーアクトクラブ)は、より大きなインパクトをもたらし、参加者の基盤を広げ、より積極的なかわりを促し、適応力を高める活動を行うことで、ロータリーの行動計画を支えたクラブを表彰するものです。

以下の22の目標のうち、少なくとも12の目標を選択してください。クラブにとって重要で、達成可能であると思われる目標を選ぶことができます。クラブは全ロータリー年度をかけて、これらの目標を達成し、ロータリー賞の受賞を目指することができます。

目標を設定し、達成への進展を記録する際にこのPDFをご利用ください。また、[推薦フォーム](#)を記入する際にも参考としてください。ロータリー賞の受賞に必要な要件は以下の通りです：

- 22の目標の詳細に目を通す
- 少なくとも12の目標を選ぶ
- 達成したい目標を選び、「目標の設定の欄」に印をつける。
- クラブが目標を達成したら、「達成」の欄に印をつける
- 年度を通じてこのワークシートを参照し、クラブによる目標達成の進展を記録する
- スポンサークラブまたはロータリーアクトクラブ会長が、8月15日までにオンラインの推薦フォームを提出する。フォームの記入にあたっては、このワークシートを参照する。

ロータリー賞のカテゴリー	目標の詳細	目標の設定	達成
クラブの会員数	ロータリー年度末までにクラブ会員を__名とする。		
奉仕への参加	本ロータリー年度に、__名の会員がクラブの奉仕活動に参加する。		
ロータリー行動グループへの参加	本ロータリー年度に少なくとも1つのロータリー行動グループのメンバーとなる会員数を__名とする。		
リーダーシップ育成への参加	会員のスキルを伸ばすため、__回のリーダーシップ育成または職業能力開発プログラムを実施する。		
地区大会への参加	地区大会に__名の会員が出席する。		
ロータリー親睦活動グループへの参加	本ロータリー年度にロータリー親睦活動グループのメンバーとなる会員数を__名とする。		
地区研修への参加	__名のクラブ会員が地区の研修行事に出席する。		
ラーニングセンターの利用	__名のクラブ会員がラーニングセンターにアクセスし、それらの会員が__のコースを完了する。		
年次基金への寄付	ロータリー年次基金にクラブから寄付を行う。また、これらの寄付がロータリーアクトの寄付の達成証を得る要件を満たしているか確認する。		
ポリオプラス基金のための活動	本ロータリー年度中、ロータリーのポリオ根絶活動のための募金または認識向上のために、__件の活動を行う。		
奉仕プロジェクト	スポンサークラブと協力し、6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある地域社会または国際奉仕プロジェクトを実施する。		
ロータリーアクトクラブの数	本ロータリー年度に__つのロータリーアクトクラブをスポンサーする。		
インターアクトクラブ	本ロータリー年度に__つのインターアクトクラブを共同スポンサーする。		
RYLAへの参加	__名のクラブ会員がロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)の計画に関わる、またはRYLAに参加する。		
若いリーダーのためのプログラム	ロータリープログラム(RYLA、新世代交換など)を会員に紹介するための会合を開く。		
戦略計画	クラブには最新の戦略計画がある。		
オンラインでの存在感	クラブのオンラインページは、現在の活動状況を正確に伝えている。		
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度、クラブのウェブサイトまたはソーシャルメディアのページを月__回更新する。		



交流活動	本ロータリー年度、通常の例会以外に_回の交流行事を開く。		
クラブのプロジェクトに関するソーシャルメディアの利用	世界ロータリーアクト週間に行ったイベントや活動について、ソーシャルメディアで紹介する。		
ロータリーの公式推進資料の利用	本ロータリー年度、地域社会でロータリーアクトを推進するため、ブランドリソースセンターにある国際ロータリー作成のメッセージや公共奉仕関連の資料(動画、印刷広告、そのほかの資料)を利用する。		
クラブの推進	卓越したロータリーアクトプロジェクト賞にクラブの優れたプロジェクトを応募する。		

年度ロータリー賞の目標と達成の ワークシート(インターアクトクラブ)



ロータリー賞(インターアクトクラブ)は、より大きなインパクトをもたらし、参加者の基盤を広げ、より積極的なかわりを促し、適応力を高める活動を行うことで、ロータリーの行動計画を支えたクラブを表彰するものです。

以下の20の目標のうち、少なくとも11の目標を選択してください。クラブにとって重要で、達成可能であると思われる目標を選ぶことができます。クラブは全ロータリー年度をかけて、これらの目標を達成し、ロータリー賞の受賞を目指すことができます。

目標を設定し、達成への進展を記録する際にこのPDFをご利用ください。スポンサークラブの役員とクラブのアドバイザーが[オンラインの推薦フォーム](#)を用いてクラブの達成を報告する際にも、このPDFを参照できます。ロータリー賞の受賞に必要な要件は以下の通りです：

- 20の目標の詳細に目を通す
- クラブのアドバイザーからの指導を受け、11の目標を選ぶ
- 達成したい目標を選び、「目標の設定の欄」に印をつける。
- クラブが目標を達成したら、「達成」の欄に印をつける
- スポンサークラブの役員とクラブのアドバイザーが年度を通じてこのワークシートを参照し、クラブによる目標達成の進展を記録する
- スポンサークラブの役員またはインターアクトクラブのアドバイザーと協力し、8月15日までに[オンラインの推薦フォーム](#)を提出する。書式の記入にあたっては、このワークシートを参照する。

ロータリー賞を受賞するには、インターアクトクラブは国際ロータリーから認定され、6月30日までに地区ガバナーから承認されている必要があります。また、成人のアドバイザーが、6月30日までにアドバイザーの氏名と連絡先情報をロータリーに提出している必要があります。

ロータリー賞のカテゴリー	目標の詳細	目標の設定	達成
クラブの会員数	ロータリー年度末までにクラブ会員を__名とする。		
奉仕への参加	本ロータリー年度に、__名の会員がクラブの奉仕活動に参加する。		
ロータリー行動グループとの関わり	本ロータリー年度中、クラブ会員はロータリー行動グループについてより詳しく学び、奉仕プロジェクトのためのインスピレーションを得る機会を持つ。		
リーダーシップ育成への参加	会員のスキルを伸ばすため、__回のリーダーシップ育成プログラムを実施する。		
地区大会への参加	地区大会に__名の会員が出席する。		
ロータリー親睦活動との関わり	本ロータリー年度、クラブ会員はロータリー親睦活動を通じた機会についてより多くを学ぶ。		
地区研修への参加	クラブ会員が地区の研修行事に出席する。		
ラーニングセンターの利用	2020-21 ロータリー年度に、クラブのアドバイザーまたは1名の会員が、ロータリーのラーニングセンターで奉仕について学ぶオンラインコースを修了する。		
年次基金への寄付	本ロータリー年度中、ロータリーの年次基金への募金方法や認識向上のための方法を考え、実行する。		
ポリオプラス基金への寄付	本ロータリー年度中、ロータリーのポリオ根絶活動のための募金または認識向上のために、__件の活動を行う。		
奉仕プロジェクト	スポンサーロータリークラブまたはアドバイザーと協力し、6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。		
RYLAへの参加	__名のクラブ会員がロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)に参加する。		
若いリーダーのためのプログラム	若いリーダーのためのロータリープログラム(RYLA、ロータリー青少年交換など)を会員に紹介するための会合を開く。		
学友の参加	スポンサーロータリークラブと協力して、卒業するインターアクターにロータリークラブ(大学基盤または地域社会基盤のどちらか)を紹介する。		
戦略計画	クラブには最新の戦略計画がある。		
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度、クラブのウェブサイトまたはソーシャルメディアのページを月__回更新する。		

クラブのプロジェクトに関するソーシャルメディアの利用	世界インターアクト週間に行った活動について、ソーシャルメディアで紹介する。		
ブランドリソースセンターの利用	ロータリーのブランドを正しく反映したロゴや資料の作成において、ブランドリソースセンターを利用する。		
ロータリーの公式推進資料の利用	本ロータリー年度、地域社会でインターアクトを推進するため、ブランドリソースセンターにある国際ロータリー作成のメッセージや公共奉仕関連の資料(動画、印刷広告、そのほかの資料)を利用する。		
クラブの推進	毎年のインターアクト賞に参加する。		

第 2800 地区ビジョン

(この地区ビジョンは、2022-2023 年度地区諮問委員会によって承認されたものです)

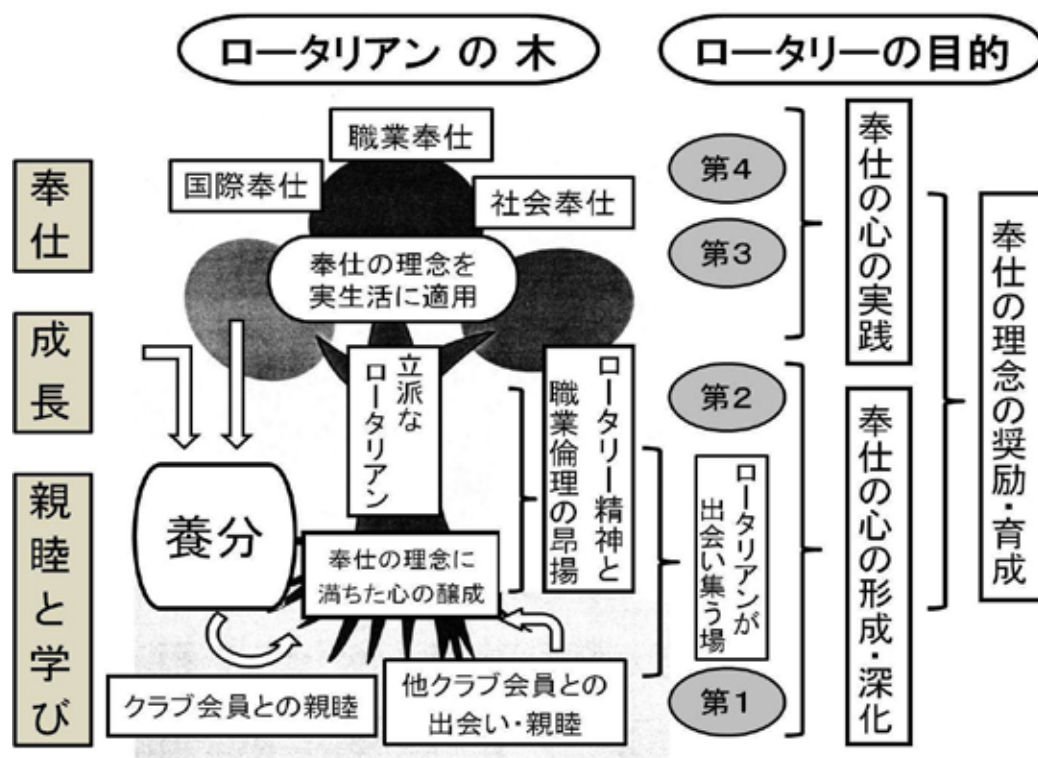
- 第 2800 地区は、地区内ロータリアン全員が、以下に掲げた「ロータリーの在るべき姿」、「ロータリーの目的」、「ロータリアンの木」の意味を理解して実践するよう支援する。

<ロータリーの在るべき姿>

ロータリーは、

① 親睦と学びを基盤に、	【親睦と学び】
② 立派なロータリアンを育てながら、	【成長】
③ 価値ある奉仕を通じて、	【奉仕】

社会に貢献する世界的な団体である。



- 第 2800 地区は、当該年度の R I テーマを旨とし、地域のニーズと特性に沿った奉仕活動を支援する。
- 第 2800 地区は、クラブの多様性を尊重し、個性的で魅力あるクラブ運営を支援する。
- 第 2800 地区は、次代を担う若きリーダーの育成を支援する。

ガバナーエレクト プロフィール



伊藤 三之 (いとう みつゆき)

所属クラブ 山形北ロータリークラブ
生年月日 1960年(昭和35年)4月1日
勤務先 伊藤三之法律事務所 弁護士
住所 〒990-0057 山形市宮町 5-12-21
携帯番号 090-3362-0020
E-mail lawyer-i@js7.so-net.ne.jp

【学歴】

1983年3月 中央大学法学部 卒業

【職歴】

1993年4月 伊藤三之法律事務所開設

【ロータリー歴】

2006年6月 山形北ロータリークラブ 入会
2014年-2015年 山形北ロータリークラブ 幹事
2017年-2018年 山形北ロータリークラブ 会長
2020年-2021年 第5グループガバナー補佐
2021年-2022年 地区職業奉仕委員会 委員長

ポール・ハリス・ソサエティ・メンバー

米山功労者マルチプル

ガバナーノミネー プロフィール



芳賀 康雄 (はが やすお)

所属クラブ 白鷹ロータリークラブ
生年月日 1944年(昭和19年)9月5日
勤務先 有限会社十王調剤薬局 代表取締役
住所 〒992-0832 西置賜郡白鷹町荒砥乙 759
携帯番号 080-5566-6400
E-mail y_haga@sea.plala.or.jp

【学歴】

1963年3月 山形県立米沢興譲館高校 卒業
1967年3月 山形大学教育学部 卒業

【職歴】

1967年4月 山形県立高校教員 採用
2003年3月 山形県立高校教員 依願退職
2003年4月 有限会社十王調剤薬局 開局

【ロータリー歴】

2005年1月 白鷹ロータリークラブ 入会
2007年4月 第6ブロックIM大会実行委員会事務局長
2007年-2008年 白鷹ロータリークラブ 幹事
2010年-2011年 米山奨学生カウンセラー
2011年-2012年 白鷹ロータリークラブ 会長
2012年-2013年 白鷹ロータリークラブ 会長
2015年5月 クラブ50周年事業実行委員会事務局長
2015年-2016年 第6ブロックガバナー補佐
2018年5月 第6ブロックIM大会実行委員会実行委員長
2020年-2022年 地区会員増強小委員会委員長
2022年-2023年 第6グループガバナー補佐

2023-2024 RI District 2800

地区基本方針

ロータリーを語ろう そして ロータリーを楽しもう

ロータリーを語ろう

1905年に創設されて以来、ロータリーの役割は、ロータリアンの人生において、地域社会において、そして世界において、絶えず進化してきました。

ロータリーの初期においては、親睦と友情を深めながら、地域社会で人びととの「つながり」を築く方法を提供してきました。ほどなくして、ロータリーに「奉仕」という概念が芽生え、組織の成長とともにロータリーの影響力も大きくなっていきました。その後ロータリー財団の支えもあって、ロータリーの奉仕は、世界中の人びとの生活を変えていく力を持つようになりました。友情だけでなく、人助けのために行動する方法を求めて、そして、そのことを通じて自分自身も成長することを求めて、多くの人々がロータリーに集うようになりました。ロータリーの奉仕は、人びとの人生、地域社会、そして世界を変えてきました。

ただ、残念なことに、ロータリーがどんな団体で、どんな活動をしているのかを十分に理解している人は多くありません。ロータリアンの仲間ですら、ロータリーについて十分に知らず、その結果、ロータリアンであることの恩恵をあまり享受していない、または実感していない人も少なくありません。

ロータリアン一人ひとりが、自らが関わっているロータリー活動について、それぞれの立場で、そのロータリーの意味を考え、学び、大いに語り合ってみましょう。

その際のキーワードは「奉仕の理念」です。ロータリーの核心とも言うべき「奉仕の理念」とは、誤解を恐れずに言えば、「世のため人のために、自分に何が出来るのか」ということです。「他人を思いやる心」と言ってもいいかもしれません。

ロータリアンは、クラブ内で親睦をもとにして自己研鑽・切磋琢磨して奉仕の理念を学び奉仕の心を形成する。この内なる奉仕がクラブ奉仕であり、クラブの外では、奉仕の心を、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、そして青少年奉仕として実践する。これがロータリー活動です。

どんな内容の卓話をすれば会員は役に立ったと言ってくれるのか、どんな工夫をすればニコニコボックスに喜んで参加してもらえるのか、各種奉仕事業ではどのような事業プログラムにすればロータリーらしさを出せるのか、それぞれの立場で、身近なところから、関わっていることのロータリーの意味を探り、語り合ってみましょう。

自分自身も、周りも、これまでよりも少しでも向上することを願って。難しいことはありません。実は、いろいろな窓から、それぞれが同じロータリーの風景を見ているにすぎないのです。

そして ロータリーを楽しもう

私たちは、誰しものが、自分の仕事を成功させ、家族を幸せにしようと努力します。でも、それだけでは何となく物足りないと感じます。世のため人のために役立ちたい、との願望を持ちます。私たちは、生まれ持って、幸福とは私的な意味での幸せばかりでなく、社会との関わりの中での幸せをも含むものである、その双方の意味での達成感、満足感を満たすことではじめて豊かな人生をおくれることを知っているのかも知れません。

だからロータリアンになっているとも言えます。

奉仕という気高い志に基づく行為は、奉仕を受ける人たちに良い効果を与えますが、それ以上に奉仕をする側の者にも、幸福、喜びなど、人生で最良の価値を与えてくれるはずです。

つまり、利他の精神が自分の幸せにつながる、そして自分を活かす道であるということです。私たちロータリアンは、そのような志を共有する仲間です。

一歩進めて、相手の心に寄り添うメンタルヘルスに取り組んでみましょう。きっと貴方自身も癒やされるはずです。

世の中に、相手に、そして自分自身の中に、平和を取り戻しましょう。私たちと関わる全ての人を歓迎し、公平で、インクルーシブな環境を作りましょう。人びとの人生を豊かに、そして自分の人生を豊かにするために、ロータリーを楽しみましょう。

「ロータリー」は、時間も、距離も、人種も、言語も、宗教さえも、軽々と超えていける魔法のキーワードです。

ロータリーを語り合い楽しむ仲間を増やそう

ロータリーを語り合い楽しむことで、ロータリアンとしての活力が身につきます。活力あるロータリアンが多いクラブは、組織としての活力も増します。

そのような好循環の中で、さらにクラブの活力を増大させるとともに、自分自身の活力を増大させるために、ロータリーを語り合い楽しむ仲間を増やしましょう。

仲間になって欲しい人に、ロータリーをどのように説明するのか、ロータリーの魅力をどのように伝えるのか、その悩みの中にこそ、ロータリーを学ぶヒントがあるはずです。大いに語り合いましょう。

その際には、マイロータリーなどのツールを積極的に活用し、世界中の仲間とつながり、世界中の仲間のアイデア、最新情報を積極的に取り入れましょう。

また、既存会員、特に入会歴の浅い会員の退会をいかにして防ぐことができるのか、今こそ、その対策を真剣に考えてみましょう。ここでも、世界中の仲間のアイデア、最新情報がきっと役に立つはずです。

さらに、テクノロジーを活用して多くの人とのつながりを作りましょう。より多くのプログラム、行事、活動にバーチャルの要素を取り入れることで、より多くの人にロータリーを体験する機会を提供できます。ロータリーの公共イメージも向上し、ロータリーを理解してくれる人が増えるはずです。

それぞれの最上川物語

国際ロータリー第2800地区の対象エリアは、山形県全域です。幸いにも、私たちの地区は行政単位と一致した非常にまとまりのある地区構成です。

さて、山形県の母なる川、最上川。一つの都府県内で完結する河川としては日本一の長さ（229キロ）を誇ります。米沢の西吾妻山を水源とし、県内の数多くの市町村内を流れ、酒田の日本海にそそぎ込みます。私たちの地区の第1グループから第6グループの全てを網羅しているのです。

＜広き野を ながれゆけども 最上川 うみに入るまで にごらざりけり＞

山形県民の歌「最上川」。この歌は、昭和天皇が皇太子でおられた大正14年に山形県に行啓されご覧になった最上川の様子を、その翌大正15年の歌会始においておよみになられたものです。松尾芭蕉は「奥の細道」紀行（1689年）で、次のような句を残しています。

<閑かさや 岩にしみ入る 蟬の声>
<五月雨を あつめて早し 最上川>
<暑き日を 海に入れたり 最上川>

私たちのふるさと山形の山、川、海の、厳肅さ、清涼さ、雄大さを見事に表現しています。

ふるさとの母なる川、最上川。いにしえより恵みを運ぶ大動脈。未来に豊かで美しい最上川を引き継いでいくために、最上川をステージにして、地区内全てのグループが一丸となって、環境をテーマにした事業を行いましょ。ロータリー奉仕デーの事業として地域社会に広報し、ロータリアンだけでなく、青少年を含む多くの地域の方々、パートナーの方々とともに汗をかいて、最上川をとおして環境問題、そしてふるさとを考えてみましょう。

それぞれのロータリアンが、それぞれの最上川物語をつくりましょ。

与える文化

米山梅吉が20代で学んだアメリカ、オハイオ州のウェスリアン大学はキリスト教メソジスト教会によって創立された私立大学ですが、メソジスト派の創始者ジョン・ウェスレーは次のような言葉を残しています。

「Gain all you can, Save all you can, and Give all you can」

(大いに稼ぎ、大いに蓄え、そして大いに与えなさい)

また、近代経済学の父アダム・スミスは、こう指摘します。

「経済人として生きるのに必要なのは、聞く耳、涙する目、そして差しのべる手である」と。

これが欧米の資本主義の思想と、自ら蓄えた財産を社会や未来のために寄付する文化を育てたとされています。

米山梅吉はこれらの思想に大きな影響を受け、そして、生涯をかけそれを実践したのです。人は、財産ばかりでなく、才能、知識、努力、献身など、誰でも世のため人のために与えることのできる何かをもっているはずで。

相手のことを思いやり、理解し、世のため人のために自分に何ができるのか考えて、そして、手を差しのべる。私たちロータリアンは、「与える文化」の実践者で。

ニコニコボックス、ロータリー財団への寄付、米山奨学会への寄付のみならず、各種事業展開の在り方などについて、再度その意義を考えてみる必要があると思うので。

夢と志をつなごう

ロータリーの青少年奉仕は100年以上の歴史があります。

1916年には早くも当時の国際ロータリークラブ連合会が青少年活動委員会を設立し、1927年には世界で最初の青少年交換事業が実施されています。

その後、RIの青少年奉仕常設プログラムとして、1962年に「インターアクトクラブ」、1968年に「ローターアクトクラブ」、1971年に「ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)」、1974年には「ロータリー青少年交換プログラム」が、それぞれRI理事会によって正式に採択されました。

ロータリーの青少年奉仕プログラムの理念は、未来への投資であり、これらのプログラムを通じて、ロータリアンがロータリーの理念や伝統を、次世代の若者たちと共有し、引き継ぐことにあります。

2024年3月には「第36回全国ローターアクト研修会 山形会議」が、同年5月には「第27回国際ロータリー日本青少年交換研究会 山形会議」が開催されます。

全国を舞台にするせつかくの機会です。青少年奉仕活動の現状と課題を直視して、次の希望を見
つけ出す起爆剤にしましょう。

この2つの全国大会の開催を通じて、私たちロータリアンの夢と志を、次代を担う若者たちにし
っかりとつないでいきましょう。

二度とない人生だから 志を高く持とう

私が愛読する詩人坂村真民の詩集に「二度とない人生だから」という作品があります。
その詩の一部を紹介します。

二度とない人生だから 一輪の花にも 無限の愛をそそいでゆこう

二度とない人生だから まず自分の身近な者たちに できるだけのことをしよう

二度とない人生だから つゆくさのつゆにも めぐりあいのふしぎを思い 足をとどめてみつめてゆこう

二度とない人生だから 戦争のない世の実現に努力し そうい詩を一篇でも多く作ってゆこう

私は、この詩に、二度とない自らの人生を、実りあるものにするために生ききる「覚悟」を感じ
ます。二度とない人生だからこそ、今、このとき、この世に生かされている我が身のありがたさ
を想う。そして、志を高く持ち、自分が世のため人のために何が出来るのかを問う。

1905年にロータリークラブを創設したポール・ハリスも、1920年にわが国にその精神を
持ち込んだ米山梅吉も、きっと同じ思いだったはずです。

私たちロータリアンは、二度とない自らの人生を、実りあるものにするために、志を高く持って、
ポール・ハリスや米山梅吉が切り拓いた道を、その先へと、手をたずさえて歩み続けて行こうで
はありませんか。

CREATE HOPE in the WORLD
- 世界に希望を生み出そう -

地区重点事項

1 クラブ活性化

… ロータリー活動の基本はクラブにあります …

ロータリーを語り、ロータリーを楽しむ基本は、全てそれぞれのクラブにあります。そして、クラブでの活動の基本は、例会にあります。充実した例会、充実した奉仕活動をとおして、それぞれのクラブの活性化を図りましょう。クラブ活性化への具体的プランを検討し、ロータリー戦略計画も参考にしながら「クラブ戦略計画」を策定しましょう。

2 情報活用

… テクノロジーを活用したつながりを作ろう …

ロータリー活動のプラットフォームとなっているマイロータリーに登録し、世界中の仲間とつながり、世界中の仲間のアイデア、最新情報を積極的に取り入れましょう。地区ホームページ、地区公式LINEなども積極的に活用し、ロータリーを楽しみましょう。そして、より多くのプログラム、行事、活動にバーチャルの要素を取り入れることで、より多くの人にロータリーを体験する機会を提供しましょう。

3 会員重視

… ロータリー活動の基本に会員の満足度という視点を …

ロータリーは、「奉仕を受ける人」と「会員」の双方を支える組織であるべきです。会員の満足度が高まれば、会員の積極性を引き出し、クラブはより強く、より魅力的で、より楽しいものになります。さらに、奉仕活動についてばかりでなく、会員との関係においても、相手の心に寄り添うメンタルヘルスに取り組みましょう。私たちと関わる全ての人を歓迎し、公平で、インクルーシブな環境を作りましょう。

4 会員増強

… ロータリーを語り合い楽しむ仲間を増やそう …

ロータリーを語り、ロータリーを楽しみましょう。そして、ロータリーを語り合い楽しむ仲間を増やしましょう。会員、特に入会歴の浅い会員の退会防止の工夫を具体的に考え、実践しましょう。各クラブ1名以上、地区としては50名以上の純増を目指します。7月から10月までの4か月間を会員増強強化期間とし、11月の地区大会で、新会員に会長とともに登壇していただき、全員で歓迎いたしましょう。

5 ロータリー奉仕デー

… それぞれの最上川物語 …

最上川をステージにして、地区内全てのグループが一丸となって、環境をテーマにした清掃活動事業を行いましょう。ロータリー奉仕デーの事業として地域社会に広報し、ロータリアンだけでなく、インターアクター、ローターアクターを始めとする青少年を含む多くの地域の方々とともに汗をかいて、最上川をとおして環境問題、そしてふるさとについて考えてみましょう。

6 ロータリー財団と米山奨学会への貢献

… 与える文化を実践しよう …

「Gain all you can, Save all you can, and Give all you can」

(大いに稼ぎ、大いに蓄え、そして大いに与えなさい ジョン・ウエスレーの言葉)

「経済人として生きるのに必要なのは、聞く耳、涙する目、そして差しのべる手である」

(アダム・スミスの言葉)

私たちロータリアンは、「与える文化」の実践者です。

ロータリー財団への寄付金は会員1人当たり年間150ドル以上、米山奨学会への寄付金は会員1人当たり年間15000円以上を目指します。

各クラブに最低一人、ポール・ハリス・ソサエティ・メンバーを輩出しましょう。

7 青少年奉仕に関する全国大会

… 青少年奉仕活動の現状と課題 そして未来へ …

全国を舞台にするせっかくの機会です。青少年奉仕活動の現状と課題を直視して、次の希望を見つけ出す起爆剤にしましょう。

この2つの全国大会の開催を通じて、私たちロータリアンの夢と志を、次代を担う若者たちにしっかりとつないでいきましょう。

① 第36回全国ローターアクト研修会 山形会議

2024年3月23日(土)～24日(日)

会場：山形テルサホール、ホテルメトロポリタン山形

② 第27回国際ロータリー日本青少年交換研究会 山形会議

2024年5月11日(土)～12日(日)

会場：天童市市民文化会館、天童ホテル

8 ガバナー賞

… ガバナー賞にチャレンジし、ロータリーを楽しもう …

本年度ガバナー賞は、以下の8項目のうち3項目以上を達成したクラブを表彰します。

- ① 会員増強 純増2名以上
- ② 会員増強 女性会員純増1名以上
- ③ マイロータリーの登録率80パーセント以上
- ④ 地区公式LINE登録率80パーセント以上
- ⑤ ロータリー財団寄付 クラブ平均 1人150ドル以上
- ⑥ 米山奨学会寄付 クラブ平均 1人15,000円以上
- ⑦ ポール・ハリス・ソサエティ・メンバーの輩出
- ⑧ ロータリー奉仕デーの事業「それぞれの最上川物語」に参加

また、ガバナー補佐の推薦により、審査のうえ決定するガバナー賞は次の2つです。

- ① 特に地域に貢献されたクラブを表彰
- ② 特にロータリー活動に貢献されたロータリアンを表彰

2023-2024年度

ロータリー奉仕デー 「それぞれの最上川物語」

第2800地区の対象エリアである山形県を流れる最上川。一つの都府県内で完結する河川としては日本一の長さ（229キロ）を誇ります。米沢の西吾妻山を水源とし、県内の数多くの市町村内を流れ、酒田の日本海にそそぎ込みます。私たちの地区の第1グループから第6グループの全てを網羅しているのです。

ふるさとの母なる川、最上川。いにしえより恵みを運ぶ大動脈。

未来に豊かで美しい最上川を引き継いでいくために、最上川をステージにして、地区内全てのグループが一丸となって、地区ごとに清掃作業を行いましょう。

「ロータリー奉仕デー」の事業として地域社会に広報し、ロータリアンだけでなく、インターアクター、ローターアクターを始めとする青少年を含む多くの地域の方々とともに汗をかいて、最上川をとおして環境問題、そしてふるさとを考えてみましょう。

それぞれのロータリアンが、「それぞれの最上川物語」をつくりましょう。

実施期日：2023年10月1日（日）

（なお、各グループの判断で、実施期日を9月下旬から10月上旬の範囲内で変更することも可能です）

「美しい山形・最上川フォーラム」のご協力のもと、「スポGOMI」大会の形式での実施を想定しておりますが、事業展開の詳細は、今後ガバナー補佐の皆さま、地区地域奉仕委員会を中心に検討していくこととなります。

ロータリーの基礎知識 1

(概略)

ガバナーエレクト 伊藤三之

1 「ロータリーの目的」

(国際ロータリー定款第4条 標準ロータリークラブ定款第5条)の意識(私見)

ロータリーの目的は、人生のあらゆる場面で「奉仕の理念」に想いを至して行動し、人生の価値を高めることにある。具体的には、次のとおりである：

- 第1 心の友を得て、自己研鑽の機会とすること；
- 第2 職業は社会に奉仕する機会であることを理解し、だからこそ、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事は全て価値あるものと認識し、各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人生活において、職業生活において、そして社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

- ・第2ないしは第3においては、business、profession、occupationという単語が使われているが、本文「意義ある事業」と訳されている単語は、「worthy enterprise」であり、enterpriseは、事業、企業とも訳せるが、「こと」とも訳すことができ、「意義あること、価値あること」というのは「人生」と訳せるのではないか

2 奉仕の理念

「奉仕の理念」とは、「世のため人のために自分が持っている能力を全力で心を込めて捧げること、そうした利他の精神が自分の幸せにつながる、そして自分を活かす道である」ということ（本多博己PG ロータリー日本100年史 本棚237頁）

3 二つのモットー（標語）

「Service above self」（超我の奉仕）・・・奉仕の哲学
「One profits most who serves best」
（最もよく奉仕する者、最も多く報いられる）・・・実践理論の原則

決議23-34の第1項

ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕—「超我の奉仕」—の哲学であり、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践理論の原則に基づくものである。

- ・・・2010年規定審議会は、決議23-34の第1項をそのまま「奉仕哲学の定義」として使用することを決議した
つまり、この二つのモットーは「奉仕の理念」の核心と位置付けられた

- ・この二つのモットーは全体として一つの主張となっており、その真意は次のようになる（本田博己 P G ロータリー日本100年史 本棚2 3 6 頁参照）

「相手に対する奉仕を自己の利益や都合より優先させよう。利益は奉仕の結果である。相手のために最善の奉仕をすれば、結果として最大の利益（金銭的な利益ばかりでなく、満足感や幸福感も含む）が得られる」

4 中核的価値観

ロータリーの中核的価値観は、親睦（Fellowship）、奉仕（Service）、リーダーシップ（Leadership）、多様性（Diversity）、高潔性（Integrity）の5つ。

ロータリーの中核的価値観は、全世界のロータリアンに対する調査に基づいて、過去100年以上にわたるロータリーの「奉仕の理念」実践の中で育まれてきた、ロータリアンが共有する価値観を凝縮したものであり、ロータリーという組織の考え方と方向性を定める原動力であり、戦略計画においても重視される要素である。

5 四つのテスト

言動はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか

- ・ハーバート・テラー（シカゴ R C）が、1932年、クラブアルミニウム社の再建のため、経営上の指針として作成。1943年に R I 理事会は職業奉仕の一つのプログラムとして採用。1954年、R I 会長となったハーバート・テラーは著作権を R I に寄贈。同年、公募で東京 R C の本田親男氏（毎日新聞社社長）の邦訳決定
- ・「四つのテストは、私生活と仕事の両面にわたって奇跡的と言ってよい程役立つことも分かった」（ハーバート・テラー著「我が自叙伝」）
- ・もともとは「職業人の行動規範」だったものが、その後、ロータリーに取り入れられてからは「人生の行動指針」となった（刀根荘兵衛 P G 敦賀 R C）
- ・「四つのテストに照らして内省すること」は、「奉仕の理念」という目的を实践するための手段である（岐阜 R C 四つのテスト解説）

6 D E I

- ・ D Diversity（多様性）
- ・ E Equity（公平性、公正性）
- ・ I Inclusion（包摂性）

D E I とは、ロータリーの中に、多様性があり、公平で、インクルーシブ（包摂的）な文化（「D E I」の文化）を培うことが不可欠だということである。D E I は、中核的価値観を反映したものであり、ロータリアンであることに伴う責任を説明したものであって、ロータリアンが持つべき文化であり、行動規範である。

DEIは、平たく言えば、「多くの人を、分け隔てなく、あたたかく迎え入れる」ということであって、まさにポール・ハリスのいう「寛容」と同じ意味と思われる。つまり、DEIが意味するところは、ロータリーの世界においては、これまで「寛容」(Tolerance)という言葉で表現されていたことであって、ロータリーという組織を活性化させ発展させるための知恵として、ロータリーの創設後まもなく、100年以上前からロータリーの組織そして会員に求められていた知恵、文化ではなかろうか
(鈴木一作PG What is Rotary? 54頁参照)。

7 クラブの機能

- ・「クラブの教育的機能」(ガイ・ガンデッカー)
- ・「例会は人生の道場である」(米山梅吉)
- ・「入りて学び 出でて奉仕せよ」(Enter to learn Go forth to serve 1947-1948 RI会長 ケンドリック・ガーンジー)
- ・「クラブ奉仕」とは

ロータリアンは、クラブ内で親睦をもとにして自己研鑽・切磋琢磨して奉仕の理念を学び奉仕の心を形成する。この内なる奉仕がクラブ奉仕であり、クラブの外では、奉仕の心を、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、そして青少年奉仕として実践する。これがロータリー活動である(深川純一PG 伊丹RC)

ロータリーの基礎知識 2

(規定審議会と『標準ロータリークラブ定款』)

ガバナーエレクト 伊藤三之

1 ロータリーの組織規定と規定審議会

「R I 定款」、「R I 細則」、そして「標準ロータリークラブ定款」を総称してロータリーの「組織規定」といいますが、これらロータリーの組織規定の改定を審議するのが規定審議会 (Council on Legislation 通称COL) です。

規定審議会は、当初は国際大会での決議に先立つ諮問機関という位置付けでしたが、1970年よりR Iの立法機関は規定審議会に一本化されました。

1974年より3年に一度開催されることになり、直近では2022年4月に開催されました。規定審議会代表委員は、各地区1名であり、世界中で地区数と同数の520名で審議されます。2022年4月は、アメリカシカゴでの対面参加とバーチャル参加のハイブリッド方式で開催されました(日本からは34地区のうち、9名が直接参加、25名がハイブリッド参加だったようです)。

ちなみに、今回審議された制定案の数は94件(日本の地区またはクラブからの制定案は26件)。審議の結果、採択されたのは29件(日本からの制定案のうち7件採択)で、採択率は約31パーセントだったようです。

2 規定審議会決議と『標準ロータリークラブ定款』

R Iの全ての加盟クラブは、『標準ロータリークラブ定款』を採用しなければなりません(R I細則2.030)。そして、標準ロータリークラブ定款は、規定審議会によってのみ(但し、クラブの名称とクラブの所在地域については別)改正されますが、このような改正は、自動的に、各クラブの定款の一部となります(R I細則2.030.1)。

→クラブの名称とクラブ所在地域以外の部分に関して、各クラブが変更する権限はありません。また、各クラブの年次計画書などに掲載している『標準ロータリークラブ定款』がいつの物であるかを問わず、最新(2022年版)の『標準ロータリークラブ定款』が効力を有していますが、各クラブにおかれては、最新(2022年版)のものを掲載してください(2025年版が出されるまで継続)。

3 「推奨ロータリークラブ細則」

R Iは、『標準ロータリークラブ定款』を補足し、クラブの慣習を定めるものとして、「推奨ロータリークラブ細則」を推奨しております。

各クラブでは、ロータリークラブ細則を、R I定款、R I細則、標準ロータリークラブ定款に違反、矛盾しない限り、クラブの慣習を反映させて適宜変更を加えて作成することができます。

4 近年の規定審議会決議と『標準ロータリークラブ定款』への反映

(1) 2016年規定審議会決議

- ・クラブ運営の柔軟性に関して、会員種類(第8条第7節)、例会回数(第7条第1節(f))や出席要件(第10条第7節)などクラブの裁量による例外規定可能

- ・五大奉仕部門の職業奉仕の文言に「そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる」との部分（1987年のR I「職業奉仕に関する声明」の内容）が追加
- (2) 2019年規定審議会決議
- ・職業分類制限廃止（第9条第1節）
 - ・メイクアップ期間が「前後14日」から「同年度内」に（第10条第1節（d））変更
- (3) 2022年規定審議会決議
- ・五大奉仕部門の社会奉仕の文言に「積極的平和」挿入（第6条3項）
 - ・出席免除申請に対する無裁量承認（第10条第5節（b））
 - ・会員がクラブの所在地域に住居または事業場を有する要件（第13条第2節（a））を削除する件

ロータリーの基礎知識 3

(ロータリーの目的、奉仕の理念など)

ガバナーエレクト 伊藤三之

1 ロータリーの目的 (国際ロータリー定款 第4条 標準ロータリークラブ定款 第5条)

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の項目を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

・標準ロータリークラブ定款 第16条

「会員は、会費を支払うことによって、ロータリーの目的の中に示されたロータリーの原則を受諾し、クラブ定款・細則を順守し、これに拘束されることを受諾する。これらの条件の下においてのみ、会員は、本クラブの特典を受けることができる。各会員は、クラブ定款・細則の文書を受け取ったかどうかにかかわらず、定款・細則の条項に従うものとする」

(1) 意識 (私見)

ロータリーの目的は、人生のあらゆる場面で「**奉仕の理念**」に想いを至して行動し、人生の価値を高めることにある。具体的には、次のとおりである：

- 第1 心の友を得て、自己研鑽の機会とすること；
- 第2 職業は社会に奉仕する機会であることを理解し、だからこそ、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事は全て価値あるものと認識し、各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人生活において、職業生活において、そして社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

(2) 奉仕の理念

「奉仕の理念」とは、「世のため人のために自分が持っている能力を全力で心を込めて捧げること、そうした利他の精神が自分の幸せにつながる、そして自分を活かす道である」ということ (本多博己 P G ロータリー日本100年史 本棚237頁)

- ・「奉仕とは、『役立つこと』の別名である」（シェルドン）
「『役に立つ』という語は『奉仕』というより仰山でなくむしろ適切である」
（ポール・ハリス）

（3）モットー（標語）

「Service above self」（超我の奉仕）・・・奉仕の哲学
「One profits most who serves best」
（最もよく奉仕する者、最も多く報いられる）・・・実践理論の原則

決議23-34の第1項

ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕—「超我の奉仕」—の哲学であり、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践理論の原則に基づくものである。

- ・2010年規定審議会は、決議23-34の第1項をそのまま「奉仕哲学の定義」として使用することを決議した。同時に、「They」を「One」に変更することを決議した
- ・この二つのモットーは全体として一つの主張となっており、その真意は次のようになる（本田博己PG ロータリー日本100年史 本棚236頁参照）
「相手に対する奉仕を自己の利益や都合より優先させよう。利益は奉仕の結果である。相手のために最善の奉仕をすれば、結果として最大の利益（金銭的な利益ばかりでなく、満足感や幸福感も含む）が得られる」

（4）中核的価値観

ロータリーの中核的価値観は、親睦（Fellowship）、奉仕（Service）、リーダーシップ（Leadership）、多様性（Diversity）、高潔性（Integrity）の5つ。

今日の世界は、1905年の世界と同じではない。人口動態が変わり、変化のスピードが加速し、テクノロジーによってつながりや奉仕の新たな機会が生み出されている。しかし、不変なのは、ロータリーを定義づける中核的価値観に対するニーズである。

ロータリーの中核的価値観は、全世界のロータリアンに対する調査に基づいて、過去100年以上にわたるロータリーの「奉仕の理念」実践の中で育まれてきた、ロータリアンが共有する価値観を凝縮したものであり、ロータリーという組織の考え方と方向性を定める原動力であり、戦略計画においても重視される要素である。

（5）四つのテスト

言動はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか

- ・ハーバート・テラー（シカゴRC）が、1932年、クラブアルミニウム社の再建のため、経営上の指針として作成。1943年にRI理事会は職業奉仕の一つのプログラムとして採用。1954年、RI会長となったハーバート・テラーは著作権をRIに寄贈。同年、公募で東京RCの本田親男氏（毎日新聞社社長）の邦訳決定
- ・「四つのテストは、私生活と仕事の両面にわたって奇跡的と言ってよい程役立つことも分かった」（ハーバート・テラー著「我が自叙伝」）
- ・もともとは「職業人の行動規範」だったものが、その後、ロータリーに取り入れられてからは「人生の行動指針」となった（刀根荘兵衛PG 敦賀RC）
- ・「四つのテストに照らして内省すること」は、「奉仕の理念」という目的を実践するための手段である（岐阜RC 四つのテスト解説）

(6) DEI

- ・D Diversity（多様性）
- ・E Equity（公平性、公正性）
- ・I Inclusion（包摂性）

もともとは、欧米での経営論、組織論の用語で、10年以上前のD&Iから、ここ数年でDEIに進化した。

ロータリーにおいては、2019年1月RI理事会において、「DEI声明」を採択し、2020年9月には「DEIタスクフォース」を設置し、意見を集約した。

2022-2023年度RI会長ジェニファー・ジョーンズは、ロータリーの戦略的優先事項や行動計画を実現するための行動規範として、DEIの推進を強く奨励している。

2023-2024年度RI会長ゴードン・マッキナリーも、DEIの推進に継続的に取り組むと宣言した。

DEIとは、ロータリーの中に、多様性があり、公平で、インクルーシブ（包摂的）な文化（「DEI」の文化）を培うことが不可欠だということである。DEIは、中核的価値観を反映したものであり、ロータリアンであることに伴う責任を説明したものであって、ロータリアンが持つべき文化であり、行動規範である。

DEIは、平たく言えば、「多くの人を、分け隔てなく、あたたかく迎え入れる」ということであって、まさにポール・ハリスのいう「寛容」と同じ意味と思われる。つまり、DEIが意味するところは、ロータリーの世界においては、これまで「寛容」（Tolerance）という言葉で表現されていたことであって、ロータリーという組織を活性化させ発展させるための知恵として、ロータリーの創設後まもなく、100年以上前からロータリーの組織そして会員に求められていた知恵、文化ではなからうか

（鈴木一作PG What is Rotary? 54頁参照）。

2 ロータリークラブの目的（標準ロータリークラブ定款 第3条）

本クラブの目的は、次の通りである。

- 「ロータリーの目的」の達成を目指すこと
- 五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施すること
- 会員増強を通じてロータリーの発展に寄与すること

- (d) ロータリー財団を支援すること
- (e) クラブレベルを超えたリーダーを育成すること

クラブの機能

- ・「クラブの教育的機能」(ガイ・ガンデッカー)
- ・「例会は人生の道場である」(米山梅吉)
- ・「入りて学び 出でて奉仕せよ」(Enter to learn Go forth to serve 1947-1948RI会長 ケンドリック・ガーンジー)

3 国際ロータリーの目的 (国際ロータリー定款 第3条)

RIの目的は次の通りである。

- (a) ロータリーの目的を推進するようなプログラムや活動を追求しているクラブ、ローターアクトクラブ、RI地区を支援すること。
- (b) 全世界にわたって、ロータリーを奨励し、助長し、拡大し、管理すること。
- (c) RIの活動を調整し、一般的にこれを指導すること。

ロータリーの基礎知識 4

(ロータリー戦略計画)

ガバナーエレクト 伊藤三之

1 ロータリー戦略計画

ロータリーがこれからもダイナミックな組織であり続け、世界中の地域社会に貢献していくための将来への指針となるのが、ロータリー戦略計画です。

2 ロータリー戦略計画の経緯

2004年6月	規定審議会がR I戦略計画委員会の設置承認
2007年6月	中核的価値観承認
2017年6月	ロータリーのビジョン声明承認
2018年6月	2019年7月～2024年6月までの5年間のロータリーの戦略的優先項目と目標承認

3 中核的価値観

ロータリーの中核的価値観は、親睦 (Fellowship)、奉仕 (Service)、リーダーシップ (Leadership)、多様性 (Diversity)、高潔性 (Integrity) です。

今日の世界は、1905年の世界と同じではありません。人口動態が変わり、変化のスピードが加速し、テクノロジーによってつながりや奉仕の新たな機会が生み出されています。しかし、不変なのは、ロータリーを定義づける中核的価値観に対するニーズです。

ロータリーの中核的価値観は、全世界のロータリアンに対する調査に基づいて、過去100年以上にわたるロータリーの「奉仕の理念」実践の中で育まれてきた、ロータリアンが共有する価値観を凝縮したものであり、ロータリーという組織の考え方や方向性を定める原動力であり、戦略計画においても重視される要素です。

4 ロータリーのビジョン声明

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

5 ロータリーの戦略的優先項目と目標

国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを達成するため、2019年7月から2024年6月までの5年間の活動を方向づける4つの優先事項が定められました。

それは、ビジョンを達成するための5年間の行動計画 (Action Plan) です。私たちは、「世界を変える行動人」として、価値観を行動に移しましょう。

以下、R Iが「2023-2024年度目標」として掲げる優先事項と具体的目標を示します (具体的目標項目は国際協議会ガバナーエレクト用ワークブック59頁より)。

① 優先事項1 「より大きなインパクトをもたらす」の目標

地域社会や世界で変化をもたらすために、職業上の専門知識、プロジェクトやクラブの経験、ネットワークなどを生かして、ロータリーのインパクトを実証していきましょう。

「インパクト」とは、「ロータリーの行動によってもたらされるポジティブで長期的な変化」のことでありと定義されており、ビジョン声明に示された持続可能性を内容としています。どれほど「大掛かりで派手」なプロジェクトを行っても、どれほど「衝撃的」なイベントであっても、それが「ポジティブな長期的変化」をもたらすものでない限り、「インパクト」ではないこととなります。

1. ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調する。
2. ロータリー財団への寄付を行うクラブとロータリー会員の総数を増やすとともに年次基金とポリオプラスへの寄付を増やし、2025年度までに恒久基金を20億2500万ドルに成長させる。
3. 特にロータリーの重点分野において、クラブ、地区、国際プログラムとプロジェクトが成果を上げられるようにし、その成果を測定する。

② 優先事項2 「参加者の基盤を広げる」の目標

より多くの人々が結束すれば地域社会や世界を変える力が高まることを、私たちは知っています。夢を共有する人たちが一緒に行動できるよう、つながりと機会をつくり出しましょう。

1. 既存のパートナーシップを強化し、新たなパートナーシップを築くことで、ロータリーの国際的な立場を向上させる。
2. 革新的なクラブや参加を促す経路を確立し、発展させる。
3. ロータリーとローターアクター会員は世界を変える行動人であるという認識と理解を高める。

③ 優先事項3 「参加者の積極的なかかわりを促す」の目標

私たちが奉仕する人だけでなく、奉仕に参加する人も、自分の存在が認められ、声が聞き入れられていると感じる必要があります。奉仕に参加する人のニーズ、期待、成長を活動の中心に据えることを、再び誓いましょう。

1. 個人的成長、リーダーシップ開発、奉仕、ネットワークづくりの機会を通じて、ロータリーの中核的価値観を支える会員参加促進の手段を強化する。
2. 入会后1年以内に退会する新会員の数を減らす。
3. 特にロータリークラブ、ローターアクトクラブの参加者の連携を強める。
4. クラブ、リーダーシップ、およびロータリーファミリー全体で、多様性、公平さ、インクルージョンへのコミットメントを強化する。

④ 優先事項4 「適応力を高める」の目標

世界は急速に変化しており、ロータリーがこれからも歴史の呼びかけに応えていくために、ロータリーも進化、革新し続けましょう。

1. ロータリーのプログラムとロータリーが提供する体験を見直し、その妥当性と効果を確実にする。
2. バーチャルでのつながりの活用を支援・奨励することで、対面式の会合、研修、ファンディング、奉仕プロジェクトの効果を最大限にする。
3. ロータリーの奉仕提供およびボランティアリーダーシップの構成を継続的に見直し、効果を高め、責務および説明責任の所在をより明確にする。

6 DEI

- ・D Diversity (多様性)
- ・E Equity (公平性、公正性)
- ・I Inclusion (包摂性)

もともとは、欧米での経営論、組織論の用語で、10年以上前のD&Iから、ここ数年でDEIに進化しました。

ロータリーにおいては、2019年1月RI理事会において、「DEI声明」を採択し、2020年9月には「DEIタスクフォース」を設置し、意見を集約しました。

2022-2023年度RI会長ジェニファー・ジョーンズは、ロータリーの戦略的優先事項や行動計画を実現するための行動規範として、DEIの推進を強く奨励しています。

2023-2024年度RI会長ゴードン・マッキナリーも、DEIの推進に継続的に取り組むと宣言しました。

7 まとめ：ビジョン声明と行動計画（四つの戦略的優先事項）とDEIの関係

国際ロータリーとロータリー財団の、持続可能なよい変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界という「ビジョン」を実現するために、今後数年間の活動を方向づける四つの戦略的優先事項が「ロータリーの行動計画」として定められましたが、その計画を成功させるためには、ロータリーの中に、多様性があり、公平で、インクルーシブ（包摂的）な文化（「DEI」の文化）を培うことが不可欠だというわけです。

DEIは、中核的価値観を反映したものであり、ロータリアンであることに伴う責任を説明したものであって、ロータリアンが持つべき文化であり、行動規範です。

DEIは、平たく言えば、「多くの人を、分け隔てなく、あたたかく迎え入れる」ということであって、まさにポール・ハリスのいう「寛容」と同じ意味ではないでしょうか。

つまり、DEIが意味するところは、ロータリーの世界においては、これまで「寛容」という言葉で表現されていたことであって、ロータリーという組織を活性化させ発展させるための知恵として、ロータリーの創設後まもなく、100年以上前からロータリーの組織そして会員に求められていた知恵、文化ではないでしょうか。

ロータリーの基礎知識 5

(決議23-34からの変遷)

ガバナーエレクト 伊藤三之

1 ロータリーの奉仕理念と実践原理が確立されました

1923年6月(大正12年 関東大震災は同年9月1日)、セントルイス国際大会で決議23-34(1923年の34号議案)が採択された(1923-1924のRI会長はガイ・ガンデッカー)。

1923年に採択された当初のタイトルは、「本来の諸活動に対するロータリーの方針を再確認し、国際ロータリーとロータリークラブにおける今後の手引きとなる原則を定める件」であり、まさにこの決議の内容を表している(鈴木一作PG)。

決議23-34の持つ意味

- ① ロータリーの奉仕理念すなわちロータリーの哲学として、2つの奉仕理念「Service Above Self」及び「He profits most who serves best」を確定した
- ② ロータリーにおけるすべての活動の指針であり、すべての活動をコントロールする規範
- ③ ロータリーの哲学は実践哲学であり、奉仕理念の研鑽のみならず、奉仕活動の実践を伴わなければならない
- ④ ロータリーの奉仕活動は個人奉仕を原則としながらも、クラブがサンプルとして行う団体奉仕活動も認める(この点から、決議23-34は、「職業奉仕・個人奉仕の推進派」と「社会奉仕・団体奉仕の推進派」の妥協の産物とも評される)
- ⑤ 国際ロータリーの役割と、クラブの自治権に関する権利と義務を明記

2 RIの人道的奉仕団体としての動き

- 1978 保健・飢餓追放・人間性尊重(3-H)プログラム
(RI主導型奉仕活動)の発表
R財団 3-H補助金プログラム創設
- 1980 ロータリー創立75周年に合わせ3-Hプログラム推進
- 1985 ロータリー創立80周年に合わせ「ポリオ・プラス計画」発表
ポリオ撲滅運動の推進
R財団 ポリオ・プラスプログラム開始
- 1991 「国際ロータリーの使命」発表(団体奉仕活動の提唱)
- 2007 R財団 ポリオ根絶資金をビル・ゲイツ財団拠出(以降継続)

3 2016年4月の「戦略計画の最新情報」(RI規定審議会のガイダンスで発表)

「最近まで、ロータリーは自らを『人道的奉仕団体』として位置づけ、事業・専門職業・地域社会のリーダーであるという会員の特質を十分強調してはいなかった」、「しかし、ロータリーがほかと違う特別な団体である理由は、その会員組織にある。

「ロータリーは、『奉仕活動を行っている会員から成る団体』だということである」とし

て、「事業・専門職業・地域社会のリーダー」と「奉仕」を「および」でつなぎ、天秤でバランスを取っている図を掲載した。

つまり、最近までのR Iは「奉仕（Service）」に比重が置かれ過ぎている現状から、「奉仕（Service）」という活動と、事業・専門職業・地域社会のリーダーであるという「会員（Membership）」の特質とのバランスが取れた状態に戻してこのR Iの現状認識と今後の方向性が示されている（本田博己PG ロータリー日本100年史 本棚245頁参照）。

ポリオから2015年で30年。若干風向きが変わったのではないか。
現にここ数年のR I会長は、「クラブや会員の重要性」を強調するようになった。

ジェニファー会長の「DEI」やマッキナリー会長の「メンタルヘルス・・奉仕を受ける人と会員の双方に心配りをする」というのは、その傾向を捉えたものと思われる。

ガバナー公式訪問に関する基本方針

ガバナー公式訪問に関する本年度の特徴

- ① ガバナー公式訪問期間は、2023年7月から2024年3月までとします。
- ② ガバナー公式訪問の時間帯は、お昼の通常例会での形式と夕方からの変更例会での形式の2パターンとします（詳しくは下記）。
- ③ 同一グループ内での複数クラブの合同例会の機会を利用してのガバナー公式訪問も大歓迎いたします（詳しくは下記）。

1 ガバナー公式訪問の意義

ガバナーは、個々のクラブや複数クラブの合同例会といった機会を利用して、地区内の全クラブを訪問します。ガバナー公式訪問の主な目的は、クラブ会員の意欲を高め、クラブに対して支援を提供することです。

クラブにとっては、ガバナーから地区目標に向けた地区全体の活動について説明を受けるとともに、クラブの目標、活動状況と成果、懸念などを話し合う機会となりますので、十分な事前準備をして望むことが重要になります。

2 事前準備

(1) 「2023-2024年次計画書/2022-2023年次報告書」の提出

ガバナー公式訪問の日時にかかわらず、各クラブにおいて、2023-2024年次計画書及び2022-2023年次報告書を作成されましたら、早急にガバナー補佐とガバナー事務所にご提出ください。

仮に、ガバナー公式訪問が7月にあつて、それらの製本が間に合わない場合にも、ガバナー公式訪問の2週間前までに、必要箇所のコピー状態で結構ですので必ずご提出ください。

(2) ガバナー補佐を招いての「クラブ協議会」の開催

ガバナー公式訪問の2週間前までに、ガバナー補佐を招いて「クラブ協議会」を開催し、クラブの目標、活動状況と成果、懸念などを事前に十分に話し合ってください。また、地区に対してのご要望、ご質問についてもご協議願います。

クラブ協議会前に、ガバナー補佐を通じてガバナーからの質問項目をお知らせすることもありますので、その際にはその点についてもご協議願います。

3 ガバナー公式訪問の時間帯及び内容

原則として、次のような2つの形式を想定しており、各クラブのご希望に添っていずれかの形式で実施します。

(1) お昼の通常例会の場合

- ① 例会前の会長幹事会
午前11時から50分程度
会長、幹事、会長エレクト、ガバナー補佐（+理事、委員長等）

- ② 例会行事
午後0時30分から1時間程度
 - ・クラブ例会行事（25分程度）
開会点鐘、ソング、会長挨拶等
新会員の入会式、財団寄付等の表彰式など
 - ・ガバナー講話（30分程度）
 - ・ガバナー補佐講評（5分程度）
 - ・閉会点鐘

(2) 夕方からの変更（移動）例会の場合

- ① 例会前の会長幹事会
午後5時から50分程度
会長、幹事、会長エレクト、ガバナー補佐（+理事、委員長等）
- ② 例会行事
午後6時から1時間程度
 - ・クラブ例会行事（25分程度）
開会点鐘、ソング、会長挨拶等
新会員の入会式、財団寄付等の表彰式など
 - ・ガバナー講話（30分程度）
 - ・ガバナー補佐講評（5分程度）
 - ・閉会点鐘
- ③ 懇談会（懇親会）・・・但し、設定するか否かは自由です
午後7時から1時間程度
懇談（懇親）が主目的ですから、アルコールの有無は問いませんし、豪華な食事も要りません。むしろ、リラックスして意見交換ができるファイヤーサイドミーティングのような形が望ましいと考えます。

4 合同例会の機会を利用してのガバナー公式訪問

同一グループ内での複数クラブの合同例会の機会を利用してのガバナー公式訪問も大歓迎いたします。

上記3との関係で言えば、（1）お昼の通常例会の場合も、（2）夕方からの変更（移動）例会の場合も大丈夫です。

その場合には、合同例会前の会長幹事会は、ガバナー公式訪問の意義を損なわないために、各クラブ別に時間をずらしてそれぞれ50分程度の時間をきっちりと確保して開催させていただきます。

5 ガバナー補佐の同行

ガバナー公式訪問時は、（1）お昼の通常例会の場合も、（2）夕方からの変更（移動）例会の場合も、ガバナー補佐が会長幹事会から例会まで参加同行いたします。

6 同行スタッフ

同行スタッフ（2名程度）も同行し、メイクアップで例会に出席いたします。
なお、同行スタッフは、会長幹事会には出席いたしません。

7 ローターアクトクラブ・インターアクトクラブへの訪問

地区担当委員会と相談して行います。

8 市町村長等への表敬訪問

地域でのロータリー活動へのご理解をいただくために、ガバナー公式訪問時等を利用して、市町村長やマスコミ等への表敬訪問を行います。日程調整はガバナー補佐にお願いいたします。

ガバナー公式訪問日程表（2023-2024 地区研修・協議会 案）

2023.4.15現在

	クラブ名	訪問日	曜日	時間
第1グループ	酒田	7月28日	金	午後合同
	酒田東			
	酒田中央			
	酒田スワン			
	酒田湊			
第2グループ	鶴岡	7月11日	火	
	鶴岡西	8月7日	月	
	余目	8月8日	火	
	鶴岡東	8月23日	水	
	鶴岡南	7月21日	金	
第3グループ(A)	天童	9月1日	金	
	東根	7月20日	木	
	天童東	12月13日	水	
	天童西	1月29日	月	
	東根中央	9月25日	月	
第3グループ(B)	村山	9月26日	火	
	新庄	8月31日	木	
	尾花沢	10月18日	水	午後合同
	尾花沢中央			
	最上	10月10日	火	
	村山ローズ	1月24日	水	
	新庄あじさい	10月5日	木	
第4グループ	寒河江	8月3日	木	
	大江	9月19日	火	
	河北	10月30日	月	昼例会
	寒河江さくらんぼ	10月17日	火	
	西川月山	9月20日	水	

	クラブ名	訪問日	曜日	時間
第5グループ(A)	山形	8月2日	水	昼例会
	山形北	3月28日	木	夕方例会
	山辺	2月13日	火	昼例会
	山形南	8月22日	火	昼例会
	中山	10月23日	月	昼例会
第5グループ(B)	山形西	7月24日	月	昼例会
	上山	11月29日	水	
	山形東	3月15日	金	
	山形中央	2月6日	火	昼例会
	山形イブニング	2月19日	月	夕方例会
第6グループ(A)	米沢	8月1日	火	午後合同
	米沢上杉			
	米沢中央			
	米沢おしょうしな			
	高畠	9月7日	木	
第6グループ(B)	長井	11月28日	火	昼例会
	南陽	9月5日	火	午後合同
	南陽東			
	南陽臨雲			
	白鷹	7月13日	木	昼例会
	小国	3月6日	水	昼例会
	長井中央	9月13日	水	昼例会

数値目標

- 会員増強・会員維持

全会員が協力し、会員増強を目指します。

純増：各クラブ1名以上

- ロータリー財団への貢献

ロータリー財団への寄付金は、クラブと地区が財団補助金を活用して最大限かつ持続可能な成果をもたらします。

年間：150ドル/人

(年次基金：50\$/人, ポリオプラス：20\$/人 を含む)

- 米山奨学会への貢献

ロータリー米山記念奨学会は、外国人留学生を支援する、民間最大の奨学団体です。将来日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー活動のよき理解者となる人材を育成します。

年間：15,000円/人

2023-2024 年度 ガバナー賞

本年度ガバナー賞は、以下の8項目のうち3項目以上を達成したクラブを表彰します。

- ① 会員増強 純増2名以上
- ② 会員増強 女性会員純増1名以上
- ③ マイロータリーの登録率80パーセント以上
- ④ 地区公式LINE登録率80パーセント以上
- ⑤ ロータリー財団寄付 クラブ平均 1人150ドル以上
- ⑥ 米山奨学会寄付 クラブ平均 1人15,000円以上
- ⑦ ポール・ハリス・ソサエティ・メンバーの輩出
- ⑧ ロータリー奉仕デーの事業「それぞれの最上川物語」に参加

また、ガバナー補佐の推薦により、審査のうえ決定するガバナー賞は次の2つです。

- ① 特に地域に貢献されたクラブを表彰
- ② 特にロータリー活動に貢献されたロータリアンを表彰

クラブ会長エレクトは、会長エレクト研修セミナー（PETS）で提示された「決議事項（案）」
「申し合わせ事項（案）」「地区資金予算書（案）」「地区大会予算書（案）」「ガバナーエレクト
地区資金予算書（案）」を、クラブ理事会へご提案いただき、審議のうえ地区研修・協議会に
於いてご承認お願いいたします。

決議事項（案）

（1）地区賦課金の件

①賦課金	17,000円 / 人
②その他の賦課金	
・ガバナー会運営協力金	200円 / 人
・ロータリー文庫運営協力金	200円 / 人
・RIJYEM 運営協力金	200円 / 人
（①②の合計	<u>17,600円 / 人</u> ）

（2）地区大会賦課金：登録料 10,000円 / 人

（3）特別会計（地区災害等救援特別基金） 1,000円 / 人

申し合わせ事項（案）

（1）会員増強の件

各クラブ1名以上の会員純増

（2）ロータリー財団の件

①年次基金：50\$ / 人（11/30まで納入）

②ポリオプラス：20\$ / 人（11/30まで納入）

1人年間 150\$ 目標

（3）米山記念奨学会の件

①普通寄付：上期 2,500円 / 人

下期 2,500円 / 人

②特別寄付：クラブ会員全員（1,000円から特別寄付は可能）

1人年間 15,000円 目標

2023-2024年度 国際ロータリー第2800地区 資金予算書(案)

(単位/円)

収入の部	項目	22~23年度予算	23~24年度予算	増減	備考欄
	人数	1,500	1,486	△ 14	
	地区 賦課金	¥25,500,000-	¥25,262,000-	△ 238,000	1,486名 * ¥17,000
	新会員地区賦課金	¥110,000-	¥110,000-	0	上期 15名 下期 10名
	ガバナー会運営協力金	¥300,000-	¥297,200-	△ 2,800	1,486名 * ¥200
	ロータリー文庫運営協力金	¥300,000-	¥297,200-	△ 2,800	1,486名 * ¥200
	RIJYEM運営協力金	¥300,000-	¥297,200-	△ 2,800	1,486名 * ¥200
	ガバナー活動費・配分予算	¥1,353,090-	¥1,223,690-	△ 129,400	RIより
	合計	¥27,863,090-	¥27,487,290-	△ 375,800	

支出の部	項目	22~23年度予算	23~24年度予算	増減	備考欄
(ア) 地区活動資金	A. インターアクト	¥800,000-	¥800,000-	0	
	B. スポンサークラブ補助	¥280,000-	¥280,000-	0	30,000 X 8クラブ + 事務局費 40,000
	① インターアクト(A~B計)	¥1,080,000-	¥1,080,000-	0	
	A. ローターアクト	¥900,000-	¥900,000-	0	
	B. 提唱クラブ補助	¥180,000-	¥210,000-	30,000	30,000 X 7クラブ
	② ローターアクト(A~B計)	¥1,080,000-	¥1,110,000-	30,000	
	A. 受入補助金	¥900,000-	¥900,000-	0	¥300,000 * 3名
	B. 派遣補助金	¥300,000-	¥300,000-	0	¥100,000 * 3名
	C. 委員会費	¥500,000-	¥500,000-	0	
	D. ROTEX	¥100,000-	¥100,000-	0	
	E. スプリングキャンプ	¥300,000-	¥300,000-	0	
	③ 青少年交換(A~E計)	¥2,100,000-	¥2,100,000-	0	
	④ 青少年育成費(ライ等)	¥300,000-	¥300,000-	0	
	⑤ 賠償責任保険費	¥150,000-	¥150,000-	0	
⑥ 広報活動費	¥100,000-	¥100,000-	0		
⑦ ガバナー活動費	¥1,100,000-	¥1,100,000-	0		
(ア) ①~⑦計	¥5,910,000-	¥5,940,000-	30,000		
(イ) ローター連絡運営費	① ガバナー連絡運営費	¥300,000-	¥297,200-	△ 2,800	1486名 * ¥200
	② ローター文庫運営協力金	¥300,000-	¥297,200-	△ 2,800	1486名 * ¥200
	③ RIJYEM運営協力金	¥300,000-	¥297,200-	△ 2,800	1486名 * ¥200
	④ 平和奨学生支援金	¥22,500-	¥22,290-	△ 210	1486名 * ¥15
	(イ) ①~④計	¥922,500-	¥913,890-	△ 8,610	
(ウ) 地区運営資金	A. ローター研究費	¥800,000-	¥800,000-	0	¥80,000 * 10名
	B. 諮問委員会費	¥300,000-	¥300,000-	0	
	C. 全国ガバナー連絡会費	¥250,000-	¥250,000-	0	
	D. 2530地区交流会議費	¥50,000-	¥50,000-	0	
	E. AGクラブ訪問指導費	¥588,000-	¥588,000-	0	¥3,000 * 4回 * 49クラブ
	F. 地区委員会費	¥300,000-	¥300,000-	0	
	① 会議費(A~F計)	¥2,288,000-	¥2,288,000-	0	
	A. クラブ奉仕委員会	¥100,000-	¥100,000-	0	
	B. 会員増強委員会	¥150,000-	¥150,000-	0	
	C. 職業奉仕委員会	¥150,000-	¥150,000-	0	
	D. 青少年奉仕委員会	¥350,000-	¥350,000-	0	
	E. 社会奉仕委員会	¥50,000-	¥50,000-	0	
	F. 国際奉仕委員会	¥50,000-	¥50,000-	0	
	G. 米山・学友委員会	¥350,000-	¥350,000-	0	
	H. ローター財団委員会	¥200,000-	¥200,000-	0	
	I. 危機管理委員会	¥20,000-	¥20,000-	0	
	J. ローターの友	¥10,000-	¥10,000-	0	
	K. 地区資金委員会	¥30,000-	¥30,000-	0	
	② 地区委員会活動費(A~K計)	¥1,460,000-	¥1,460,000-	0	
	③ 地区セミナー研修費	¥400,000-	¥400,000-	0	
	A. 規定審議会旅費積立	¥150,000-	¥150,000-	0	
	B. クラブ拡大費	¥0-	¥0-	0	
	C. 山形米山学友会	¥150,000-	¥150,000-	0	
④ 補助費(A~C計) 小計	¥300,000-	¥300,000-	0		
A. 直前ガバナー記念品	¥100,000-	¥100,000-	0	地区大会にて	
B. 直前ガバナーハッチ	¥50,000-	¥50,000-	0	地区研修・協議会にて	
C. 地区表彰費	¥500,000-	¥500,000-	0		
⑤ 記念品(A~C計)	¥650,000-	¥650,000-	0		
⑥ 月信マンスリーレター	¥2,502,500-	¥2,470,000-	△ 32,500	1,520部*¥125*13ヶ月	
⑦ 国際大会代表議員参加補助費	¥150,000-	¥150,000-	0		
(ウ) ①~⑦計	¥7,750,500-	¥7,718,000-	△ 32,500		
1) 活動運営資金(ア~ウ計)	¥14,583,000-	¥14,571,890-	△ 11,110		
2) 地区事務所費	¥7,100,000-	¥6,900,000-	△ 200,000		
3) ガバナーエレ地区資金	¥6,000,000-	¥5,944,000-	△ 56,000	¥4,000 X 1,486	
4) 予備費	¥180,090-	¥71,400-	△ 108,690		
総計	¥27,863,090-	¥27,487,290-	△ 375,800		

2023-2024年度 国際ロータリー第2800地区 地区大会予算書(案)

(単位/円)

収入の部	項目	22~23年度予算	23~24年度予算	増 減	備考欄
	人数	1500	1486	△ 14	
	年次大会登録料(期首)	¥15,000,000-	¥14,860,000-	△ 140,000	全員基本登録料 10,000
	年次大会登録料(新会員)	¥200,000-	¥200,000-	0	25名 X ¥8,000
	年次大会登録料(地区外)	¥350,000-	¥400,000-	50,000	他地区、兄弟・姉妹クラブ等 40名
	晩餐会登録料	¥1,100,000-	¥1,100,000-	0	[90名(会長幹事)+ 20名(PG・地区外)] * @10,000
	表彰負担金	¥705,000-	¥705,000-	0	10年 15名 * 12,000 20年~ 35名 * 15,000
	地区表彰繰入金	¥500,000-	¥500,000-	0	地区資金より
	雑収入その他収益	¥50,000-	¥50,000-	0	
	合計	¥17,905,000-	¥17,815,000-	△ 90,000	

支出の部	項目	22~23年度予算	23~24年度予算	増 減	備考欄
	記念事業費	¥600,000	¥600,000	0	
	表彰費	¥1,100,000	¥1,100,000	0	10年、20年等100%出席
	記念品費	¥300,000	¥300,000	0	RI会長代理
	宿泊費	¥500,000	¥500,000	0	RI会長代理、地区役員等
	印刷製本費	¥500,000	¥500,000	0	大会資料、案内、登録、プログラム等
	大会記録費	¥500,000	¥500,000	0	写真等
	広告費	¥150,000	¥150,000	0	
	会議費	¥400,000	¥400,000	0	実行委員会担当者会議等
	事務経費、諸経費(人件費含む)	¥1,650,000	¥1,550,000	△ 100,000	事務用品・通信費
	送迎費	¥500,000	¥150,000	△ 350,000	タクシー代等
	小 計	¥6,200,000	¥5,750,000	△ 450,000	
	RI会長代理昼食費	¥200,000	¥200,000	0	
	RI会長代理晩餐会費	¥1,257,500	¥1,300,000	42,500	
	会場費	¥1,700,000	¥1,900,000	200,000	会場使用料・看板等
	講演料	¥700,000	¥700,000	0	
	大会昼食費	¥972,000	¥1,100,000	128,000	
	ドリンク代	¥303,000	¥150,000	△ 153,000	
	懇親会費	¥5,115,000	¥5,300,000	185,000	
	アトラクション	¥200,000	¥200,000	0	
	エクスカーション	¥150,000	¥150,000	0	バス、食事、入館料等
	G他地区大会出席費	¥500,000	¥500,000	0	地区外旅費規程第3条6項
	次年度ガバナー賞表彰費	¥500,000	¥500,000	0	
	予備費	¥107,500	¥65,000	△ 42,500	
	小 計	¥11,705,000	¥12,065,000	360,000	
				0	
				0	
				0	
	合計	¥17,905,000-	¥17,815,000-	△ 90,000	

**2023-2024年度国際ロータリー第2800地区
ガバナーエレクト地区資金予算書(案)**

<収入の部>

(単位：円)

	項目	22-23予算	23-24予算	増減	備考
	地区賦課金 (ガバナー地区資金より)	6,000,000	5,944,000	△ 56,000	4,000円 *1,486人
	総 計	6,000,000	5,944,000	△ 56,000	

<支出の部>

	項目	22-23予算	23-24予算	増減	備考
(ア) 地区運営費	1. 会議費				
	A. 地区チーム研修費	1,875,000	2,105,000	230,000	
	ガバナー補佐研修会	0	250,000	250,000	
	地区チーム研修セミナー	595,000	585,000	△ 10,000	
	会長エレクト研修会 (PETS)	780,000	770,000	△ 10,000	
	地区研修・協議会	500,000	500,000	0	
	B. 国際協議会歓送会	360,000	400,000	40,000	
	A~B 小 計	2,235,000	2,505,000	270,000	
	2. GE国際協議会参加補助費	1,000,000	1,000,000	0	
	(ア) 合 計	3,235,000	3,505,000	270,000	
	ガバナーエレクト事務局運営費	2,700,000	2,410,000	△ 290,000	
	予 備 費	65,000	29,000	△ 36,000	
	総 計	6,000,000	5,944,000	△ 56,000	

2023-2024年度 送金カレンダー

	送金項目	金額	締切日	送金先	報告先	
① R I 関 係	クラブ請求書 (RI人頭分担金)	上期 人頭分担金 ($\$ 38.5 \times \text{レート}$) \times 7/1現在の会員数 ※うち1ドルは規定審議会負担金 比例人頭分担金 2023年 1月2日～6月1日迄の新会員 ($\$ 35.5 \div 6$) \times 在籍月数 \times レート	2023年7月 クラブ請求書 受領次第	三井住友銀行 新宿通支店 普通預金 No.6733244 国際ロータリー日本事務局	RI日本事務局	
		下期 人頭分担金 ($\$ 37.5 \times \text{レート}$) \times 1/1現在の会員数 比例人頭分担金 2023年7月2日～12月1日迄の新会員 ($\$ 37.5 \div 6$) \times 在籍月数 \times レート	2024年1月 クラブ請求書 受領次第			
	RI公式機関雑誌 ザ・ロータリアン	上期 ($\$ 12 \times \text{レート}$) \times 購買者数 下期 ($\$ 12 \times \text{レート}$) \times 購買者数	クラブ請求書 にて請求され た時			
	RI文献の申込	各クラブで常備する所定の 注文用紙により金額算定	随時			三井住友銀行 新宿通支店 国際ロータリー日本事務局 普通預金 No.6733244
② そ の 他	ロータリー財団	年次基金 ($\$ 50 \times \text{レート}$) \times 7/1会員数	2023年 11月末日	三井住友銀行 赤羽支店 普通預金 No.3978101 公益財団法人R-列-日本財団		
		年次基金(新会員) ($\$ 10 \times \text{レート}$) \times 新会員数	随時			
		ポリオプラス ($\$ 20 \times \text{レート}$) \times 会員数	2023年 11月末日			
③ 地 区 資 金 関 係	米山記念奨学会 への寄付	普通寄付金(上期) 2,500円 \times 7/1会員数	2023年 7月末日	三井住友銀行 京橋支店 公益財団法人ロータリー 米山記念奨学会 普通預金 No.0920373	ロータリー 米山記念奨学会	
		普通寄付金(下期) 2,500円 \times 1/1会員数	2024年 1月末日			
		特別寄付金 一口 1,000円以上	随時			
③ 地 区 資 金 関 係	ロータリーの友	半年期 (1,650円 / 送料込) \times 購買部数 新会員(月額) (275円 / 送料込)	請求書を 受領次第	三井住友銀行 浜松町支店 普通預金 No.7450015 一般社団法人ロータリー の友事務所	ロータリーの友 事務所	
		地区資金	地区賦課金(上期) 10,300円 (地区賦課金10,000円+ガバナー会運営協力金100円+ R-列-文庫協力金100円+RIJYEM協力金100円) \times 7/1現在の会員数	2023年 7月末日	山形銀行 寿町支店 普通預金 No.620432 国際ロータリー第2800地区 G事務所 資金委員長 伊藤明彦	RI第2800地区 地区事務局
			地区賦課金(上期) 新会員 5,000円 \times (7/2～9/30) 新会員数	2023年 10月末日		
地区賦課金(下期) 7,300円 (地区賦課金7,000円+ガバナー会運営協力金100円+ R-列-文庫協力金100円+RIJYEM協力金100円) \times 1/1現在の会員数	2024年 1月末日					
地区賦課金(下期) 新会員 3,500円 \times (1/2～3/31) 新会員数	2024年 4月末日					
特別会計	地区災害等救援特別基金 1,000円 \times 7/1現在の会員数	2023年 7月末日				
	地区大会 登録料	10,000円 \times 7/1現在の会員数	2023年 7月末日			
8,000円 \times (7/2～9/30) 新会員数		2023年 10月5日				

各送金連絡先一覧表

送金内容	問い合わせ先	住所	TEL	FAX
RI人頭分担金 RI公式機関雑誌 ザ・ロータリアン RI文献の申込	国際ロータリー日本事務局 経理室	〒108-0073 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル24階	03-5439-5803	03-5439-0405
ロータリー財団 寄付	国際ロータリー日本事務局 財団室または経理室	〒108-0073 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル24階	03-5439-5805	03-5439-0405
米山記念奨学会 への寄付	公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階	03-3434-8681	03-3578-8281
ロータリーの友 購読料	一般社団法人 ロータリーの友事務所	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階	03-3436-6651	03-3436-5956
地区資金関係	国際ロータリー第2800地区 地区事務局	〒994-0027 山形県天童市桜町2-20 E-mail : office@rid2800.org	023-687-0208	023-687-0209

ガバナー月信について

報告事項	締切	備考
クラブ会員数報告	翌月 15 日必着	地区事務局へ提出
クラブ例会出席報告	2024 年 7 月 15 日必着	地区事務局へ、年間の平均出席率を提出
ガバナー公式訪問報告	公式訪問終了後 2 週間以内	書式自由（600 字程度）写真 1～2 枚を添付 ※指定がない場合、同行スタッフが撮影した写真使用
特色のある例会・行事・事業	その都度	書式自由・写真 1 枚以上を添付
ロータリー財団寄付 メジャードナー	"	1,000 ドル毎に、下記内容にて掲載 『メジャードナー レベル〇 △△△ドル達成』 寄付累計額と顔写真データを地区事務局へ提出
ロータリー財団寄付 ポール・ハリス・フェロー	"	漢字氏名と顔写真を地区事務局へ提出
米山奨学会寄付 米山功労者・米山功労法人	"	顔写真を地区事務局へ提出
会員の訃報	"	逝去年月日・享年年齢・職業分類・顔写真添付
新会員	"	氏名（ふりがな）・入会年月日・職業分類 顔写真添付
I M 報告・フォーラム等	"	写真 1 枚以上を添付
会員の叙勲・表彰等	"	受賞内容・職業分類・顔写真添付
その他・意見	"	書式自由

【お願い】

- * 原稿（Word または PDF）・写真（JPEG）はメールにてお送りください。
- * 執筆者のお名前・ご連絡先（携帯等）・ロータリー役職名（PG・GE・AG・各委員会委員長
各クラブ会長幹事・・・委員会等）をご記入下さい。
- * ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせ下さい

〈お問合せ・送付先〉

国際ロータリー第 2800 地区 地区事務局
〒994-0027 天童市桜町 2-20
TEL 023-687-0208 / FAX 023-687-0209 / E-mail office@rid2800.org

ご投稿をお待ちしています！『ロータリーの友』投稿規定



友愛の広場 ★

- ・ エッセーや海外クラブ訪問記、時局雑感など。

原稿：1,000 字以内 写真：あれば添付

ロータリー・アット・ワーク写真編 ★

- ・ ロータリークラブ、地区、インターアクト・ローターアクトクラブなどの奉仕活動を写真で紹介。活動後1カ月以内にご投稿ください。

原稿：150 字程度（必ず活動日を入れてください）

写真：集合写真、カメラ目線の撮影以外で、活動の様子が分かるもの

ロータリー・アット・ワーク文章編 ★

- ・ 紹介内容は写真編と同じ。活動後1カ月以内にご投稿ください。

原稿：600 字以内 写真：あれば添付(写真編に同じ)

ロータリー俳壇・歌壇・柳壇

- ・ 1人1カ月にはがき1枚3句（首）まで。作品の横にクラブ名・お名前・電話番号を記入。歌壇・柳壇は、友ウェブサイトの投稿フォームからも受け付け可。

私の一冊 ★

- ・ 会員お薦めの本を紹介。一般的で、入手可能な市販書籍（絶版、自費出版、投稿者と直接関係する書籍以外）をお願いします。

原稿：320 字以内。原稿と別に書籍名、著者名、出版社、発行年を付記してください。

うちの子 ★

- ・ 自慢のペットを写真で紹介。

原稿：100 字以内（ペットの名前を明記してください）

写真：ペットそのもののアップの写真

パズル de ロータリー ★

- ・ 2種類の問題（数独、パズル）を毎号順番に掲載。プレゼント応募の締め切りは原則、発行月翌月の10日。

内外よろず案内

- ・ 会員間の趣味の交換、催し物の案内など。

原稿：200 字以内。資料があればお送りください。

声 ★

- ・ 『友』誌についての感想・意見を紹介。発行月翌月の10日締め切り。

原稿：150 字以内。対象記事を明記してください。

★は友ウェブサイトの投稿フォームでも受け付けています

情報もお待ちしています！

NEW GENERATION

- ・ ロータリーのプログラムに参加している（参加経験のある）若い人たちを紹介。推薦対象者（インターアクター、ローターアクター、青少年交換学生、財団奨学生、米山奨学生、ライラリアンなど）について編集部へご一報を。編集部から直接、当人へ原稿を依頼します。

特集記事

- ・ ウェブサイトで特集記事の情報を募集することがあります。チェックしてください。

『クラブ週報』『クラブ会報』

- ・ 「卓話の泉」掲載用として、クラブの『週報』『会報』を継続してご送付ください。メール配信のクラブは、メーリングリストに友編集部メール（hensyu@rotary-no-tomo.jp）を加えてください。紙のみで発行のクラブはご郵送ください。

※投稿原稿は編集部内でリライト、編集させていただきます。また、ひらがな・漢字・用語などは、『友』の表記に統一させていただきます。

※写真ならびに原稿は、友ウェブサイト、広報誌など、（一社）ロータリーの友事務所発行の出版物に掲載する場合があります。

※掲載は、（一社）ロータリーの友事務所理事会ならびにロータリーの友編集部にご一任ください。誠に勝手ながら、掲載・非掲載の連絡は差し上げていませんが、投稿後6カ月をめどにご判断ください。

投稿方法、その他規定は友ウェブサイトで！

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



送り先・お問い合わせ

一般社団法人ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 4階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5958
Eメール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友ウェブサイト投稿フォーム
www.rotary-no-tomo.jp/form.php



2023-2024 年度

**クラブ会長エレクトの皆さまへ
クラブ幹事・事務局の重要な仕事
各委員会活動計画**

クラブ会長

クラブ会長エレクトの皆さまへ（地区研修・協議会版）

ガバナー補佐と密接な連携を！ 地区委員会を積極的に活用しましょう！

I ガバナー補佐と密接な連携を！

- 1 ガバナー補佐は、クラブ会長エレクトの就任年度の準備への助言、ガバナーの公式訪問の設営準備、ガバナーが設定した目標を達成するための方策をクラブに助言することなどを通して、クラブとガバナーの双方にとって重要な支援者としての役割を果たすことが期待されている役職です。
- 2 3月11日に開催されましたPETSにおいて、次期ガバナー補佐とクラブ会長エレクトとの検討会が開催されました。この検討会を通して、次期ガバナー補佐とクラブ会長エレクトとの間で、クラブの現状及び課題に対する認識を共有していただけたものと思います。

次に、本日4月15日に開催されます地区研修・協議会では、次期ガバナー補佐は、担当クラブの次年度活動方針（年次計画書の作成）に関して、クラブ会長エレクトとすり合わせを行います。

さらに、ガバナー補佐は、必要に応じて（特に、新年度開始前後を含めて年間4回程度）担当クラブを訪問して、担当クラブの管理、運営に関してアドバイスをを行います。その都度、ガバナー補佐の皆さまには、地区宛てに報告書を提出していただきます。

- 3 ガバナー補佐は、ガバナーの公式訪問に関して、次のような任務を行います。

(1) ガバナー公式訪問日程調整

次年度は、2023年7月から2024年3月にかけて、ガバナー公式訪問を行います。公式訪問日、時間帯（お昼の通常例会形式か、夕方からの変更例会形式）、他クラブとの合同例会か否かなどを、4月中をめどに調整してください（その後の変更などは、ガバナーエレクトにご相談ください）。

(2) クラブ協議会への出席

ガバナー公式訪問の2週間前までに、ガバナー補佐が公式訪問予定クラブのクラブ協議会に出席し、入手したクラブの年次計画書をもとに、活動方針、現状を把握して、ガバナーに代わり指導助言を行います。

クラブ協議会に先立ち、ガバナーから質問項目をお知らせすることもありますので、その場合には、その点についてもご協議ください。

(3) ガバナー公式訪問時の会長幹事会（協議会）の司会

ガバナー公式訪問時にはガバナー補佐も同行し、会長幹事会（会長、幹事、次期会長ばかりでなく、理事等のクラブリーダーも含めた協議会が望ましい）の司会をガバナー補佐が行いますので、事前に調整してください。

ガバナー補佐が、参加者自己紹介、会長のガバナー歓迎挨拶、ガバナー挨拶の後、事前にクラブ協議会に出席した際の状況、成果をふまえ、地区とクラブの有意義な情報交換の場となるべく会長幹事会（協議会）を司会者として仕切りますので、事前に調整してください。合同例会を利用しての公式訪問の場合にも、会長幹事会（協議会）は、各クラブとも当日

行います。各クラブ50分程度を目安とします。例えば、5クラブの合同例会を利用しての公式訪問の場合には、午後1時から順次、午後2時、午後3時、午後4時、午後5時から会長幹事会（協議会）を行い、その後、午後6時から合同例会を利用しての公式訪問となります。その場合、各クラブの順番などは、当日の設営の準備等を勘案して適宜決定してください。

4 IMの企画、主催

IM（インターシティ・ミーティング）は、当初は、地区の公式行事として地区の資金でガバナーが主催していたのですが、1969年からは、IMを実施するかどうかはガバナーの裁量に委ねられることになり、日本では、ガバナーがガバナー補佐に依頼し、ガバナー補佐が主催する形で開催されてきました。当地区でも同様です。

設営担当クラブは、ガバナー補佐と十分協議検討して企画し、実施してください。

IMが、近隣クラブ会員同士のロータリーに関する情報交換、協議を通じての会員相互の学び、親睦を目的とした会合を開いたことから始まった経緯を踏まえて企画することが肝要と思われます。

「ロータリーを語ろう そして ロータリーを楽しもう」との地区基本方針を意識していただければ幸いです。

可能な限り、ガバナーも出席しますので、早めに日程をお知らせください。

5 グループ内の会長幹事会の開催

グループ内の会長幹事会を適宜（年数回）開催し、グループ内での各クラブ間、及び各クラブとガバナー補佐との間の有益な交流を図ってください。IMの企画のための会合も含まれます。

6 次年度ガバナー補佐の推薦にご協力ください

皆さまが正式にクラブ会長に就任するのは2023年7月1日ですが、その頃には、皆さま（特に、ガバナー補佐を輩出する該当クラブ）には、次年度（芳賀ガバナー年度）のガバナー補佐の推薦の準備をしていただく必要があります（ガバナー補佐からの推薦期限は2023年8月末日限り）。

グループによって、グループ内各クラブの輪番制など、ガバナー補佐推薦のルールは異なるようですし、ガバナー補佐を輩出するには該当クラブ内での理事会決議も必要となりますので、該当クラブの方は、伊藤年度ガバナー補佐ともご相談のうえ、早め早めにガバナー補佐の推薦の準備をすることが肝要です。

II 地区委員会を積極的に活用しましょう！

1 地区委員会の役割と任務

ガバナーとして、地区委員長に次のことをお願いしております。

クラブ会長として地区委員会を積極的に活用してください。

(1) クラブ活性化のために

地区委員会は、ガバナー補佐と協力して、ガバナーが策定した地区基本方針及び地区基本方針に基づく地区重点事項を実行に移します。

ロータリー活動の基本はそれぞれのクラブにあり、クラブの活性化こそがロータリーの活性化の肝となりますが、地区委員会の役割と任務は、クラブの活性化のためにクラブを支援することにあります。

(2) 特に会員数の少ないクラブのために

第2800地区の今年1月末日時点での会員総数は1518名（うち、女性会員104名）。地区内クラブ数は49ですから、クラブ会員数の平均値は31名（30.97）です。そして、地区内には30名未満の会員数のクラブが26あります。そのうち、20名未満の会員数のクラブも19あります。

地区委員会は、特に、これらの会員数の少ないクラブの運営や活動を親身になって支援することで、地区内全てのクラブの活性化、そしてロータリー運動の活性化を図ることを目標に活動してください。

2 地区委員会の2つのタイプ

地区委員会は、クラブを支援する方法によって、概ね、次の2つのタイプに分けられることを前提に、ガバナーとして次のことを地区委員長にお願いしております。

クラブ会長として、地区委員会の2つのタイプの違いを意識して、地区委員会を積極的に活用してください。

(1) 地区の「クラブ奉仕委員会」、「会員増強委員会」、「職業奉仕委員会」、「青少年奉仕委員会」、「地域奉仕委員会」、「国際奉仕・ロータリー学友委員会」などの特徴は、クラブ自体の効果的な運営や活動を支援することにあります。

各クラブの該当する委員会における活動の意義や目標を明示し、各クラブ内での具体的な活動内容やそのための効果的な計画、手法などを説明したり、例示したりすることが重要です。各クラブからの要望や相談に真摯に対応し、各クラブの目標達成を支援してください。

「地域奉仕委員会」及び「国際奉仕・ロータリー学友委員会」につきましては、各クラブの地域奉仕活動や国際奉仕活動を支援するツールとしての、財団の「地区補助金」及び「グローバル補助金」の受付窓口となりますので、その十分な対応もお願いします。

(2) 地区の「インターアクト委員会」、「ローターアクト委員会」、「RYLA委員会」、「青少年交換委員会」、「米山奨学・米山学友委員会」、「ロータリー財団委員会」などの特徴は、各クラブが地区やRI、ロータリー財団などのプログラムに参加するよう奨励し、支援することにあります（厳密には、ローターアクト委員会に関しては、2019年からはローターアクトがRIが提供するプログラムではなく、独立したクラブとなりましたので、その支援が任務ということになります）。

各々のプログラムの意義や目標を明示し、具体的な活動内容を説明したうえで、各クラブに積極的に参加してもらい、プログラム遂行を支援することが重要です。

3 各地区委員会の活動方針

各地区委員会の年間活動方針は、後記各「委員会活動計画」をご覧ください。

会長エレクトの皆さまは、各クラブの次年度活動方針策定の際に、地区委員会のアイデア、企画、イベントなど地区委員会の「委員会活動計画」の内容を大いに取り入れて、地区委員会を積極的に活用することで、クラブの活性化を図ってください。

クラブ幹事

幹事の任務

1. 2022年手続要覧 推奨ロータリークラブ細則 第4条第6節
「幹事は、クラブの会員と出席について記録をつける。」
2. 2010年手続要覧 推奨ロータリークラブ細則 第4条第5節（※参考）
「幹事 会員の記録を整理保管し、会合における出席を記録し、クラブ、理事会および委員会の諸会合の通知を発送し、これらの会合の議事録を作ってこれを保管し、全会員の人頭分担保金および半期報告を提出した7月1日または1月1日よりも後にクラブ会員に選ばれた正会員の比例人頭分担保金を記載した毎年1月1日および7月1日現在の半期会員報告、会員変更報告、毎月の最終例会の後15日以内に地区ガバナーに対して行わなければならない月次出席報告を含む、諸種の義務報告をRIに対して行い、RI公式雑誌の購読料を徴収してこれをRIに送金し、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって、幹事の任務とする。」
3. 2022年10月 ロータリー章典 10.050.
「クラブ幹事は、クラブ定款および細則に含まれるその他の任務に加え、国際ロータリーに期日までに会員を報告する責務を負う。クラブ幹事は、次ロータリー年度のクラブ役員を2月1日までに国際ロータリーに報告しなければならない（2014年1月理事会会合、決定96号）。」

年度開始前の準備（実務面から）

1. My Rotaryでアカウント登録をする (<https://my.rotary.org/ja/>)
2. クラブ運営スケジュール表を作成する
3. 各委員長に事業計画書の提出を依頼する
4. 会員増強委員会の行動を開始する（4月～）
5. ロータリークラブセントラルからR財団年次寄付目標他各目標値を入力する（6月末日まで）

[その他の年度開始前の準備事項]

- (1) クラブ組織を編成する
- (2) 予算案を作成する
(会員に中身が分かるよう、詳細な内訳書を添付することを推奨します)
- (3) クラブ会長の運営方針・クラブ目標を作成する
- (4) 現況報告書を作成する
(他クラブの現況報告書も参考に可能な限り情報を網羅する)
- (5) 実質的な協議を伴う現新役員引継ぎ会を行う

年度開始後の運営

1. ガバナー月信を全会員に配布してください（1年間）
2. 例会進行表を作成し、卓話を充実するなど会員がより楽しいと感じられる例会を開催してください
3. 会報（週報）を充実させクラブ情報を共有して下さい
(新会員の写真を1年間掲載したり、青少年交換・米山奨学生情報や、地区目標・クラブ目標・地区出向者情報等を常時掲載することを推奨します。)
4. 公式訪問に向け、ガバナー補佐と日程を調整してクラブ協議会を開催してください
(クラブの目標や地区への要望について)
5. 地区大会に向けて全会員の参加を奨励してください

[その他の運営事項]

- (1) 戦略計画を策定・発表する
- (2) 会員増強実績を挙げる（可能な限り前半期で目標を達成する）
- (3) R財団・米山記念奨学寄付実績を挙げる（可能な限り前半期で目標を達成する）
- (4) 月次会員数報告を地区事務局へ提出（翌月15日まで）
- (5) 年間の平均例会出席率報告を地区事務局へ提出（2024年7月15日まで）
- (6) 新会員のMy Rotaryへの登録
- (7) 地区補助金活用事業を企画する
- (8) 公共イメージ向上のため常時マスメディアを活用する
- (9) グループ内の協力関係を強化する（インターアクトの共同提唱、ローターアクトの共同提唱など）
- (10) ロータリー奉仕デーの事業を企画する
- (11) クラブ年次報告書の充実を図る

クラブ改革の実践

1. 戦略計画・クラブ研修計画に基き、より良きクラブの組織風土を確立してください
2. クラブ目標達成に向けて、クラブ協議会やクラブフォーラムを活用してください
3. 新会員の積極的な参加をフォローするとともに、特にシニアリーダーが楽しくロータリーライフを堪能できるようコミュニケーションを図ってください

ロータリーのラーニングセンター

以下の各役職での成功を助けるコースが掲載されています

- ・会長
- ・幹事
- ・会計
- ・クラブ委員会：
 - クラブ管理運営委員会
 - 会員増強委員会
 - 公共イメージ委員会
 - 奉仕プロジェクト委員会
 - 財団委員会

元気なクラブづくりのために、一年間会長を補佐し目標達成にご尽力ください。
よろしくお願いいたします。

クラブ幹事並びに事務局の重要な仕事 定期報告関連

	報告事項	期日	報告先	備考
R I ・ R 財 団 ・ 米 山 奨 学 会 関 係	ロータリークラブ・セントラルへの目標入力	2023年6月末日	My ROTARY (ロータリークラブ・セントラル) (https://my.rotary.org/ja)	クラブの長期計画に沿った年度目標を立て、My ROTARY のロータリークラブ・セントラルに入力
	クラブ請求書 (RI人頭分担当)	2023年7月 2024年1月 クラブ請求書受領次第	RI 日本事務局/経理室 * FAX : 03-5439-0405	クラブ請求書に記載されている金額を送金 なお、人頭分担当以外(資料代など)も合算で送金する場合は 「国際ロータリー取り扱い分・送金明細書」をRI 日本事務局/経理室へ送付
	新会員・退会会員・ 会員情報の変更	随時(30日以内) * 7月請求書に反映させるべき報告 ⇒7月1日まで * 1月請求書に反映させるべき報告 ⇒1月1日まで	国際ロータリー My ROTARY でオンライン登録、または RI 日本事務局/クラブ・地区支援室へ報告 * FAX : 03-5439-0405 RI 第2800地区ガバナー 伊藤三之	国際ロータリーHP (My ROTARY) より オンライン登録 または、「会員情報書式」を記入のうえ RI 日本事務局/クラブ・地区支援室へ報告 新会員のみ報告 * 書式自由(月信掲載) (新会員氏名・入会年月日・職業分類・顔写真)
	会長・幹事・例会日・ 例会場・事務所の変更	随時	国際ロータリー My ROTARY でオンライン登録、または RI 日本事務局/クラブ・地区支援室へ報告 * FAX : 03-5439-0405 ロータリーの友事務所 * FAX : 03-3436-5956 RI 第2800地区ガバナー 伊藤三之	国際ロータリーHP (My ROTARY) より オンライン登録または、 RI 日本事務局/クラブ・地区支援室へ報告 書式自由 書式自由 書式自由
	クラブ細則の変更	随時	RI 第2800地区ガバナー 伊藤三之	書式自由
	ロータリー財団寄付金明細書	送金後、同日中に送金明細を送付	RI日本事務局/経理室 E-mail : kifuj@rotary.org * FAX : 03-5439-0405	所定の書式に記入してRI日本事務局/経理室へ送付
	米山記念奨学会寄付金明細書	送金後、同日中に送金明細を送付	公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 * FAX : 03-3578-8281	所定の書式に記入してロータリー米山記念奨学会送付
	次年度クラブ役員報告 (会長・幹事・事務局・ 例会日・例会場) * 公式名簿記載資料	最終締切 2024年2月1日	国際ロータリー My ROTARY でオンライン登録、または 国際ロータリーデータサービス部 FAX : +1-847-733-9340 E-mail : data@rotary.org	国際ロータリーHP (My ROTARY) より オンライン登録または、 国際ロータリーデータサービス部へ 会長・幹事(氏名・ID・メールアドレス) クラブ事務局(クラブ名・ID・メールアドレス・ 例会日・例会場・事務局員氏名)を報告
	ロータリー賞の表彰	最終締切 2024年6月末日	国際ロータリー My ROTARY から 必要な関連項目を随時オンライン報告	受賞資格となる全項目の報告を完了する
	国際大会 投票代議員信任状	2024年4月末日	RI 国際大会2024年 シンガポール RI 第2800地区ガバナー 伊藤三之 * 提出は地区事務局へ	1. 会長・幹事署名 2. 2024年1月1日現在の会員数を記入 3. 会員数75名までのクラブは代議員1名 会員数76名から125名までのクラブは 代議員2名 4. RI 本部より送付の用紙を使用すること
新RC・IAC・RACの誕生	随時	RI 日本事務局/クラブ・地区支援室 * 地区事務局を通じて RI 第2800地区ガバナー 伊藤三之	所定の書式に記入して送付	
文献・資料について のお問い合わせ	随時	RI 日本事務局/業務推進・IT室 * TEL : 03-5439-5802 FAX : 03-5439-0405 E-mail : rijpnpi@rotary.org	国際ロータリーHP (My ROTARY) より ダウンロードまたは、 ラーニングセンターで閲覧	
会長エレクト・次期幹事・ 住所・氏名・略歴・ クラブ事務局名簿	2023年12月末日	RI 第2800地区ガバナーエレクト 芳賀康雄 * 報告は地区事務局へ FAX : 023-687-0209 E-mail : office@rid2800.org	地区事務局より連絡	
クラブ会員数報告	毎月分 翌月15日必着	RI 第2800地区ガバナー 伊藤三之 * 報告は地区事務局へ FAX : 023-687-0209 E-mail : office@rid2800.org	「会員増強報告書」に記入のうえ FAX又はメールにて地区事務局へ報告すること	
クラブ例会出席報告 (年間の平均出席率)	2024年 7月15日必着	RI 第2800地区ガバナー 伊藤三之 * 報告は地区事務局へ FAX : 023-687-0209 E-mail : office@rid2800.org	「例会出席報告書」に記入のうえ FAX又はメールにて地区事務局へ報告すること	
地区大会選挙人 信任状送付	地区大会 登録申込締切と同日	資格審査委員会に提出	1. 会長・幹事署名 2. 7月1日会員数による 3. RI 細則 15.050.1. によること 4. 地区大会実行委員会より送付の用紙を使用	
ガバナー賞の表彰	2024年6月末日	RI 第2800地区ガバナー 伊藤三之 * 報告は地区事務局へ	書式自由	

※国際ロータリーホームページ (My ROTARY) <https://my.rotary.org/ja>

クラブ奉仕について

2023-2024 年度 クラブ奉仕アドバイザー
パストガバナー 齋藤 榮助（米沢中央 RC）

伊藤三之ガバナーエレクトから、今年度も引き続き「クラブ奉仕アドバイザー」として、クラブ奉仕委員会とロータリー情報委員会の両委員会を担当するよう拝命致しました。

藤野クラブ奉仕委員長、伊勢ロータリー情報委員長も昨年からの継続であり、気心も周知しておりますので、力を合わせて委員会運営に努力致します。

クラブ奉仕とは、「会員同士の関係を育み、積極的な会員増強計画を実行して活気あるクラブ作りをすること」ですが、第 2800 地区ビジョンにもあるように、更に加えて「真の立派なロータリアンを育成」することも、クラブ奉仕の大きな使命であります。

藤野委員長と伊勢委員長は、昨年、「クラブ奉仕ガイドブック」を製作されました。入会年数わずかの方でも理解出来るように、大変分かり易くまとめられていますので、それを礎として、クラブの多様性を尊重し、個性的で魅力あるクラブ運営が出来ますように、地区内各クラブを共に支援して参ります。

なお具体的な活動内容は、両委員長の事業計画に詳しく示されていますので、正しくご理解下さい。

クラブ例会の活性化が大事であることは皆さん解っていますが、これがなかなか難しい。例えば「楽しい例会」一つ俎上に挙げて、会員それぞれの思いが違います。このように各クラブ悩みながら努力されていますが、それに少しでも手助けできる委員会として活動できるようにしたいと思います。

先日、会員増強委員会、職業奉仕委員会と合同で、佐藤孝子ガバナー年度の「クラブ活性化セミナー」を開催し、第 2840 地区パストガバナー田中久夫氏（高崎 RC）の講演をお聞きしました。田中氏も、例会の重要性、会長の熱意・積極性の重要性、例会の会長挨拶の重要性を強調しておられました。

伊藤ガバナーエレクトは、「ロータリーを楽しもう」と呼びかけています。ロータリーの基本を理解し実践すればおのずと楽しくなります。そのためにも地区クラブ奉仕委員会は積極的に努力して参ります。

クラブ奉仕委員会

2023-2024 年度 クラブ奉仕委員会
委員長 藤野 和男（大江 R C）

I ガバナーエレクト・次期地区委員長からのメッセージ

ロータリアンは、クラブ内で親睦をもとにして自己研鑽・切磋琢磨して奉仕の理念を学び奉仕の心を形成する。この内なる奉仕がクラブ奉仕であり、クラブの外では、奉仕の心を、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、そして青少年奉仕として実践する。これがロータリー活動です。

そうしますと、ロータリー活動の基本はクラブ奉仕にあり、そして、クラブ奉仕の基本は、親睦と学びの場である例会にあります。

親睦、そして、自己研鑽の場としての例会の重要性を理解し、充実した例会方法の工夫、出席率向上のための工夫を共に考えてみましょう。

クラブ奉仕の意義（クラブとクラブリーダーはクラブ会員に対して「親睦と学びの場」を提供する義務を負い、クラブ会員はこれを有効活用する責任を負う）や目標をしっかりと理解し、クラブ活性化への具体的プランの策定、「クラブ戦略計画」の策定をしてください。

その際、R I のロータリー戦略計画との整合性にご配慮ください。

クラブの活性化を図るうえで、最近の R I の動向である「クラブ運営の柔軟性」にも十分ご配慮ください。

地区クラブ奉仕委員会の開催するセミナーなどにご参加頂くとともに、積極的にクラブの卓話を要請するなどして、地区クラブ奉仕委員会を積極的にご活用ください。

II 地区クラブ奉仕委員会の活動計画

1 「クラブ奉仕ガイドブック」の改訂

昨年度製作した「クラブ奉仕ガイドブック」をさらにブラッシュアップして、改訂版を製作し、地区クラブ奉仕委員会共通の情報として各クラブに発信します。

この「クラブ奉仕ガイドブック」は、入会歴の浅い会員を始め、広くロータリアンにロータリー活動の基礎となる「クラブ奉仕」について学んでいただくためのツールとして活用していただくことが可能です。

当委員会では、改訂作業を通じて、地区クラブ奉仕委員会委員が意識、知識を共有化することにより、卓話要請の対応に備えるとともに、委員のレベルアップを図り次期委員長の選任に備えることも副次的な目的としています。

2 積極的な卓話要請の受け入れと各クラブの例会の充実支援

6 グループ 9 名のガバナー補佐の方々と連携しながら、各クラブに当委員会からの卓話要請と、「クラブ奉仕ガイドブック改訂版」の情報の周知を促すとともに、R I の「ロータリー戦

略計画との整合性」、さらには、「クラブ運営の柔軟性」に関して的確なアドバイスをすることで、各クラブが例会を充実させ、クラブを活性化させることを支援します。

3 クラブ奉仕セミナーの開催

ロータリー活動に対する新たな意欲を喚起すべく、充実したクラブ奉仕セミナーを開催します。セミナーをより有益なものにするために、ロータリー情報委員会、会員増強委員会、公共イメージ委員会、職業奉仕委員会など地区の他の委員会とも連携して、「クラブ活性化セミナー」としての開催も検討します。

ロータリー情報委員会

2023-2024 年度 ロータリー情報委員会
委員長 伊勢 博（東根 R C）

I ガバナーエレクト・次期地区委員長からのメッセージ

R I 発の最新情報ばかりでなく、各クラブの活動状況などの有益なロータリー情報をお互いに発信し、共有することを通して、クラブの活性化を図りましょう。

まずは、「My Rotary」への登録を行いましょ。

マイロータリーは、ロータリーの現在を知り、学びを深めるうえで欠かせないリソースであるというだけでなく、既にロータリー活動を行う際の「プラットフォーム」としての機能や役割を備えつつあります。これにアクセスできなくては、ロータリー活動を効果的に行うことが難しくなりつつあり、ロータリアンでありながら、ロータリーから疎外されることにさえなりかねない状況です。

2023年1月時点での、第2800地区内の「My Rotary」の登録率は約20パーセントに過ぎず、全国的（全国平均約45パーセント）にも大きく遅れをとっております。是非、各クラブでの積極的な登録（クラブで、そして会員各自で）をお願いします。

次に、高度情報化社会のメリットを享受すべく、地区ホームページのさらなる充実を目指します。地区ホームページを当地区内での「プラットフォーム」として積極的に活用してください。また、LINE等の有効なツールの活用についてもご協力をお願いします。

佐藤孝子ガバナー年度で始められた「第2800地区公式LINE」は、毎月の動画でのガバナー挨拶、その時々地区内活動報告、月信などの最新の情報を気軽に携帯電話で入手することが可能な、極めて友好的なツールであることが実感できます。2023年2月時点でのフォロワー数が264名（登録率約18パーセント）にすぎないことは、もったいないことです。LINE登録可能な地区内ロータリアン全員の登録を目指しましょう。

II 地区ロータリー情報委員会の活動計画

1 「クラブ活性化」及び「学び」に役立つ情報の提供

R I 発の最新情報ばかりでなく、各クラブの活動状況などの有益なロータリー情報を発信し、共有することを通して、クラブの活性化を図ることを支援します。

また、クラブや各会員が、ロータリーを学ぶために役立つ情報も容易に取得できる体制を整え、「学び」を支援します。

2 「My Rotary」への登録推進

マイロータリーの有用性をさらに広報していくとともに、登録方法などの支援を行いながら、クラブ及び会員各自のマイロータリーへの登録を推進していきます。

3 地区ホームページやFacebook、LINE等の有効なツールの活用

高度情報化社会のメリットを享受すべく、地区ホームページのさらなる充実を目指すほか、昨年度から本格的に運用している地区公式FacebookやLINEのさらなる充実を目指し、皆さまの活用を推進していきます。

会員増強について

2023-2024 年度 会員増強アドバイザー
ガバナー 佐藤 孝子 (鶴岡 RC)

私は、会員増強委員会のアドバイザーとして、次の3つのことを申し上げます。

- 1 先日 (2023年2月26日)、2022-2023年度事業の一つとして、クラブ活性化セミナーを開催し、高崎RCの過去のガバナー田中久夫氏のご講演を拝聴しました。

セミナー参加者からは、これまでの講演で一番感動したとのご意見も多く耳にしました。何が素晴らしかったのか。それは、「会員増強」をテーマにしたご講演であったにも関わらず、単に会員増強のノウハウを並べ立てたものではなく、むしろ、「ロータリーの魅力をどのように人に伝えるか」、「自分の所属しているロータリークラブを新会員候補者にどのように明確に説明できるか」こそが重要だということをやと説いてくださいましたが、そのお話しの内容が、聴いている私たちにロータリーの魅力、可能性をひしひしと伝えてくれたからだと思います。

会員増強という形式、手法にとらわれず、常に、「ロータリーとは何か」、「ロータリーの魅力はどこにあるか」、こんな基本的なところからアプローチする。会員増強の最も大切な心構えがここにあると私は思います。

- 2 また、田中久夫氏は、会員増強の目的は決してクラブの会員数を増やしたいだけの安直な目的ではなく、一番重要な目的は、「ロータリーに入ることがどれだけ本人のためになるのかをその本人自身が理解してくれることであり、それこそがクラブへの奉仕、地域社会への奉仕、その人への奉仕だ」とおっしゃいました。

会員増強の持つロータリーの意味を、会員増強に携わる地区委員会メンバーも各クラブの担当委員会メンバーも十分考えてみる必要があります。

- 3 伊藤ガバナーエレクトは、「ロータリーを語ろう そして ロータリーを楽しもう」と呼びかけます。そして、「ロータリアン一人ひとりが、自らが関わっているロータリー活動について、それぞれの立場で、そのロータリーの意味を考え、学び、大いに語り合ってみましょう」と提案しています。

会員増強についても、ロータリーの公共イメージの向上についても、それに関わるロータリアン一人ひとりが、「そのロータリーの意味を考えながら、学びながら、大いに語り合いながら」行動しましょう。

会員増強委員会

2023-2024 年度 会員増強委員会
委員長 赤塚 弘実 (天童東 RC)

I ガバナーエレクト・次期地区委員長からのメッセージ

ロータリーを語り合い楽しむことで、ロータリアンとしての活力が身につきます。活力あるロータリアンが多いクラブは、組織としての活力も増します。そのような好循環の中で、さらにクラブの活力を増大させるとともに、自分自身の活力を増大させるために、ロータリーを語り合い楽しむ仲間を増やしましょう。

つまり、ロータリーを語り合い楽しむ仲間を増やすことが、クラブ活性化には不可欠なのです。

そして、会員増強は、クラブの組織そのものに関わることで、クラブ内の担当委員会だけの問題ではなく、クラブ全体で対応すべき活動であることを認識する必要があります。

その際には、マイロータリーなどのツールを積極的に活用し、世界中の仲間とつながり、世界中の仲間のアイデア、最新情報を積極的に取り入れましょう。

また、既存会員、特に入会歴の浅い会員の退会をいかにして防ぐことができるのか、今こそ、その対策を真剣に考えてみましょう。ここでも、世界中の仲間のアイデア、最新情報がきつと役に立つはずですよ。

地区会員増強委員会の開催するセミナーなどにご参加頂くとともに、積極的にクラブの卓話を要請するなどして、地区会員増強委員会を積極的にご活用ください。

II 地区会員増強委員会の活動計画

1 冊子「会員増強物語」の製作

新会員の拡大と退会防止に向けて、マイロータリーの情報や地区内成功事例なども踏まえて、新会員向けクラブ内セミナーの開催マニュアルや退会防止のための具体的アイデアなどを盛り込んだ冊子「会員増強物語」を製作します。

2 会員増強セミナーの開催

上記1の冊子をテキストにした会員増強セミナーを開催します。

セミナーをより有益なものにするために、クラブ奉仕委員会、ロータリー情報委員会、公共イメージ委員会、職業奉仕委員会など地区の他の委員会とも連携して、「クラブ活性化セミナー」としての開催も検討します。

3 会員増強強化期間と地区大会での歓迎セレモニー

「各クラブ1名以上、地区内50名以上の純増」を実現します。

7月から10月までの4か月間を、「会員増強強化期間」として、各クラブとの連携を密にして、なるべくはこの期間中に「各クラブ1名以上、地区内50名以上の純増」を実現するようにします。

11月の地区大会（11月12日の午後の本会議）で、新会員に各クラブ会長とともにステージに登壇して頂き、会員全員での歓迎セレモニーを開催いたします。

4 積極的な卓話要請の受け入れ

本年度同様、次年度も、クラブから要請があれば、会員増強に関する卓話に喜んで伺います。クラブの会員増強のツールの一つとしてご利用ください。

「ロータリーに入ろう」の著者である田中久夫氏（第2840地区パストガバナー 高崎RC）は、会員増強の目的は決してクラブの会員数を増やしたいだけの安直な目的ではなく、一番重要な目的は、「ロータリーに入ることがどれだけ本人のためになるのかをその本人自身が理解してくれることであり、それこそがクラブへの奉仕、地域社会への奉仕、その人への奉仕だ」とおっしゃいます。この熱い想いを卓話の中でお伝えできればと思っております。

公共イメージ委員会

2023-2024 年度 公共イメージ委員会
委員長 松岡 友路 (山形イブニング R C)

I ガバナーエレクト・次期地区委員長からのメッセージ

今日の情報化社会においては、会員増強のためにも、事業のパートナーを募るうえでも、さらには寄付を募るうえでもロータリーの公共イメージの向上は決定的に重要な事項です。

ロータリーの公共イメージの向上は、クラブ単体でできることには限界がありますので、公共イメージ委員会、ロータリー情報委員会を始めとする地区委員会と連携して、様々な工夫をしながらロータリーの公共イメージの向上に努め、クラブそしてロータリーの組織基盤の確立、活性化を図りましょう。

II 地区公共イメージ委員会の活動計画

1 3つの「目に見える化活動」

ロータリーの公共イメージを向上させるために、次の3つの「目に見える化活動」を行いますので、よろしくご協力ください。

(1) 募金箱の設置

各会員事業所や公共施設などに、通年、ポリオ撲滅、ウクライナ支援、トルコ災害支援などの、その時々ロータリー活動を告知する案内文と募金箱を設置するなどして、ロータリー活動の現状を知ってもらい、同時に公共イメージの向上に努めます。

地区委員会としては、そのためのツールを準備します。

(2) 地区補助金活用事業の一覧紹介ポスター作成

地区公共イメージ委員会が地区地域奉仕委員会と連携して、各クラブの過去の主な地区補助金活用事業の一覧紹介ポスターを作成し、各会員事業所や公共施設などに掲示して、地域社会に密着したロータリー活動の実績を知ってもらい、同時に公共イメージの向上に努めます。

また、ロータリー奉仕デーの事業である「それぞれの最上川物語」との連動も検討します。

(3) 各クラブとの連携

- ・地区ロータリー情報委員会と協力して、各クラブの広報委員会（広報担当者）向けセミナーを開催して、マスコミへのニュースリリースや SNS 配信のノウハウを共有していただく。
- ・各クラブ発のロータリー活動に関するトピックな情報を地区公共イメージ委員会で集約し、情報を定期的に外部に発信することで、公共イメージの向上に努めます。

2 公共イメージの拡大と改善へのアプローチ

ジョン・ヒューコ R I 事務総長は、ソートリーダーシップ（テーマや社会問題などの特定の分野において、将来を先取りした革新的なアイデアや解決策を一早く発見し示すことで、その分野における主導者となること）を広げることで公共イメージが磨かれ改善されると述べます。地区公共イメージ委員会は、この「ソートリーダーシップ」、「公共イメージの拡大と改善」という観点から、ロータリーの公共イメージの向上について検証します。

職業奉仕について

2023-2024 年度 職業奉仕アドバイザー
パストガバナー 鈴木 一作 (寒河江 RC)

「職業奉仕は難しい」という言葉をよく耳にします。理由は色々あるとは思いますが、大きな理由の一つは、ロータリーの大先輩達による職業奉仕の説明が、人によってかなり異なるからではないでしょうか？例えば、職業奉仕は「Arthur Frederick Sheldon の考えそのものだ」と言う人、「職業倫理そのものだ」と言う人、「天職 (Vocation) として高潔な仕事をする事だ」と言う人もいます。さらに、「四つのテスト」や道徳律 (職業倫理訓)、大連宣言を説く人もいます。ところが、現在の職業奉仕の公式定義は『標準ロータリークラブ定款 (第6条の2)』です。これでは、説明を聞いている人が混乱するのは当然です。

そうしたロータリーの大先輩達に共通する特徴は、「職業奉仕は一本の大木」であるかのような説明ではないでしょうか。しかし、ロータリーの歴史が大好きで、自分なりに職業奉仕を学んできた私としては、

“職業奉仕は一本の大木ではない。むしろ、職業奉仕は森である。”

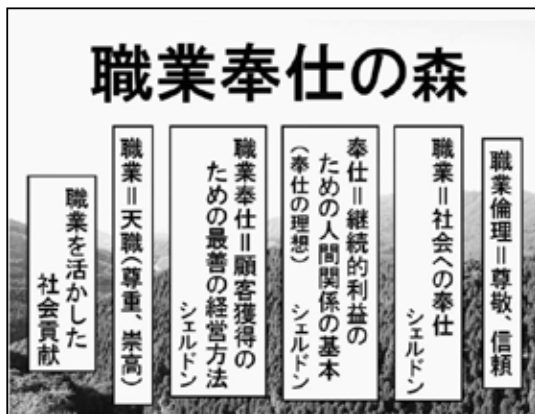
と思うのです。

森は、高い所、低い所、陽のあたる所、陽があたりにくい所など、各々の場所で生えている木々は違いますし、また互いに影響し合っていて生えています。しかし、それら全体で森なのです。ですから、例えば高い所に生えている木々だけを説明しても、その森の全てを語ったことにはなりません。それと同様に、

“職業奉仕に対する考え方は、歴史上、間違いなく幾つもある。すなわち、
職業奉仕という森には、異なる様々な木々が生き茂り、互いに影響し合っていて育っている。
だから、それらの木々全部を対象にして、はじめて職業奉仕が理解できるようになる。”

とりたいのです。

では、「職業奉仕の森」にはどのような木々が生き茂っているのでしょうか？ 私は、以下に示したように、職業奉仕の森は6つの木々群 (そのうちの3つは A F Sheldon の奉仕理念) からできていると思います。



- **職業倫理 = 尊敬、信頼**
職業倫理の高揚が尊敬と信頼を生み、事業は成功する
- **A F Sheldon の奉仕理念**
 - * **職業 = 社会への奉仕**
 - * **奉仕 = 継続的利益のための人間関係の基本**
相手のニーズを最高に良く汲み取り、それを最高の形で満たすこと
 - * **職業奉仕 = 顧客獲得のための最善の経営方法**
顧客奉仕の実践により、事業は成功する
- **職業 = 天職 (尊重すべき崇高な職業)**
- **職業を活かした社会貢献**
自己の職業上の知識や技術を活かした社会貢献

例えば、職業奉仕の実践として 1931 年の「The Aims and Objects Plan (Pamphlet No. 3)」に記載された「職務や商取引上の倫理高揚、顧客や同業者への配慮、従業員の幸福、事業の繁栄、業界と社会の発展」も、また『標準ロータリークラブ定款 (第6条の2)』の内容も、上記の木々群のいずれかに相当します。

なお、1987 年に出された「職業奉仕に関する声明」で認定された「職業を活かした社会貢献」が、最後に生き茂ってきた木々群です。それ以外の木々群は、一括して「ロータリアンとしての職業上の務め」と言い換えることができます。さらに、「職業奉仕の森」全体は、「職業人としてのロータリアンの務め」と言い換えることができます。いずれにしても、以下の公式で考えれば分かり易いと思います。

**職業奉仕 = 「ロータリアンとしての職業上の務め」 + 「職業を活かした社会貢献」
= 職業人としてのロータリアンの務め (= 職業奉仕の森)**

職業奉仕委員会

2023-2024 年度 職業奉仕委員会
委員長 吉澤 彰浩 (米沢中央 RC)

I ガバナーエレクト・次期地区委員長からのメッセージ

クラブの活性化そしてロータリーの活性化は、最終的には、活力と知力あふれるロータリアン一人ひとりによって実現されます。その背景には、しっかりとしたロータリー哲学、ロータリー観が必要です。

最近の R I の方針と従来の基本的理念との関係が理解できない、最近のロータリーの目指しているところが分からない、そのためにロータリーにストレスを感じている、という声も多く聞こえてきます。

これまでのロータリーの歴史をふまえ、「職業奉仕概念の変遷の歴史と意味」ばかりでなく、「奉仕の理念」と「ロータリーの目的」、「ロータリーの二つの標語（モットー）」、「四つのテスト」、「寛容」など従来からの基本的理念、さらには、近年 R I で強調されている「中核的価値観」、「ロータリーのビジョン声明」、「ロータリー戦略計画」、「行動計画」、「D E I」などの概念も盛り込み、活発で有意義なロータリー活動を支えるロータリー哲学、ロータリー観を分かりやすく整理、再構築します。

また、ロータリー哲学のバイブルとも言われる決議 23-34（国際ロータリー 1923 年決議 34 号）から丁度 100 年。この節目に、その意味を再確認してみたいと思います。

II 地区職業奉仕委員会の活動計画

1 職業奉仕の定義（標準ロータリークラブ定款 第 6 条 五大奉仕部門の 2）

職業奉仕概念の変遷の歴史と意味を踏まえて、標準ロータリークラブ定款にある職業奉仕の定義と、いわゆる「職業奉仕の森」について、地区内すべてのロータリアンにしっかりと理解していただきます。

2 ロータリー哲学、ロータリー観の整理、再構築

「奉仕の理念」と「ロータリーの目的」、「ロータリーの二つの標語（モットー）」、「四つのテスト」、「寛容」など従来からの基本的理念、さらには、近年 R I で強調されている「中核的価値観」、「ロータリーのビジョン声明」、「ロータリー戦略計画」、「行動計画」、「D E I」などの概念も盛り込み、活発で有意義なロータリー活動を支えるロータリー哲学、ロータリー観を分かりやすく整理、再構築します。

3 決議 23-34（国際ロータリー 1923 年決議 34 号）の再確認

ロータリー哲学のバイブルとも言われる決議 23-34 から丁度 100 年。この節目に、その意味を再確認してみることは極めて有意義なことです。

4 職業奉仕セミナーの開催

上記 1 ないし 3 を前提に、職業奉仕について深く理解していただくセミナーを開催しますので、積極的にご参加ください。

5 各クラブの職業奉仕に関する活動の紹介

地区内各クラブ、さらには世界中のクラブの職業奉仕に関する有意義な活動を紹介していきます。世界中の仲間のアイデアを取り入れ、職業奉仕に関する魅力的な活動を展開することでクラブを活性化させましょう。

6 積極的な卓話要請の受け入れ

本年度同様、次年度も、クラブから要請があれば、職業奉仕に関する卓話に喜んで伺います。上記 1 ないし 3、5 について分かりやすくお話しいたします。

青少年奉仕について

2023-2024 年度 青少年奉仕アドバイザー
直前ガバナー 矢口 信哉 (東根 RC)

昨今の新聞紙上を賑わせている事件の根底にあるものは、幼少年時代にモラル教育を蔑ろにした教育を受けてきて、善悪の判断ができない人を社会に漂流させてきた大人の責任ではないのかとも思われます。コロナ感染、ウクライナ戦争、トルコ・シリア地震等、国内外ともに試練の時、激変の時代にあります。

青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクト、国際奉仕プロジェクトなどへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムへの参加を通じて、青少年並びに若者によって好ましい社会の変化をもたらされることを目的にしています。今年度の第2800地区の青少年奉仕活動も多岐に渡った計画が準備されています。今こそ第2800地区が一丸となり青少年リーダーの育成活動を実施すべきときと思います。

ロータリアン各位におかれましては、是非青少年奉仕事業に積極的にご参加いただきたく存じます。特にガバナー補佐の皆様には、第2グループの青少年交換事業の取組み内容について研修され、他のグループでも積極的に青少年交換事業を実施していただけるような環境整備をお願いいたします。青少年交換事業は本当に価値ある事業です。全グループで取り組めればと願っております。

お陰様で、地区の危機管理委員会は一度も開かれず2年が過ぎましたが、引き続き安全第一に、セクハラ、パワハラ、モラハラ問題の無い青少年奉仕活動に心がけてまいります。

青少年奉仕委員会

2023-2024 年度 青少年奉仕委員会
委員長 遠藤 伸一（寒河江 R C）

I ガバナーエレクト・次期地区委員長からのメッセージ

ロータリーの青少年奉仕プログラムの理念は、未来への投資であり、これらのプログラムを通じて、ロータリアンがロータリーの理念や伝統を、次世代の若者たちと共有し、引き継ぐことにあります。

ロータリーが提供する青少年奉仕プログラムには、インターアクト、ローターアクト（厳密には、2019年からは RI が提供するプログラムではなく、独立したクラブになりましたので、その支援が任務ということになります）、R Y L A、青少年交換があります。米山奨学制度も、日本のロータリーが誇るべき青少年奉仕プログラムの一つと言えます。

そして、これらの青少年奉仕プログラム参加者の相互交流を積極的に図ることで、それぞれのプログラムのさらなる充実を目指します。

ゴードン・マッキナリー R I 会長が示唆する、「バーチャルな手法を用いての国際平和のための青少年プログラム」にもチャレンジします。

2024年3月には「第36回全国ローターアクト研修会 山形会議」が、同年5月には「第27回国際ロータリー日本青少年交換研究会 山形会議」が開催されます。

青少年奉仕に関するこの2つの全国大会の開催を通じて、私たちロータリアンの夢と志を、次代を担う若者たちにしっかりとつないでいきましょう。

青少年奉仕に関する、インターアクト、ローターアクト、R Y L A、青少年交換の各委員会とも、それぞれの委員会の委員一人ひとりが、「自分たちは、何のために活動しているのか」、そして、「青少年には、何を伝えなければならないのか」など、青少年奉仕の意義、目的を明確にした上で、青少年奉仕プログラムに参加する若者達に、達成感、感動、成長をもたらすような運営を心がけていきたいと思えます。

また、ロータリアンに、青少年奉仕活動を理解、共感していただき、協力をしてもらえるような広報や宣伝に努めてまいります。

II 地区青少年奉仕委員会の活動計画

1 2つの全国大会の成功

「第36回全国ローターアクト研修会 山形会議」（2024年3月23日～24日 山形市）及び「第27回国際ロータリー日本青少年交換研究会 山形会議」（2024年5月11日～12日 天童市）を絶対に成功させます。

青少年奉仕の4つのプログラムは、いずれもロータリーにとって重要な価値あるプログラムですが、現状は各プログラムへのロータリアンの参加者の減少が課題です。それは、それぞれの

プログラムのロータリーの価値をロータリアンに理解してもらえていないことが原因です。

この2つの全国大会は、地区内の多くのロータリアンに、青少年奉仕のプログラムの価値を体感していただける絶好の機会です。地区内の多くのクラブ、ロータリアンの参加をお願いします。

2 青少年奉仕プログラム参加者の相互交流

インターアクター、ローターアクター、ライタリアン、交換学生、さらには米山奨学生など、青少年奉仕プログラム参加者の相互交流を積極的に図っていくことで、それぞれのプログラムのさらなる充実を目指します。そのための企画をいたしますので、関係クラブにおかれては、ご協力をお願いします。

3 バーチャルな手法を用いての国際平和のための青少年プログラム

インターアクトもローターアクトも世界中に数多くの仲間がいます（インターアクトはクラブ数約18,500、会員数約425,000人。ローターアクトはクラブ数約11,400、会員数約206,000人）。

コロナ禍を通じて学んだことをヒントに、バーチャルな手法を用いての国際平和のための青少年プログラムを試行します。異文化間のコミュニケーションと理解を深め、参加する青少年のスキルアップを図るとともに、青少年奉仕の観点から、より安定した平和な社会の実現を目指します。

4 各クラブ独自の青少年奉仕活動の紹介

地区内各クラブでは、RIの4つの青少年奉仕プログラム以外に、独自の青少年奉仕活動を行っているところも少なくありません。

そこで、地区内各クラブ、さらには世界中のクラブの青少年奉仕に関する有意義な活動を紹介していきます。世界中の仲間のアイデアを取り入れ、青少年奉仕に関する魅力的な活動を展開することでクラブを活性化させましょう。

インターアクト委員会

2023-2024 年度 インターアクト委員会
委員長 枝松 祐子（上山 RC）

I ガバナーエレクト・次期地区委員長からのメッセージ

インターアクトは、1962年にRI理事会で採択された国際ロータリーの常設プログラムです。

インターアクトクラブは、学校や地域社会での課題に取り組むために結成する大学入学前の12歳から高校卒業までの青少年のためのクラブです。インターアクターは、インターアクトクラブで奉仕活動を行い、リーダーシップのスキルを身につけ、新しい友人をつくります。

インターアクトクラブは、所在する地区内にある1つまたは複数のロータリークラブにより、結成、提唱、指導監督されます。

インターアクトクラブは、スポンサークラブ（提唱ロータリークラブ）とともに、毎年、少なくとも2つの奉仕プロジェクト（1つは地域社会を支援するプロジェクト、もう1つは国際理解を推進するプロジェクト）を実施しなければなりません。

第2800地区には、8つのインターアクトクラブ（県立鶴岡中央高校、鶴岡東高校、羽黒高校、新庄東高校、創学館高校、惺山高校、県立南陽高校、九里学園高校）があり、それぞれが活発な活動を繰り広げています。

その活動の意義をスポンサークラブ以外のクラブにも周知してもらうとともに、新たなインターアクトクラブの設立についても検討する必要があります。

II 地区インターアクト委員会の活動計画

1 インターアクトクラブの表敬訪問の充実

昨年度からの新たな試みとして、ガバナー始め地区関係者、スポンサークラブ関係者によるインターアクトクラブ表敬訪問を、インターアクターが実際に活動している時間帯に訪問して、インターアクターの活動に参加したり、相談を受けたりしながら様々な活動を視察する形にいたしました。

グループごとの視察でしたが、スポンサークラブ以外のグループ内クラブメンバーにも視察をして頂くことで、多くの「気づき」を得られたのではないかと思います。

今年度も引き続き、ガバナー、ガバナー補佐、スポンサークラブの方々、顧問の先生方の協力を得ながら、インターアクターの活動を認知していただくべく、多くのグループ内クラブメンバーに参加していただき、インターアクトクラブ表敬訪問事業を充実させ、このプログラムのレベルアップを図っていきたいと思います。

2 ガバナー月信への投稿

ガバナー月信の「インターアクトクラブ訪問及び報告」の欄に「インターアクターの声」などを積極的に掲載し、インターアクターの感想や想いをロータリアンも共有することで、インターアクト活動の充実を図っていきたいと考えています。

3 インターアクターの発言の場の設定

インターアクト年次大会やロータリー地区大会などで、インターアクター自らがインターアクトの活動内容や魅力を多くの人に伝えられる場を設けていくことで、インターアクターのリーダーシップを養うとともに、インターアクトの魅力を多くのロータリアンに共有していただきたいと思えます。

4 青少年奉仕プログラム参加者との交流

ロータリーアクターを始めとする青少年奉仕プログラム参加者との積極的な交流を通して、お互いが成長できるような機会を設定し、青少年奉仕事業の充実を図ります。

「全国ロータリーアクト研修会 山形会議」及び「国際ロータリー日本青少年交換研究会 山形会議」にも積極的に関わることで、インターアクト活動のレベルアップを図ります。

5 バーチャルな手法を用いての国際平和のための交流会

インターアクトは世界中に数多くの仲間がいます（インターアクトは世界中で、クラブ数約18,500、会員数約425,000人）。

ZOOM等のバーチャルな手法を用いて、海外のインターアクトクラブとの意見交換イベント等を試行します。異文化間のコミュニケーションと理解を深め、参加するインターアクターのスキルアップを図るとともに、ロータリーファミリーであることを実感してもらい、インターアクト活動の充実と平和構築につなげます。

6 ロータリー奉仕デー「それぞれの最上川物語」への関わり

ロータリー奉仕デー「それぞれの最上川物語」にインターアクトクラブも積極的に参加し、環境問題やふるさとについて共に考えるとともに、希望（未来）を共有する一日を楽しみたいと思えます。ご協力をお願いします。

7 新たなインターアクトクラブの設立

特に、インターアクトクラブが存在しない地域を中心に、新たなインターアクトクラブの設立も検討してみたいと思えますので、皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

ローターアクト委員会

2023-2024 年度 ローターアクト委員会
委員長 和田 義弘 (河北 RC)

I ガバナーエレクト・次期地区委員長からのメッセージ

ローターアクトクラブは、地域社会や国際的活動を通じて行動し、リーダーシップスキルを学び、専門職向上に参加する若い大人の組織で、地域社会あるいは大学を基盤として設立できます。

当地区には、7つのローターアクトクラブ（酒田、鶴岡、今年度設立の西村山、東北文教大、山形、南陽東、米沢）があります。

ローターアクトクラブは、今、変革の真っ只中にあります。

R Iからは、ローターアクトクラブがロータリークラブから自立し拡大していく道（自立と自律）を示されていますが、現実には、会員数減少、組織体制、経済的基盤など多くの課題を抱えているようです。

そのような状況の中で開催される「第36回全国ローターアクト研修会 山形会議」。ローターアクトクラブの現状と課題、そして未来を、全国のロータリアン、ローターアクターと語り合ってみましょう。このイベントを、ローターアクトクラブの活性化のための起爆剤とすべく、知恵を出し合ひましょう。

II 地区ローターアクト委員会の活動計画

1 「第36回全国ローターアクト研修会 山形会議」

いよいよ、「第36回全国ローターアクト研修会 山形会議」（2024年3月23日～24日 山形市）が開催されます。

ローターアクトクラブの現状と課題、そしてその未来を、全国のロータリアン、ローターアクターと語り合ひましょう。

当委員会は、この全国大会の準備と会議の開催を通じて、当地区のローターアクト活動を活性化させる起爆剤とするべく活動して参りますので、各クラブの皆さまの積極的なご参加をお願いします。

2 ローターアクトクラブ活動の充実

広くローターアクターを募り、ローターアクトクラブを活性化させるためには、根本的には、ローターアクトクラブ活動を充実させ、ローターアクトクラブの魅力を高めることが重要です。ローターアクター自身がその活動の目的意識を明確に持って「年度テーマ」にふさわしい年間事業を計画し実行する、そのことを通じてリーダー育成に重点を置いたプログラムを実行できるように指導、支援してまいります。

3 ロータリークラブとローターアクトクラブの交流の充実

私たちロータリアンも、ロータリーファミリーの重要な一員であるローターアクト会員の増強に向けて、最大限の支援をしましょう。

そのためには、ローターアクト活動の意義を、スポンサークラブのみならず、広くロータリアンに知っていただくことが重要であり、ロータリークラブの例会にローターアクターを招き卓話をしてもらうこと、一緒に社会奉仕活動を行うこと（特に、本年度はロータリー奉仕デーの事業である「それぞれの最上川物語」）を始めとして、ロータリークラブとローターアクトクラブの交流を密に図っていく必要があります。

本年度、当委員会は、ロータリークラブとローターアクトクラブの交流を充実させるための活動に取り組みますので、ご協力をお願いします。

4 バーチャルな手法を用いての国際平和のための交流会

ローターアクトは世界中に数多くの仲間がいます（ローターアクトクラブ数は世界中で約11,400、会員数約206,000人）。

ZOOM等のバーチャルな手法を用いて、海外のローターアクトクラブとの意見交換イベント等を試行します。異文化間のコミュニケーションと理解を深め、参加するローターアクターのスキルアップを図るとともに、ロータリーファミリーであることを実感してもらい、ローターアクト活動の充実と平和構築につなげます。

R Y L A委員会

2023-2024年度 R Y L A委員会
委員長 渡部 晃 (余目 RC)

I ガバナーエレクト・次期地区委員長からのメッセージ

R Y L Aとは「Rotary Youth Leadership Awards (ロータリー青少年指導者養成プログラム)」のことです。

R Y L Aは、インターアクター、ローターアクター及び一般の青少年の指導を開発するための研修プログラムで、クラブ、地区、または他地区合同の規模で実施されます。数ある青少年プログラムの中でも、このR Y L A研修は全てのクラブが積極的に参加することができるプログラムとなっていることが特徴です。

他方、ロータリークラブやローターアクトクラブにとっても、R Y L A参加者の持つ新鮮な視点や考え方から新たな刺激を得られるとのメリットのほか、会員増強のチャンスを得るとのメリットもあります。

ここで、「R Y L Aの目的」をまとめると次のようになります。

- ・若者のリーダーシップスキルを磨き、地域に貢献する若者を育成すること
- ・若者の心に生涯にわたる奉仕の精神を育み、ロータリーを通じた奉仕の機会へと導くこと
- ・若者のリーダーシップ育成を支援することにより、ロータリーの青少年奉仕を実践すること

また、「R Y L Aのメリット」をまとめると次のようになります。

- ・未来の担い手を育てる

地域や世界の課題に取り組むためには、多くのリーダーが求められます。ロータリーの五大奉仕の一つである青少年奉仕は、リーダーシップ育成を通じて若者の成長を促すことを重視しています。R Y L Aは将来を担う地域の若者を育て、青少年奉仕を実践する機会になります。このような研修を通じて、若者たちは自分の意見を形づくり、行動に移すためのスキルを磨くことができます。

- ・つながりを築く

R Y L Aは、若者が互いにつながり、協力し合う絶好の機会です。ロータリーに関わる全ての若者に参加してもらい、つながりを促しましょう。ロータリーについて学びながら、社会貢献をめざす仲間たちと出会うことができます。

- ・参加者の基盤を広げる

参加した若者にとって、R Y L Aはロータリーとの初めての接点となります。R Y L Aは、若いリーダーと関われるだけでなく、ロータリーとの繋がりをスタートさせる素晴らしいチャンスとなります。

- ・会員増強の機会

ロータリークラブやローターアクトクラブにとっても、R Y L A参加者の持つ新鮮な視点

や考え方から新たな刺激を得られるとのメリットのほか、会員増強の機会を得るとのメリットもあります。

地区のインターアクト委員会、ローターアクト委員会、青少年交換委員会、さらには米山奨学・米山学友委員会とも連携して、各クラブの協力を得ながら有意義なR Y L Aの実施を目指します。

II 地区R Y L A委員会の活動計画

1 R Y L A研修の復活

コロナ禍により、R Y L A研修はここ3年間開催できませんでした。過去のR Y L Aの内容を検証し、それを進化させて第2800地区内すべてのクラブからご理解ご協力を頂き、ロータリー会員企業はもとより県内企業の若手、更には、ローターアクト世代の20代から30代を対象に次世代のリーダーとなる人材の育成を目指します。

将来の日本を担う若者の夢、希望、想いなどを参加者みんなで語り合い、理解し合うことによって、参加者だけでなく私たちロータリアンも多くの気づきを得て成長することができるR Y L A研修にして参ります。そして、参加して良かったと全員が思える感動と達成感いっぱい、今後に繋がるR Y L A研修を委員会中心に企画し運営をして参りますので、是非、多数の方のご参加をお願いします。

2 「全国ローターアクト研修会 山形会議」及び

「国際ロータリー日本青少年交換研究会 山形会議」との連携

本年度は2024年3月に全国ローターアクト研修会、5月には青少年交換全国研究会が当地区で開催されますので、その企画との連携も検討して参ります。ご理解、ご協力よろしく申し上げます。

3 活動スケジュール

(1) 2023年7月～12月

- ・どのようなプログラムにすれば実効性があるのか、地区内外の研修内容の調査及び検証を行う

(2) 2024年1月～4月

- ・R Y L Aプログラムの企画・具体的な実施要項作成
- ・地区内クラブに訪問し、多くのクラブからの参加を頂けるようプログラム内容、参加することで得られるメリットなど広報し、参加案内を行う
- ・「全国ローターアクト研修会 山形会議」及び「国際ロータリー日本青少年交換研究会山形会議」との連携を検討する

(3) 2024年5月～6月

- ・R Y L Aの開催日時（1泊2日を予定）
参加人数 50名+RC会員20名以上（RC会員は、見学での参加も大歓迎）

青少年交換委員会

2023-2024 年度 青少年交換委員会
委員長 佐藤 聡 (鶴岡南 R C)

I ガバナーエレクト・次期地区委員長からのメッセージ

ロータリーの青少年交換事業は、15歳から19歳の学生を、およそ1年間にわたって相手国のロータリークラブと相互に交換するものです。交換学生はロータリークラブの支援のもと、ホストファミリーと暮らしながら、現地校に通い、ロータリーの活動に参加するなかで、親善大使として互いの国の理解を深める活動をしています。

1974年に「ロータリー青少年交換プログラム」がRI理事会によって青少年奉仕プログラムの一つとして正式採択される以前の1965年、鶴岡ロータリークラブがスポンサーとなって、当地区から最初の青少年交換学生がアメリカに旅立ちました。

それから約60年、当地区から約160名の青少年交換学生が世界中に派遣され、そして同じ数だけの交換学生を世界から当地区に受け入れた、歴史のある事業です。

このプログラムは、青少年の国際理解と親善の精神を育み、平和の構築と維持に不可欠な異文化理解能力の養成に役立つとともに、生涯にわたる奉仕への献身を青少年の心に芽生えさせるものであって、「ロータリーの目的」に資するものです。

事業の意義を地区内の多くのクラブから認知してもらい、より広範囲に青少年交換の派遣学生そして受入先を募りたいものです。

コロナ禍の影響により、当地区の青少年交換事業も2年間休止しておりましたが、2022年夏から3年ぶりに再開されました。

2023年度の青少年交換の派遣学生3名も決定しています。

- ・2022-2023年度交換 4名 (メキシコ、スイス、台湾2名)
- ・2023-2024年度交換 3名予定 (メキシコ、台湾、アメリカ北西部&カナダ南西部)

II 地区青少年交換委員会の活動計画

1 アウトバウンド (派遣) 学生の送り出し、インバウンド (来日) 学生の受け入れ

2023年8月から始まる青少年交換をスムーズに行うため、ホストクラブ、ホストファミリー、受入れ高校、ROTEX、そしてロータリアンと緊密に連携して、スムーズなアウトバウンド (派遣) 学生の送り出し、インバウンド (来日) 学生の受け入れを行います。

2 派遣候補学生の募集、選考、オリエンテーション

8月31日を応募締め切りとして、2024年夏に派遣予定 (2024-2025年度交換) の学生の募集、選考を行います。

対象は、現在、中学3年生から高校2年生です。ロータリアンのご子息も応募可能です。9月

に選考を行ったのち、7回程度のオリエンテーション、多地区合同スプリングキャンプを通じて、派遣に向けた育成を行います。

応募にあたってはロータリークラブにスポンサーになっていただく必要があり、クラブに相談して申し込むこととしております。学生から応募に向けた相談がありましたらお知らせください。

3 「第27回国際ロータリー日本青少年交換研究会 山形会議」

2024年5月11日（土）から12日（日）、天童市市民文化会館及び天童ホテルを会場に、「第27回国際ロータリー日本青少年交換研究会 山形会議」が開催されます。

全国から交換学生、ROTEX、青少年交換関係者数百名が集い、青少年交換に対する理解を深めるとともに、友情を育む機会となります。

山形会議に地区内ロータリアンから多数ご参加いただくことによって、事業の意義を認知していただき、より多くのクラブに青少年交換に参画していただきたいと考えています。ホスト地区として、充実したプログラムになるよう準備を進めて参ります。

その前提として、今年度は、スポンサーやホストクラブだけでなく、各グループで交換学生をサポートできる仕組みを構築していきます。

2023-2024 年度 青少年交換委員会 年間スケジュール（案）

会議名	開催日	会場	内容
第1回 委員会&刈込セッション	7月22日（土）	寒河江市： チェリーパークホテル	今年度の活動計画・役割分担確認、ホスト RC 刈込セッション、派遣学生決意表明
第2回 委員会&刈込セッション	9月9日（土）	寒河江市： チェリーパークホテル	IBS 刈込セッション 派遣候補学生面接試験
第3回 委員会&刈込セッション	10月15日（日）	鶴岡市： 羽黒町手向	スポンサー RC・IBS・派遣候補学生刈込セッション、ROTEX 帰国報告 羽黒山石段歩き
地区大会	11月12日（日）	山形市： やまぎん県民ホール	ROTEX・IBS・派遣候補学生挨拶 青少年交流会
第4回 委員会&刈込セッション	12月16日（土） ～ 17日（日）	寒河江市： チェリーパークホテル	IBS・派遣候補学生刈込セッション Xmas パーティー
第5回 委員会&刈込セッション	1月13日（土）	RID2800 地区事務局（天童）	派遣候補学生刈込セッション（書類確認）
多地区合同ウィンターキャンプ	1月28日（日） ～ 29日（月）	蔵王ライザ	IBS 刈込セッション
多地区合同スプリングキャンプ	3月16日（土） ～ 18日（月）	山形県	ホスト地区・2800 地区（山形） 対象:2800/2520/2530/2540
第6回委員会&刈込セッション	4月27日（土）	寒河江市： チェリーパークホテル	派遣候補学生刈込セッション、 ホスト RC 刈込セッション、IBS 刈込セッション 青少年交換山形会議打合せ
日本青少年交換研究会 山形会議	5月11日（土） ～ 12日（日）	天童市市民文化会館 天童ホテル	IBS・派遣候補学生・ROTEX、青少年交換関係者が参加 本会議、IBS スピーチコンテスト、委員長会議、交流会を行う
第7回 委員会&刈込セッション	6月8日（土）	寒河江市： チェリーパークホテル	ホスト RC 刈込セッション IBS・派遣候補学生壮行会

※青少年交換学生募集 募集期間：2023年6月～8月末日（募集要項&ポスター発送：2023年6月）

米山奨学事業について

2023-2024 年度 米山奨学・米山学友アドバイザー
パストガバナー 長谷川 憲治 (山形 RC)

米山記念奨学事業は、1952年に東京 RC が「日本のロータリーの創始者である故米山梅吉氏の生前の功績を讃え、後世まで残るような有益な事業を行いたい」との想いで始まった事業です。その背景には、戦争の悲惨さを痛感した日本人が「今後日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに、そして世界に理解して貰う為には、一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築く事。それこそが、日本のロータリーに最も相応しい国際奉仕事業ではないか」との熱く高い想いが有りました。

以来 50 有余年、その想いと行動は連綿と引き継がれ、これ迄の累計奨学生数は 22,875 人、その出身国は世界 129 の国と地域に及び、外国人留学生を対象とする民間奨学金では国内最大規模の奨学金制度となりました。2022 学年度も、全国で 898 人、当 2800 地区でも 14 人の奨学生割当数が決まっており、奨学金が支給されております。

加えて、米山奨学生には世話クラブとカウンセラー制度が採用され、クラブ挙げての対応や交流、そして実の家族のような温かくきめ細かいフォローがなされています。米山奨学生同志の交流会も多く、慣れない異国日本での生活の寂しさや不安を解消する事にも大いに役立っております。又、米山学友会という学友（元奨学生）を中心とする同窓会組織も、国内に 33、世界に 9 つの組織が有り、相互の交流や親睦・情報交換等が行われています。学友には日本や母国で大変活躍しておられる方も多く、母国と日本、そして世界との貴重な架け橋ともなっております。

そして今年も、米山学友の世界大会が「再会 in 関東」と銘打って茨城県つくば市で開催されます。是非多くの学友や奨学生そしてロータリアンに参加して頂き、世界平和と友好の輪が広がる事を期待しております。

そのように米山奨学事業は、日本のロータリーが世界に誇れる事業であります。是非、その意義を良くご認識頂き、積極的な世話クラブ・サブ世話クラブの引き受けやカウンセラーの引き受けをお願い申し上げます。

そして、15,000 円／人の寄付目標を達成して頂き、今後とも有意義な米山奨学事業の継続発展にご支援を頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。

米山奨学・米山学友委員会

2023-2024 年度 米山奨学・米山学友委員会
委員長 芦野 茂 (山形西 R C)

I ガバナーエレクト・次期地区委員長からのメッセージ

『今後、日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに、そして世界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築くこと。それこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないか』米山奨学事業は、1952年、このような想いを持って、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した米山梅吉の功績を記念して、東京ロータリークラブで発足されました。この事業はやがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年に財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。

当地区においても、1969年、世話クラブが米沢ロータリークラブで台湾から山形大学に留学した奨学生から始まり、約53年の間に約260名もの奨学生を受け入れている、歴史のある事業です。

米山奨学会は、奨学金による経済的支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援が特徴ですが、この事業の国際奉仕そして青少年奉仕としての意義を地区内の多くのクラブから認知してもらい、より広範囲に奨学生の受入先を募りたいものです。

また、米山奨学事業は、その資金のすべてをロータリアン一人ひとりの寄付に頼っています。皆さまの絶大なるご協力をお願いします。「与える文化」を実践しましょう。

ちなみに、直近の資料（2022-23 ロータリー米山記念奨学事業 豆辞典）によりますと、2021-22年度の全国平均寄付額は一人あたり約1万6000円なのに対して第2800地区は約1万円で34地区中27位でした（最も多い地区は第2590地区（横浜・川崎）で約2万8000円）。

さらに、元米山奨学生を中心とする同窓会組織である米山学友会の活発な活動のための支援をお願いします。

II 地区米山奨学・学友委員会の活動計画

1 世話クラブ及び世話クラブカウンセラーの推進

積極的に世話クラブを受諾して頂けるよう、各クラブに世話クラブになることのメリットをPRしていきたいと思えます。

なお、2023年4月からの米山奨学生の世話クラブは既に決まっております。2024年4月からの米山奨学生の世話クラブ、そしてサブ世話クラブの募集は、2024年1月から2月頃ですので、地区委員会に積極的に声がけください。

また、世話クラブカウンセラーを安心して受諾して頂けるよう、世話クラブカウンセラー向け

のオリエンテーション（2024年4月6日開催）を更に充実したものにします。世話クラブ
カウンセラーオリエンテーションには、世話クラブ、サブ世話クラブ、世話クラブカウンセラ
ー、米山奨学生が在籍する大学の教授などを招き、年間の打ち合わせや情報提供に心がけ、世
話クラブ、サブ世話クラブの情報交換を促し、世話クラブ及びサブ世話クラブ制度の充実を図
ります。

なお、一人の米山奨学生に世話クラブの希望が集中した際には、前年度寄付額の多いクラブを
優先的に世話クラブとさせていただきます。

2 サブ世話クラブ制度の推進

全ての米山奨学生に対してサブ世話クラブ制度を導入し、大学から遠方のクラブや世話クラブ
の経験の少ないクラブにも、米山奨学生を年間2回ほど訪問させて米山奨学生との交流の機会
を作ることで、米山奨学制度の理解促進に努めます。

3 米山卓話の推進

各クラブからの要請があれば、年間を通じて、地区委員会委員はもちろん、米山奨学生も積極
的に卓話に応じるように心がけ、米山奨学制度の理解促進に努めます。

4 米山奨学事業の理解促進

地区行事、ガバナー月信、ロータリーの友で米山奨学事業の活動状況をPRし、同時に米山功
労者を称えることで、米山奨学事業の理解促進に努めます。

特に、ガバナー月信の企画「米山奨学・米山学友コーナー」には、全ての米山奨学生と地区委
員が投稿します。

米山奨学生に、各クラブでの例会卓話やIMで積極的に活動してもらうとともに、地区大会で
は、米山奨学生の出席を義務化します。

5 寄付の促進

各グループのガバナー補佐の方々に、担当クラブの寄付状況を定期的に把握していただき、適
宜、特別寄付のPRをお願いいたします。各クラブには、地区委員会から過去の寄付状況を発
信し、今後の目標設定をお願いします。

地区重点事項である地区一人当たり年間寄付額 15,000 円の達成を目指します。

（普通寄付：1人5,000円）

（特別寄付：1人1,000円以上から10,000円）

6 米山学友会運営への支援

米山学友会のHPやFacebookの活用を推進します。奨学期間が終了する米山奨学生に
は、山形米山学友会に入会してもらい、FacebookやLINEによる情報交換を促進
することで、米山奨学生が県外へ転出する場合にもその交流を図って参ります。

7 世界米山学友による「再会 in 関東」への参加

第3回米山学友による世界大会が「再会 in 関東」のテーマで、茨城県つくば市にて、2023年8月5日（土）～6日（日）に開催されます。第1回目は熊本で「感謝 in 熊本」、第2回目はモンゴルで「絆 in モンゴル」として開催され、今回の世界大会は2019年以来4年ぶりの開催となります。

米山学友の世界大会は、米山学友が世界中から集まる機会というだけでなく、米山学友とロータリアンとの親睦を深めることにより、世界平和、国際親善を皆で改めて願うとともに、被災地への支援活動や、地域の活性化に繋がることを目的としています。

第2800地区としても、山形米山学友会はじめ、米山奨学生、ロータリアンも多数参加して親睦を深め世界平和や国際親善に努めたいと考えております。

■2023-2024年度 米山奨学・米山学友委員会 年間スケジュール

2023年4月15日現在

会議名	開催日	会場	備考
米山奨学・米山学友セミナー	7月8日(土)	山形市 パレスグランデール	
世界大会「再会in関東」	8月5日(土) ～6日(日)	茨城県 つくば国際会議場	
米山カウンセラー研修会 芋煮交流会	10月14日(土)	山形市 山寺	
よねやまナイト in 山形	11月11日(土)	山形市 未定	
地区大会	11月12日(日)	やまぎん県民ホール 山形	
米山奨学生・選考試験	12月10日(土)	山形市 メトロポリタン山形	
ニューイヤーパーティー	1月13日(土)	山形市 コンフェッティ	
米山奨学生歓送会	2月3日(土)	山形市 パレスグランデール	
米山奨学生オリエンテーション カウンセラー説明会	4月6日(土)	山形市 メトロポリタン山形	
米山学友会総会	5月18日(土)	山形市 未定	

社会奉仕・国際奉仕について

2023-2024 年度 社会奉仕委員会委員長

パストガバナー 大久保 章宏 (山形南 RC)

社会奉仕委員会は、ロータリー財団委員会と共に活動を行います。次年度より委員会の名称が変わりました。社会奉仕委員会の中に、地域奉仕委員会と国際奉仕・ロータリー学友委員会の2委員会が含まれます。

奉仕の第三部門である社会奉仕は、クラブの所在地域内または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら会員が行うさまざまな取り組みから成るものです。特に伊藤三之 GE は、2800 地区全体で「それぞれの最上川物語」の奉仕活動を推進しています。山形県の母なる川「最上川」を舞台に、環境をテーマにして多くの一般市民、ロータリーファミリーと共に最上川の環境問題にチャレンジし、皆さんと共に汗をかいてふるさと考えようと掲げています。委員会では全面的にこの最上川物語をサポートして行きます。

奉仕の第四部門である国際奉仕は、国際理解、親善、平和を推進するために実施する全ての活動を言います。特にグローバル補助金を活用して奨学生を派遣したいと考えています。以前からの念願でもありますグローバル奨学生の輩出に向けて、今後への布石となるように進めて行きます。

各地域には多くの問題があり、各ロータリークラブが毎年色々に対応していただいていると思います。十分に検討し、地域のために活動することが最も大切な奉仕活動です。委員会としてもサポートして行きますのでご相談頂きたいと思います。その中で地区補助金を活用してより良い奉仕活動になることもあると思います。一緒に考えましょう。

ロータリー財団を活用した奉仕活動だけが社会奉仕活動ではありませんが、伊藤三之 GE は、記載のように「それぞれの最上川物語」を掲げています。地区補助金を活用しながら 2800 地区全体で 10 月 1 日の実施日に向けて準備を進めて行きます。ロータリーの 7 つの重点分野には 平和の推進 疾病との闘い 水と衛生 母子の健康 教育の支援 地域経済の発展 そして「環境保護」が加わりました。

全会員で環境問題を考え、最上川の環境問題のために汗をかきましょう。

地域奉仕委員会

2023-2024 年度 地域奉仕委員会
委員長 菅原 成規 (鶴岡 RC)

I ガバナーエレクト・次期地区委員長からのメッセージ

当委員会は、地域社会奉仕のための委員会であり、いろんな側面から各クラブの地域社会奉仕活動を支援することを目的としています。

本年度は、ロータリー奉仕デーの事業として、地区内第1グループから第6グループまで、すべてのグループで最上川清掃プロジェクト「それぞれの最上川物語」を実施いたします。各クラブとも、この事業に積極的にご参加ください。

また、当委員会は、各クラブの地域社会奉仕活動を支援するツールとしての、財団の「地区補助金」の受付窓口となります。各クラブとも、積極的に地区補助金を活用して充実した地域社会奉仕活動を展開してください。

本年度、当委員会は、ゴードン・マッキナリー R I 会長が示唆する「メンタルヘルスの取り組み」についてもチャレンジしていきたいと思っておりますので、各クラブのご支援、ご協力をお願いします。

II 地区地域社会奉仕委員会の活動計画

1 ロータリー奉仕デー「それぞれの最上川物語」

最上川をステージにして、地区内全てのグループが一丸となって、環境をテーマにした清掃活動事業を行います。

ロータリー奉仕デーの事業として地域社会に広報し、ロータリアンだけでなく、インターアクター、ローターアクターを始めとする青少年を含む多くの地域の方々、パートナーとともに汗をかいて、最上川をとおして環境問題、そしてふるさとについて考えてみましょう。

この事業の意義を広く広報し、ロータリーの公共イメージの向上につなげたいと思います。

2023年10月1日(日)に開催予定ですが、第1グループから第6グループまで、それぞれのグループのガバナー補佐、当委員会担当委員、各クラブ担当者の方々と綿密に連携を取りながら、事業を実施いたしますので、各クラブの積極的なご参加をお願いします。

2 地区補助金の活用

地区補助金を活用した地域社会奉仕活動につきましては、その手続も含めて、当委員会が各クラブの活動をバックアップいたします。

地区補助金を活用した各クラブの地域社会奉仕活動の成果を、地区公式ホームページ、地区公式LINE、月信などのツールを使って、広く地区内の各クラブに情報発信いたしますので、各クラブの次の地域社会奉仕活動のヒントにさせていただくなどして、地域社会奉仕活動の充実を図っていただきたいと思います。

なお、2024-2025年度に向けての地区補助金の申請書最終受付は、2024年3月31日となっていますので、余裕を持って申請をお願いします。

3 メンタルヘルスの取り組み

本年度、当委員会は、ゴードン・マッキナリーRI会長が示唆する「メンタルヘルスの取り組み」についてもチャレンジしていきたいと考えております。

当委員会では、「メンタルヘルスの取り組み」に関する世界中の仲間のアイデア、実例を、地区公式ホームページ、地区公式LINE、月信などのツールを使って、広く地区内の各クラブに情報発信いたします。

そして、各クラブにおいて、「メンタルヘルスの取り組み」に関する奉仕活動を実施した場合には、是非、当委員会にご報告ください。当委員会が、広く地区内の各クラブに情報を発信し、情報を共有させていただきたいと思っております。

国際奉仕・ロータリー学友委員会

2023-2024 年度 国際奉仕・ロータリー学友委員会
委員長 安孫子 俊彦（山形東 R C）

I ガバナーエレクト・次期地区委員長からのメッセージ

国際奉仕は、標準ロータリークラブ定款第 6 条第 5 項によると、「書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力をするを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために会員が行う活動から成るもの」とされています。

簡潔に言えば、国際理解、親善、平和を推進するために実施する全ての活動ということになります。

当委員会は、国際奉仕のための委員会であり、いろんな側面から各クラブの国際奉仕活動を支援することを目的としています。

また、当委員会は、各クラブの国際奉仕活動を支援するツールとしての、財団の「グローバル補助金」の受付窓口となります。各クラブとも、グローバル補助金を活用した国際奉仕活動の可能性を積極的にご検討ください。

ゴードン・マッキナリー R I 会長は、ロシアのウクライナ侵攻によって、世界の平和が脅かされている今こそ、世界に平和を築くことに力を注ぐべきであると述べています。この点の検討も必要です。

II 地区国際奉仕・ロータリー学友委員会の活動計画

1 国際奉仕活動の理解の促進

当委員会では、「各クラブが実際に取り組むことができる国際奉仕活動」に関する世界中の仲間のアイデア、実例を、地区公式ホームページ、地区公式 LINE、月信などのツールを使って、広く地区内の各クラブに情報発信することで、各クラブにおいて、国際奉仕活動について、その目標を設定し、それに向けて具体的行動を起こせるよう理解の促進を図ります。

2 グローバル補助金の活用

グローバル補助金への理解を促すとともに、グローバル補助金を活用して国際奉仕活動を行うクラブを積極的に支援します。

グローバル補助金は、人道的プロジェクト、職業研修チーム、および奨学金の 3 つの主要国際活動に資金を提供するものですが、特に、本年度は、ロータリー財団委員会、補助金・奉仕プロジェクト委員会と連携しながら、グローバル補助金奨学金制度の活用（グローバル補助金を活用しての奨学生の派遣）に向けての具体的な準備を進めたいと思います。

3 国際平和のための交流会

インターアクトやローターアクトは、世界中に数多くの仲間がいます。

そこで、インターアクト委員会やローターアクト委員会と連携しながら、ZOOM等のバーチャルな手法を用いて、海外のインターアクトクラブやローターアクトクラブとの意見交換イベント等（国際平和のための交流会）を試行します。異文化間のコミュニケーションと理解を深め、参加するインターアクターやローターアクターのスキルアップを図るとともに、ロータリーファミリーであることを実感してもらい、国際平和構築につなげます。

4 ロータリー学友会の支援

当委員会は、ロータリー学友（インターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換、ロータリー平和フェローシップ、グローバル補助金奨学金等のロータリープログラムの元参加者）及びロータリー学友会の窓口となる委員会です。ロータリー学友は、ロータリーの価値観を共有するロータリーファミリーの貴重な一員であり、ロータリー学友会は、ロータリー学友が奉仕と親睦を追求するために結成されたグループです。各クラブにおかれても、積極的な支援をお願いします。

ロータリー財団委員会

2023-2024 年度 ロータリー財団委員長
パストガバナー 上林 直樹（酒田中央 R C）

I ガバナーエレクト・次期地区委員長からのメッセージ

「いろいろな人に奉仕をしたい」、「世界中で良いことを広げ実現したい」、ロータリアンである私たちが抱えている思いではないでしょうか。そんな一人一人が手を繋ぎ、ロータリー財団に寄付することで、思いの一つ一つの実現が可能になると考えています。

「与える文化」を実践しましょう。

II 地区ロータリー財団委員会の活動計画

1 ロータリー財団への寄付 1 人 1 5 0 ドルの目標達成

ロータリー財団への寄付金については、年間 1 人当たり 1 5 0 ドルの寄付をお願いしていきます。うち 5 0 ドルは年次基金の普通寄付としてクラブ年会費の中から自動的に寄付をすることになっていますが、プラスアルファについては、当地区は全国的にみてかなり低い（ここ数年間の実績によりますと、一人当たりの年次基金の全国平均寄付額は約 1 6 0 ドルなのに対して第 2 8 0 0 地区は約 1 1 0 ドル程度で推移しているようです）ため、地区内全ロータリアンに 5 0 ドルの普通寄付に加え、会員の意思で特別寄付としてプラスアルファのご協力がいただけるよう切にお願いいたします。

当地区では、下記 2 のポリオプラス基金（使途指定寄付）についても、年間 1 人当たり 2 0 ドルはクラブ年会費の中から自動的に寄付をすることになっています。そうしますと、ロータリー財団への寄付年間 1 人当たり合計 1 5 0 ドル目標とすると、年次基金としては年間 1 人当たり 8 0 ドルのプラスアルファのご協力が必要だということになります。

2 ポリオプラス基金へのご理解、ご協力のお願い

2 0 2 2 年はパキスタン、モザンビークにおいてポリオ罹患者が年間 3 0 人と激増しました。3 0 余年にわたり継続されてきた国際ロータリー最大の活動であるポリオ撲滅活動を最終的成功に導くために、改めてポリオプラス基金（使途指定寄付）へのご理解、ご協力をお願いします。

3 地区補助金の有効活用

地域奉仕委員会とロータリー財団委員会が連携して、各クラブが、ロータリークラブでなければできない地域へのすばらしい奉仕活動を地区補助金制度を活用して実践されることをお手伝いいたします。

4 グローバル補助金の活用の啓蒙

グローバル補助金を活用しての国際奉仕活動の実践について啓蒙していきます。

活動の種類としては、①人道的プロジェクト、②職業研修、③奨学金制度の 3 つがありますが、本年度は、国際奉仕・ロータリー学友委員会と連携して、③のグローバル補助金奨学金制度の活用（グローバル補助金を活用しての奨学生の派遣）に向けての具体的な準備を進めたいと思います。

補助金・奉仕プロジェクト委員会

2023-2024 年度 補助金・奉仕プロジェクト委員会

委員長 小松 栄一（寒河江RC）

I ガバナーエレクト・次期地区委員長からのメッセージ

1917年、ロータリー・クラブ国際連合会で第7代目会長アーチ・クランプは「世界で良いことをしよう」と提唱しました。その提案に呼応して創立されたロータリー財団は、2017年に設立百周年を迎えました。

地区内のロータリークラブ、ロータリアンが、100年以上に渡り世界で活動してきたロータリー財団の成果や存在意義を認識し、地域や世界での活動を推進する手助けとなる様、補助金・奉仕プロジェクト委員会は、以下の活動を行い、皆様をサポートします。

II 地区補助金・奉仕プロジェクト委員会の活動計画

1 各種基金の理解の促進

ロータリー財団の基礎となる年次基金の仕組みを理解頂き、積極的に寄付をする土壌作りを目指します。また、将来の財団を支える恒久基金への理解を深めて頂く活動を行います。さらに、災害救援やポリオプラス基金等他の基金への理解を深めて頂く活動を行います。

2 各種補助金の広報と情報提供

各種補助金に関する理解を深める活動を行います。特に、参加資格認定と資金管理、補助金の申請プロセス、報告要件に関する情報提供を行います。

- A) ポリオプラス補助金
- B) 地区補助金（地域奉仕委員会と連携）
- C) グローバル補助金（国際奉仕・ロータリー学友委員会と連携）
- D) 大規模プログラム補助金
- E) 災害救助補助金
- F) ロータリー平和フェローシップ

3 ロータリー財団の重点分野

ロータリー財団の重点分野に関する情報提供を行います。

<平和構築と紛争予防>	戦争が終わり平和が訪れば、子どもたちは安心して暮らせませ
<地域社会の経済発展>	更に安定した経済活動が保証され、家庭の安定につながります
<水と衛生>	安定した社会ではインフラの整備が進み衛生環境が改善されます
<疾病予防と治療>	衛生環境が改善し、医療施設の整備が進めば予防医学が進みます
<母子の健康>	衛生環境や医療環境の改善は母子の健康改善につながります
<基本的教育と識字率向上>	社会環境の改善は教育を推進し、更に社会環境が改善されます
<環境の保護・保存・保全>	高度に教育された人々と安定した社会は環境の保護を優先します

4 ロータリー財団の認証制度

ロータリー財団の認証制度に関する情報提供を行い、理解を深めていただきます。

資金推進・管理（平和フェロー・ポリオプラス）委員会

2023-2024 年度 資金推進・管理（平和フェロー・ポリオプラス）委員会
委員長 パストガバナー 池田 徳博（鶴岡西 RC）

当委員会の活動は、以下を目標として取り組みます。

- 1 地区目標となっております、ロータリー財団への寄付 1 人年間 1 5 0 ドルを目標として、皆さまのご理解とご協力を頂けますよう、卓話等の活動を推進してまいりますので、是非、ご要請ください。
- 2 当委員会は、平和フェロー及びポリオプラスに対する地区の寄付をこれまでと同様に継続することで、世界平和の構築及びポリオの根絶に対して、地区として積極的に貢献すべきと考えております。
- 3 地域奉仕委員会、国際奉仕・ロータリー学友委員会、補助金・奉仕プロジェクト委員会とも協力して、地区補助金及びグローバル補助金の活用の奨励に努めます。

特に、本年度は、グローバル補助金奨学金の活用（グローバル補助金を活用しての奨学生の派遣）について、具体的な準備を進めたいと思います。

MEMO

Handwriting lines for a memo.



2023-2024 年度
各種提出用紙

会員増強報告書

年 月 末 報 告

(報告日 年 月 日)

クラブ名

RC

報告者名

●会員統計

当 月	会員数	(内女性会員数)
①入会した会員数		
②退会した会員数		
③会員増強 (①－②)		

累 計 (7月1日から今月まで)	会員数	(内女性会員数)
④7月1日現在会員数		
④1月1日現在会員数		
⑤入会した会員数		
⑥退会した会員数		
⑦今月末会員数 (④+⑤－⑥)		

※ 7月1日現在の会員数・1月1日現在の会員数は、RI人頭分担金の会員数と同数になります。

提出締切り 翌月15日必着

提出先 国際ロータリー第2800地区 地区事務局
TEL : 023-687-0208 FAX : 023-687-0209
E-mail : office@rid2800.org

年間例会出席報告書

2023-2024年度	クラブ名	RC
(報告日 年 月 日)	幹事名	

2023年7月1日 会員数	
---------------	--

	会員数 (内女性)	年間平均出席率 (%) $\left(\frac{(B)}{(A)} \times 100\right)$
2024年6月30日		%

※出席率：小数第二位まで表示（小数第三位四捨五入）

A（分母）に含まれるもの…

- 会員数（出席規定の適用免除会員を除く）
- 出席規定の適用免除会員(b)とR I 役員のうち出席した会員数（メイクアップによる出席含む）

B（分子）に含まれるもの…

- 出席した会員数（メイクアップによる出席含む）
- 出席規定の適用免除会員(b)とR I 役員のうち出席した会員数（メイクアップによる出席含む）

※出席規定の適用免除会員とは・・・（2022年手続要覧 ロータリークラブ定款 第10条 第5節）

(a) 理事会は、正当かつ十分な理由、条件、および状況によるものを承認する。このような出席規定の適用の免除は、最長12カ月間までとする。ただし、健康上の理由、子どもの誕生または養子縁組の後、または里親期間中に欠席となる場合は、理事会が当初の12カ月を超えて延長することができる。

(b) 一つまたは複数のロータリークラブのロータリー歴と会員の年齢の合計が85年以上であり、少なくとも20年のロータリアン歴があり、出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもって、クラブ幹事に通告し、これらの要件が満たされているかのみが考慮に入れられた場合。

提出締切り 2024年7月15日必着

提出先 国際ロータリー第2800地区 地区事務局

TEL : 023-687-0208 FAX : 023-687-0209

E-mail : office@rid2800.org

地区資金関係 送金明細書 (2023-2024年度)

送金日 年 月 日

クラブ名 : RC

	送金項目	金額	人数	合計金額	締切日
地区 資金 関係	地区資金	<上期> 10,300円 × 7/1現在の会員数 ・地区賦課金10,000円 ・ガバナー会運営協力金100円 ・ロータリー文庫協力金100円 ・RIJYEM協力金100円			2023年 7月末日
		<新会員> 5,000円(地区賦課金) ×(7/2~9/30)新会員数			2023年 10月末日
		<下期> 7,300円 × 1/1現在の会員数 ・地区賦課金7,000円 ・ガバナー会運営協力金100円 ・ロータリー文庫協力金100円 ・RIJYEM協力金100円			2024年 1月末日
		<新会員> 3,500円(地区賦課金) ×(1/2~3/31)新会員数			2024年 4月末日
	特別会計	<地区災害等救援特別基金> 1,000円 × 7/1現在の会員数			2023年 7月末日
	地区大会 登録料	10,000円 × 7/1現在の会員数			2023年 7月末日
<新会員> 8,000円 × (7/2~9/30)新会員数				2023年 10月5日	
送金合計金額				円	

【送金先】

山形銀行 寿町支店 普通預金 No.620432
口座名義 : 国際ロータリー第2800地区 G事務所 資金委員長 伊藤明彦

※送金後、地区事務局へメールまたはFAXにてご提出ください。
※お振込み名義はクラブ名でお願いいたします。

【送付先】 国際ロータリー第2800地区 地区事務局
TEL : 023-687-0208 / FAX : 023-687-0209
E-mail : office@rid2800.org

A

公益財団法人 ローター日本財団

寄付送金明細書

TEL: 03-5439-5806

FAX: 03-5439-0405

振込先: 三井住友銀行 赤羽支店 普通預金 3978101 名義: 公益財団法人ロータリー日本財団

送金明細書送付先: kifu@rotary.org 送金日までにお送りください

通信欄:

一括1万ドル以上の大口寄付について寄付者名を公表することがあります。希望されない場合は次の口に✓をお願いします。

 公表しないで下さい。(寄付者名) _____* ご記入いただいた個人情報は、[ロータリーのプライバシー方針](#)に従い、内容についての連絡、領収証の発送、寄付の記録や推進等に使用させていただきます。

着金日のRレートが適用されます

送金情報	送金(予定)日	振込元 金融機関 支店名		送金額	Rレート	
	地区番号	クラブ番号	クラブ名	担当者名	TEL	
	寄付者名 (領収証名)	ローマ字	ID番号	寄付分類 ▼で選択	円金額	\$金額 (自動計算)
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

日本事務局使用欄

R - -
 ¥

情報	地区番号	クラブ番号	クラブ名	担当者名	TEL	
	寄付者名 (領収証名)	ローマ字	ID番号	寄付分類 ▼で選択	円金額	\$金額 (自動計算)
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						

宛先：公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

FAX：(03) 3578-8281

TEL：(03) 3434-8681

送金先：三井住友銀行 京橋支店

普通預金 0920373

名義：公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

ザイ) ロータリーヨネヤマキネンショウガクカイ

普通寄付金送金明細

当 会 記 入 欄	入金記帳日	入力済み

発信元：

国際ロータリー第_____地区_____ロータリークラブ

担当者：_____

連絡先TEL：() -

送金日 (金融機関で送金手続きをした日)

送金額

_____年 月 日

¥ _____

¥ _____ × _____人 = ¥ _____
1名あたり 会員数 送金額

下記の該当箇所に○をして下さい。

年度

↓

上期 (7月~12月)

下期 (1月~6月)

年額 (一括)

その他 (新会員追加など)

当会への連絡事項がある場合、ご記入下さい。

注) この明細は金融機関で送金をされた後、速やかにFAXで当会へお知らせ下さい。

宛先:公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

FAX:(03)3578-8281

TEL:(03)3434-8681

E-mail:kifu@rotary-yoneyama.or.jp

送金先:三井住友銀行 京橋支店

普通預金 0920373

名義:公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

ザイ)ロータリーヨネヤマキネンショウガクカイ

<個人寄付用・特別寄付金送金明細>

国際
ロータリー第

地区

ロータリークラブ

送金日

連絡先TEL

送金額

担当者

* ①初回寄付、④表彰辞退、⑤元米山奨学生の場合は下記に○を入れてください。

* ①に該当する場合にはNo.1の上段よりご記入ください。

* 同姓同名の方が在籍する場合には、生年月日を⑦備考欄にご記入ください。

* 表彰を一度ご辞退されると、今後表彰辞退とさせていただきます。

* 入力不可のセルは灰色表示しています。

No.	①初回寄付 該当の場合○	ふりがな ②氏名	③寄付金額	④表彰辞退 該当の場合○	⑤元米山 奨学生 該当の場合○	⑥、①に該当し、 移籍の場合は 直近のクラブ名	⑦備考
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

送金額欄に、記入したシートすべての寄付の合計金額が自動計算されます。

クラブ寄付	③寄付金額	備考(BOX・ミール・創立記念etc)
クラブ扱い特別寄付金		
小計		



見本

* 記入はすべてローマ字でご記入ください(パスポートをお持ちの場合は、パスポートの記載通りの氏名が推奨されております)。

会員情報書式

インターネットの利用が可能な場合、この書式の代わりに www.rotary.org/myrotary で会員の変更を報告することができます。
本書式は、新会員、退会会員、もしくは会員情報の変更をRIへ報告する際にご使用いただくものです(会員一人ずつ別々の書式をご使用ください)。本書式は、www.rotary.org/ja からダウンロードし、パソコンで入力することができます。地区ガバナーにコピー1部を送付し、クラブの記録用として1部を保管した上で、書式の原本を下記宛にお送りください。

住所: ROTARY INTERNATIONAL, 1560 Sherman Avenue, Evanston, IL 60201-3698, USA ファックス: 1-847-733-9340 (米国) Eメール: data@rotary.org

ロータリークラブ名: Tokyo Akabane (#11111) ←クラブIDが分かる場合はご記入ください 地区番号: 2810

Tokyo Japan
都道府県 国名

会員名: Taro Ohta
名 姓

ロータリー会員ID番号: 8888888 *退会会員、移籍会員等、既にIDをお持ちの方のみご記入ください。

郵送先: Mita Kokusai Building 24F 1-4-28 Mita Minato-ku
番地 市町村/郡区

Tokyo Japan 108-0073
都道府県 国名 郵便番号

rijapan@rotary.org
Eメール

☑ 新会員の報告

男 女 生年月日: 12/31/1950 月/日/年

入会日 12/31/2014 月/日/年

会員身分: 正会員 名誉会員

過去に就任したことのあるRI役職: 元RI理事 パストガバナー

元所属ロータリークラブ名: Kanto (#22222) ←クラブIDが分かる場合はご記入ください 地区番号: 2810

Tokyo Japan
都道府県 国名

使用言語: Japanese 推薦者の氏名: Jiro Ohta

定期購読: ザ・ロータリアン誌 地域雑誌(ロータリーの友) 推薦者の会員ID(分かる場合): 9999999

☑ 会員情報の変更

住所の変更

旧郵送先:

Mita Kokusai Building 24F 1-4-28 Mita Minato-ku

番地 市町村/郡区

Tokyo Japan

都道府県 国名

108-0073

郵便番号

Eメールの変更 before@rotary.org

変更前のEメール

氏名の変更 Taro Ohta

変更前の氏名

次の会員身分に変更: 正会員 名誉会員

変更日 12/31/2014 月/日/年

新郵送先:

Mita Kokusai Building 11F 1-4-28 Mita Minato-ku

番地 市町村/郡区

Tokyo Japan

都道府県 国名

108-0073

郵便番号

after@rotary.org

新しいEメール

Taro Suzuki

新しい氏名

☑ 会員の退会

退会理由(1つに印を付けること):

出席率(1) 職務繁忙(2) 死亡(3) 家庭の事情(4)
 健康/一身上の都合(5) 新クラブへ入会(6) 移転**(7) その他(8)(明記してください)

**退会の理由が「移転」の場合、www.rotary.org/membershipreferral から会員紹介書式にご入力ください。

退会日 12/31/2014 月/日/年

Saburo Ohta 三田 三郎 12/31/2014
クラブ幹事氏名 クラブ幹事署名 月/日/年

※ 記入はすべてローマ字でご記入ください (パスポートをお持ちの場合は、パスポートの記載通りの氏名が推奨されております)。

会員情報書式

インターネットの利用が可能な場合、この書式の代わりに rotary.org/myrotary で会員の変更を報告することができます。本書式は、新会員、退会会員、もしくは会員情報の変更をRIへ報告する際にご使用いただくものです (会員一人ずつ別々の書式をご使用ください)。本書式は、Rotary.org/ja からダウンロードし、パソコンで入力することができます。地区ガバナーにコピー1部を送付し、クラブの記録用として1部を保管した上で、書式の原本を下記宛にお送りください。

住所: ROTARY INTERNATIONAL, 1560 Sherman Avenue, Evanston, IL 60201-3698, USA

ファックス: 1-847-556-2207 (米国)

Eメール: data@rotary.org

ロータリークラブ名: _____ 地区番号: _____

都道府県 _____ 国名 _____

会員名: _____
名 _____ 姓 _____

ロータリー会員ID番号* _____ *退会会員、移籍会員等、既にIDをお持ちの方のみご記入ください。

郵送先: _____
番地 _____ 市町村/郡区 _____

都道府県 _____ 国名 _____ 郵便番号 _____

Eメール _____

□ 新会員の報告

男 女 生年月日: _____

入会日 _____ 月/日/年 _____

会員身分: 正会員 名誉会員
過去に就任したことがあるRI役職: 元RI理事 パストガバナー

元所属ロータリークラブ名: _____ 地区番号: _____

都道府県 _____ 国名 _____

使用言語: _____ 推薦者の氏名: _____

定期購読: ザ・ロータリアン誌 地域雑誌 (ロータリーの友) 推薦者の会員ID (分かる場合): _____

□ 会員情報の変更

住所の変更
旧郵送先: _____

変更日 _____ 月/日/年 _____

新郵送先: _____

番地 _____ 市町村/郡区 _____

番地 _____ 市町村/郡区 _____

都道府県 _____ 国名 _____

都道府県 _____ 国名 _____

郵便番号 _____

郵便番号 _____

Eメールの変更
変更前のEメール _____

新しいEメール _____

氏名の変更
変更前の氏名 _____

新しい氏名 _____

次の会員身分に変更: 正会員 名誉会員

□ 会員の退会

退会理由 (1つに印を付けること):

- | | | | |
|-------------------------------------|---|---------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 欠席 (1) | <input type="checkbox"/> 会費の不払い (2) | <input type="checkbox"/> 仕事上の都合 (3) | <input type="checkbox"/> 家庭の事情 (4) |
| <input type="checkbox"/> 健康上の理由 (5) | <input type="checkbox"/> 個人的事情 (6) | <input type="checkbox"/> 他クラブへの移籍 (7) | <input type="checkbox"/> 移転** (8) |
| <input type="checkbox"/> ご逝去 (9) | <input type="checkbox"/> 特定の理由によりクラブの裁量で (10) | <input type="checkbox"/> 参加不十分 (11) | |

**退会の理由が「移転」の場合、rotary.org/membershipreferral から会員紹介書式にご入力ください。

退会日 _____ 月/日/年 _____

クラブ幹事氏名 _____ クラブ幹事署名 _____ 月/日/年 _____

提出先 国際ロータリー日本事務局クラブ・地区支援室 宛
メール：rijapan@rotary.org または ファックス：03-5439-0405

クラブ役員に代わりクラブ・会員情報を編集する権限を与える件

ローマ字でご記入ください

クラブ名(必須)：	
クラブ ID 番号：	
地区番号：	
対象者氏名(必須)：	
ログイン用メール (必須)：	
※第三者やクラブ事務局の代表メールアドレス等、既に RI データベースに登録済のものは使えません	
対象者種別：	<input type="checkbox"/> クラブ会員 <input type="checkbox"/> クラブ会員以外
他クラブとの兼任状況：	<input type="checkbox"/> 兼任なし <input type="checkbox"/> 兼任あり
兼任中のクラブ名：	
メモ欄：	

本書式受理後、通常 1 週間ほどで『ログイン用メール』にご記入いただいたメールアドレスに、今後の手順をご案内申し上げます。万が一、こちらが届かない場合は、お手数ですが日本事務局までご連絡ください。

確認事項：

- 上記の者へ、クラブ会長/幹事と同等のアクセス権を与えることを理解しました。
- 同氏がこの責を離れた場合には、その旨を速やかに日本事務局へ届けます。
- 本書式で付与したアクセス権は次の 6 月 30 日まで有効です。
- 次年度以降も継続する場合は My ROTARY の役員報告から「常任事務局職員/事務局長」として任命します(本書式は使えません)。

私は上記の確認事項を読み、これに同意します。

現クラブ会長署名： _____ 日付： _____

(2018/04 版)

国際ロータリー第2800地区 2023-2024年度 上期行事予定表

2023年

2023年

2023年

7月

8月

9月

2023.4.15

日	曜日	主要行事	日	曜日	主要行事	日	曜日	主要行事
1	土	ガバナー会議① ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	1	火	G公式訪問(米沢・米沢上杉・ 米沢中央・米沢おしょうしな)	1	金	G公式訪問(天童)
2	日		2	水	G公式訪問(山形)	2	土	
3	月		3	木	G公式訪問(寒河江)	3	日	
4	火		4	金		4	月	GETS ↑↓
5	水		5	土	世界米山学友 再会 in 関東 ↑↓	5	火	G公式訪問(南陽・南陽東・南陽臨雲) 南陽市長表敬訪問
6	木		6	日		6	水	DTS
7	金		7	月	G公式訪問(鶴岡西)	7	木	G公式訪問(高畠)
8	土	米山奨学・米山学友セミナー	8	火	G公式訪問(余目)	8	金	
9	日		9	水		9	土	青少年交換委員会・オリエンテーション②
10	月		10	木		10	日	
11	火	G公式訪問(鶴岡)	11	金	(山の日)	11	月	
12	水		12	土		12	火	
13	木	G公式訪問(白鷹)	13	日		13	水	G公式訪問(長井中央)
14	金		14	月		14	木	
15	土		15	火		15	金	
16	日		16	水		16	土	
17	月	(海の日)	17	木		17	日	
18	火		18	金		18	月	(敬老の日)
19	水		19	土		19	火	G公式訪問(大江)
20	木	G公式訪問(東根)	20	日		20	水	G公式訪問(西川月山)
21	金	G公式訪問(鶴岡南)	21	月		21	木	
22	土	青少年交換委員会・オリエンテーション①	22	火	G公式訪問(山形南)	22	金	
23	日		23	水	G公式訪問(鶴岡東)	23	土	(秋分の日) 次期AG研修会(GE)
24	月	G公式訪問(山形西)	24	木		24	日	
25	火		25	金		25	月	G公式訪問(東根中央)
26	水		26	土		26	火	G公式訪問(村山)
27	木		27	日		27	水	
28	金	G公式訪問(酒田・酒田東・ 酒田中央・酒田スワン・酒田湊)	28	月		28	木	
29	土		29	火		29	金	
30	日		30	水		30	土	小国RC50周年記念式典
31	月		31	木	G公式訪問(新庄)			
その 他 の 行 事		母子の健康月間	その 他 の 行 事		会員増強・新クラブ結成推進月間	その 他 の 行 事		基本的教育と識字率向上月間 ロータリーの友月間(日本独自)

国際ロータリー第2800地区 2023-2024年度 上期行事予定表

2023年

2023年

2023年

10月

11月

12月

2023.4.15

日	曜日	主要行事	日	曜日	主要行事	日	曜日	主要行事
1	日	ロータリー奉仕デー	1	水		1	金	
2	月		2	木		2	土	地区チーム研修セミナー①(GE) 国際協議会出発歓送会(GE)
3	火		3	金	(文化の日)	3	日	2800地区ロータリー財団セミナー
4	水		4	土		4	月	
5	木	G公式訪問(新庄あじさい)	5	日		5	火	
6	金		6	月		6	水	
7	土		7	火		7	木	
8	日	ロータリー奉仕デー(第1グループ)	8	水		8	金	
9	月	(スポーツの日)	9	木		9	土	第2グループIM
10	火	G公式訪問(最上)	10	金		10	日	米山奨学生選考試験
11	水		11	土	よねやまナイト in 山形 2800地区・地区大会 (山形市)	11	月	
12	木		12	日		12	火	
13	金		13	月		13	水	G公式訪問(天童東)
14	土	米山カウンセラー研修会・芋煮交流会	14	火		14	木	
15	日	青少年交換委員会・オリエンテーション③	15	水		15	金	
16	月		16	木		16	土	青少年交換委員会・オリエンテーション④
17	火	G公式訪問(寒河江さくらんぼ)	17	金		17	日	
18	水	G公式訪問(尾花沢・尾花沢中央)	18	土		18	月	
19	木		19	日	ロータリー財団地域セミナー(神戸)	19	火	
20	金		20	月	ガバナー会議②・GETS・GNTS メジャードナー午餐会(神戸)	20	水	
21	土	ロータリー奉仕デー「コロキウム」	21	火	第52回ロータリー研究会(神戸)	21	木	
22	日		22	水		22	金	
23	月	G公式訪問(中山)	23	木	(勤労感謝の日)	23	土	
24	火		24	金		24	日	
25	水		25	土		25	月	
26	木		26	日		26	火	
27	金		27	月		27	水	
28	土		28	火	G公式訪問(長井)	28	木	
29	日		29	水	G公式訪問(上山)	29	金	
30	月	G公式訪問(河北)	30	木		30	土	
31	火					31	日	
その 他 の 行 事		地域社会の経済発展月間 米山月間(日本独自)	その 他 の 行 事		ロータリー財団月間	その 他 の 行 事		疾病予防と治療月間

国際ロータリー第2800地区 2023-2024年度 下期行事予定表

2024年

2024年

2024年

1月

2月

3月

2023.4.15

日	曜日	主要行事	日	曜日	主要行事	日	曜日	主要行事
1	月	(元日)	1	木		1	金	
2	火		2	金		2	土	第4グループIM
3	水		3	土	米山奨学生歓送会	3	日	
4	木		4	日		4	月	
5	金		5	月		5	火	
6	土		6	火	G公式訪問(山形中央)	6	水	G公式訪問(小国)
7	日	国際協議会(米国フロリダ州オーランド)	7	水		7	木	
8	月	(成人の日)	8	木		8	金	
9	火		9	金		9	土	会長エレクト研修セミナー(PETS)GE
10	水		10	土	R財団補助金管理セミナー(GE)	10	日	
11	木		11	日	(建国記念日)	11	月	
12	金		12	月	(振替休日)	12	火	
13	土	青少年交換委員会・オリエンテーション⑤ 米山 New Year Party	13	火	G公式訪問(山辺)	13	水	
14	日		14	水		14	木	
15	月		15	木		15	金	G公式訪問(山形東)
16	火		16	金		16	土	青少年交換 多地区合同スプリングキャンプ
17	水		17	土	第5グループIM	17	日	
18	木		18	日		18	月	
19	金		19	月	G公式訪問(山形イブニング)	19	火	
20	土		20	火		20	水	(春分の日)
21	日		21	水		21	木	
22	月		22	木		22	金	
23	火		23	金	(天皇誕生日) 地区チーム研修セミナー②(GE)	23	土	全国ローターアクト研修会 山形会議
24	水	G公式訪問(村山ローズ)	24	土		24	日	
25	木		25	日		25	月	
26	金		26	月		26	火	
27	土		27	火		27	水	
28	日	青少年交換多地区合同ウインターキャンプ	28	水		28	木	G公式訪問(山形北)
29	月	G公式訪問(天童西)	29	木		29	金	第1グループIM
30	火					30	土	
31	水					31	日	
その 他 の 行 事	職業奉仕月間		その 他 の 行 事	平和構築と紛争予防月間		その 他 の 行 事	水と衛生月間	

国際ロータリー第2800地区 2023-2024年度 下期行事予定表

2024年

2024年

2024年

4月

5月

6月

2023.4.15

日	曜日	主要行事	日	曜日	主要行事	日	曜日	主要行事
1	月		1	水		1	土	
2	火		2	木		2	日	
3	水		3	金	(憲法記念日)	3	月	
4	木		4	土	(みどりの日)	4	火	
5	金		5	日	(こどもの日)	5	水	
6	土	米山奨学オリエンテーション カウンセラー説明会	6	月	(振替休日)	6	木	
7	日		7	火		7	金	
8	月		8	水		8	土	青少年交換委員会・オリエンテーション⑦ 全国RYLA研究会・福島会議
9	火		9	木		9	日	↑↓
10	水		10	金		10	月	
11	木		11	土	日本青少年交換研究会 山形会議	11	火	↑↓
12	金		12	日		12	水	
13	土	地区研修・協議会(GE)	13	月		13	木	
14	日		14	火		14	金	
15	月		15	水		15	土	
16	火		16	木		16	日	
17	水		17	金		17	月	
18	木	↑ クラブ活性化セミナー	18	土	米山学友会総会	18	火	
19	金	↓	19	日		19	水	
20	土		20	月		20	木	
21	日	南陽RC60周年記念式典	21	火		21	金	
22	月		22	水		22	土	
23	火		23	木		23	日	
24	水		24	金		24	月	
25	木		25	土	↑ 国際大会(シンガポール)	25	火	
26	金		26	日		26	水	
27	土	青少年交換委員会・オリエンテーション⑥	27	月		27	木	
28	日		28	火		28	金	
29	月	(昭和の日)	29	水	↓	29	土	
30	火		30	木		30	日	
			31	金				
その 他 の 行 事	環境月間		その 他 の 行 事	青少年奉仕月間		その 他 の 行 事	ロータリー親睦活動月間	

国際ロータリー関連 連絡先一覧

ロータリー世界本部 Rotary International One Rotary Center

1560 Sherman Ave. Evanston, IL 60201-3698, USA TEL +1 847-866-3000

国際ロータリー日本事務所

〒108-0073 東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビル 24F
業務時間 9:30~17:30 <https://my.rotary.org/ja> Fax 共通番号 03-5439-0405

クラブ・地区支援室 (国際ロータリーと国内クラブおよび地区との連絡事務)

TEL 03-5439-5800 E-mail rijapan@rotary.org

財団室 (ロータリー財団と国内クラブおよび地区との連絡事務・認証処理)

TEL 03-5439-5805 E-mail RIJPN-TRF@rotary.org

経理室 (国際ロータリーおよびロータリー財団に関する入出金管理)

TEL 03-5439-5803 E-mail rijpnfs@rotary.org

業務推進・IT 室 (国際ロータリーおよびロータリー財団の取り扱う資料に関する問い合わせ)

TEL 03-5439-5802 E-mail rijpnpi@rotary.org

公益財団法人ロータリー日本財団

〒108-0073 東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビル 24F
TEL 03-5439-5806 Fax 03-5439-0405 <http://piif-rfj.org> メールは日本事務所と同じ

(財)ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル
TEL 03-3434-8681 Fax 03-3578-8281 E-mail mail@rotary-yoneyama.or.jp

米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩 346-1 TEL 055-986-2946 Fax 055-989-5101

ガバナー会

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4F
TEL 03-3433-6497 Fax 03-3433-7395 E-mail govkai@orange.ocn.ne.jp

一般社団法人 国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構(RIJYEM)

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4F <https://rijyec.org/>
TEL 03-6431-8106 Fax 03-6431-8107 E-mail rijyem@air.ocn.ne.jp

ロータリーの友

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4F
TEL 03-3436-6651 Fax 03-3436-5956 <https://rotary-no-tomo.jp/>
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

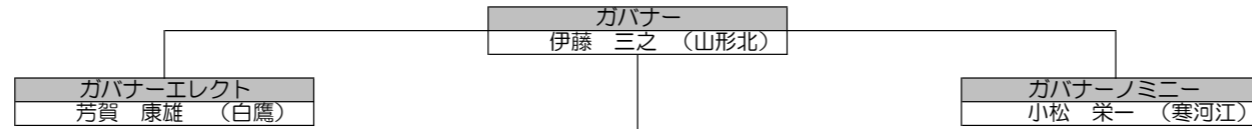
ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
TEL 03-3433-6456 Fax 03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
E-mail rotary-bunko@msj.biglobe.ne.jp

2023-2024年度 国際ロータリー第2800地区 組織図

2023年7月1日付
(2023年4月15日現在)

R I 会長	ゴードン R マッキナリー (スコットランド)
R I 理事	佐藤 芳郎 (岡山南)
規定審議会代表議員	鈴木 一作 (寒河江)
規定審議会補欠議員	長谷川 憲治 (山形)
ロータリー日本財団理事	池田 徳博 (鶴岡西)
ロータリー日本財団評議員	石黒 慶一 (鶴岡西)
米山記念奨学会理事	大久保 章宏 (山形南)
米山記念奨学会評議員	和田 廣 (南陽東)
R I J Y E M 社員	池田 徳博 (鶴岡西)
R I J Y E M 研修委員	小松 栄一 (寒河江)
0-列-の友委員会副委員長	鈴木 一作 (寒河江)
0-列-の友事務所理事	鈴木 一作 (寒河江)



ガバナー補佐	
担当グループ	担当クラブ
1 高橋 弘哉 (酒田)	酒田・酒田東 酒田中央・酒田スワン・酒田湊
2 高野 邦夫 (鶴岡東)	鶴岡・鶴岡西・余目 鶴岡東・鶴岡南
3 丹野 健一 (東根中央)	天童・東根・天童東 天童西・東根中央
佐竹 義弘 (村山)	村山・新庄・尾花沢・最上・尾花沢中央 村山ローズ・新庄あじさい
4 奥山 吉一 (寒河江)	寒河江・大江・河北 寒河江さくらんぼ・西川月山
5 林 政俊 (山形)	山形・山形北・山辺 山形南・中山
吉田 義尚 (山形東)	山形西・上山・山形東 山形中央・山形イフニング
6 吉野 徹 (米沢)	米沢・米沢上杉・高島 米沢中央・米沢おしょうしな
佐藤 晴彦 (小国)	長井・南陽・白鷹・小国 南陽東・長井中央・南陽臨雲

諮問委員会	
G	伊藤 三之 (山形北)
直前G	佐藤 孝子 (鶴岡)
PG	遠藤 栄次郎 (山形西)
PG	安孫子 貞夫 (寒河江)
PG	藤川 享胤 (鶴岡)
PG	野々村 政昭 (山形)
PG	石黒 慶一 (鶴岡西)
PG	大友 恒則 (米沢中央)
PG	武田 和夫 (山形南)
PG	佐藤 豊彦 (天童)
PG	細谷 伸夫 (山形西)
PG	和田 廣 (南陽東)
PG	池田 徳博 (鶴岡西)
PG	酒井 彰 (米沢上杉)
PG	長谷川 憲治 (山形)
PG	鈴木 一作 (寒河江)
PG	上林 直樹 (酒田中央)
PG	大久保 章宏 (山形南)
PG	齋藤 榮助 (米沢中央)
PG	矢口 信哉 (東根)
GE	芳賀 康雄 (白鷹)
GN	小松 栄一 (寒河江)

地区大会	
実行委員長	水上 進 (山形北)
副実行委員長	中村 勝義 (山形北)
副実行委員長	中村 恒一 (山形北)
地区大会(式典部会)	増田 隆 (山形北)
地区大会(総務部会)	高橋 一夫 (山形北)
地区大会(懇親部会)	酒井 貞昭 (山形北)
協力	第5グループRC
実行委員	山形北RC

世界大会参加推進委員会	大久保 章宏 (山形南)
-------------	--------------

長期計画検討委員会	
委員長(直前G)	佐藤 孝子 (鶴岡)
ガバナーエレクト	芳賀 康雄 (白鷹)
ガバナーノミネー	小松 栄一 (寒河江)
地区幹事	小野 和行 (山形北)
直前地区幹事	佐藤 詩郎 (鶴岡)
次期地区幹事	江口 俊雄 (白鷹)

災害特別委員会	
委員長(直前G)	佐藤 孝子 (鶴岡)
社会奉仕委員長	PG 大久保 章宏 (山形南)
バストガバナー	齋藤 榮助 (米沢中央)
バストガバナー	矢口 信哉 (東根)

地区研修委員会	
地区研修リーダー	PG 矢口 信哉 (東根)
地区チーム研修リーダー-実行委員長	中村 昂三郎 (山形北)
副実行委員長	菱沼 弁好 (山形北)
PETS実行委員長	本多 信昭 (山形北)
副実行委員長	奥山 忠道 (山形北)
地区研修・協議会実行委員長	柴田 津與志 (山形北)
副実行委員長	佐藤 幸蔵 (山形北)
実行委員	山形北RC

危機管理委員会	
委員長(直前G)	佐藤 孝子 (鶴岡)
ガバナーエレクト	芳賀 康雄 (白鷹)
ガバナーノミネー	小松 栄一 (寒河江)
弁護士	池田 徳博 (鶴岡西)
医療関係者	小松 栄一 (寒河江)
地区幹事	小野 和行 (山形北)
青少年奉仕委員長	遠藤 伸一 (寒河江)
青少年交換委員長	佐藤 聡 (鶴岡南)
RYLA委員長	渡部 晃 (余目)
米山奨学委員長	芦野 茂 (山形西)
社会奉仕委員長	大久保 章宏 (山形南)
0-列-財団委員長	上林 直樹 (酒田中央)
<外部有識者>	
警察関係	伊藤 富男
行政関係	楳岳 聖海
行政関係	鈴木 啓司

統括委員会	
地区幹事	小野 和行 (山形北)
地区資金委員長	伊藤 明彦 (山形北)
統括副幹事(事務局長)	須藤 雅人 (山形北)
統括副幹事(クラブ内担当)	浅黄 敬之 (山形北)
統括副幹事(地区委員会担当)	富塚 充 (山形北)

地区幹事	小野 和行 (山形北)
------	-------------

地区副幹事	
クラブ奉仕	黒田 進一 (山形北)
会員増強	山科 専一 (山形北)
職業奉仕	青山 登 (山形北)
青少年奉仕(I.A., R.A., RYLA)	櫻井 晴、佐藤 修 (山形北)
青少年交換	伊藤 誠 (山形北)
米山奨学・米山学友	小山 裕久 (山形北)
地域奉仕	岡 誠司 (山形北)
国際奉仕・ロータリー学友	舟越 正之 (山形北)
ロータリー財団	森谷 和則 (山形北)
次期地区幹事	江口 俊雄 (白鷹)

地区事務局	
管理責任者	小野 和行 (山形北)
事務局長	須藤 雅人 (山形北)
地区事務局員	菅野 真紀

ガバナー月信	
編集長	三浦 孝一郎 (山形北)
副編集長	武田 幸太郎 (山形北)
編集委員	井上 智之 (山形北)
編集委員	伊藤 均 (山形北)
編集委員	古川 光伸 (山形北)

地区資金・会計	
地区資金委員長	伊藤 明彦 (山形北)
地区資金副委員長	富塚 松夫 (鶴岡)
次期地区資金委員長	青木 浩二 (白鷹)
地区会計	後藤 寛 (山形北)
地区会計監査委員	PG 長谷川 憲治 (山形)
地区会計監査委員	佐藤 詩郎 (鶴岡)
地区会計監査委員	吉田 眞一郎 (山形北)

ロータリーの友委員	三浦 孝一郎 (山形北)
-----------	--------------

地区委員会



- 備考：① G、GE、GNIは、全ての地区委員会の職権上のリーダーです。
 ② 従来の「カウンセラー」という呼称を「アドバイザー」に変更しております。
 ③ 従来の「小委員会」の呼称を「委員会」に統一しております。
 ④ 「社会奉仕委員会」のもとに、地域社会を対象にした「地域奉仕委員会」と国際社会を対象にした「国際奉仕・ロータリー学友委員会」を配置しました。

